LX

LX700h / LX600

LEXUS



「楽に・上質に」世界中のあらゆる道での走行に耐えうる運動性能と、LEXUS らしい上質な乗り心地を両立するフラッグシップ SUV

LEXUSならではのすっきりと奥深い走りの味である“Lexus Driving Signature”をさらに高い次元へ進化させるため、LEXUSは全てのモデルにおいて、継続的な基本性能の向上と徹底的な造り込みに取り組んでいます。
LXにおいては、今回の一部改良にて全仕様のEPS*のチューニングを最適化し、ドライバーの意図に忠実な操舵感を追求。加えて、パワートレーンを問わない一貫した走りの質感を目指し、サスペンション特性の最適化を緻密に施し、操縦安定性と上質な乗り心地を一段と高めました。そのうえで、標準仕様・“EXECUTIVE”“OVERTRAIL+”“F SPORT”、それぞれの走りの個性を際立たせ、フラッグシップにふさわしい走りの質を追求しています。

＊電動パワーステアリング

CONTENTS PAGE

FEATURES 01
ELECTRIFIED 02-07
DRIVING 08-22
DESIGN 23-46
EXECUTIVE 47-53
F SPORT 54-60
OVERTRAIL+ 61-63
TECHNOLOGY 64-102
EQUIPMENT 103-106
INFORMATION 107-122

※画像は一部実際の仕様と異なります。

LXの主な特長

「信頼性」「耐久性」「悪路走破性」を守り抜くハイブリッドモデルを設定

モータートルクを活かした、LEXUSらしい走りの実現とともに、
HEVバッテリーを防水構造とするなど新しいハイブリッドシステムを開発



Lexus Driving Signatureを追求し磨き上げた走り

オンロード・オフロードを問わず、
ボディサイズの大きさや
フレーム車であることを感じさせない
上質な乗心地と高いコントロール性



機能性と優雅さが調和したプロポーション

空力などの機能を織り込んだ、力強く洗練された佇まいと、
悪路でも意のままに操れるコックピット空間



人間中心の考え方に基づいた先進安全技術と利便性

Lexus Safety System＋のアップデートによる
予防安全機能の刷新と、盗難リスクを低減する
指紋認証式スタートスイッチの採用



「信頼性」「耐久性」「悪路走破性」を守り抜くパラレルハイブリッドシステム

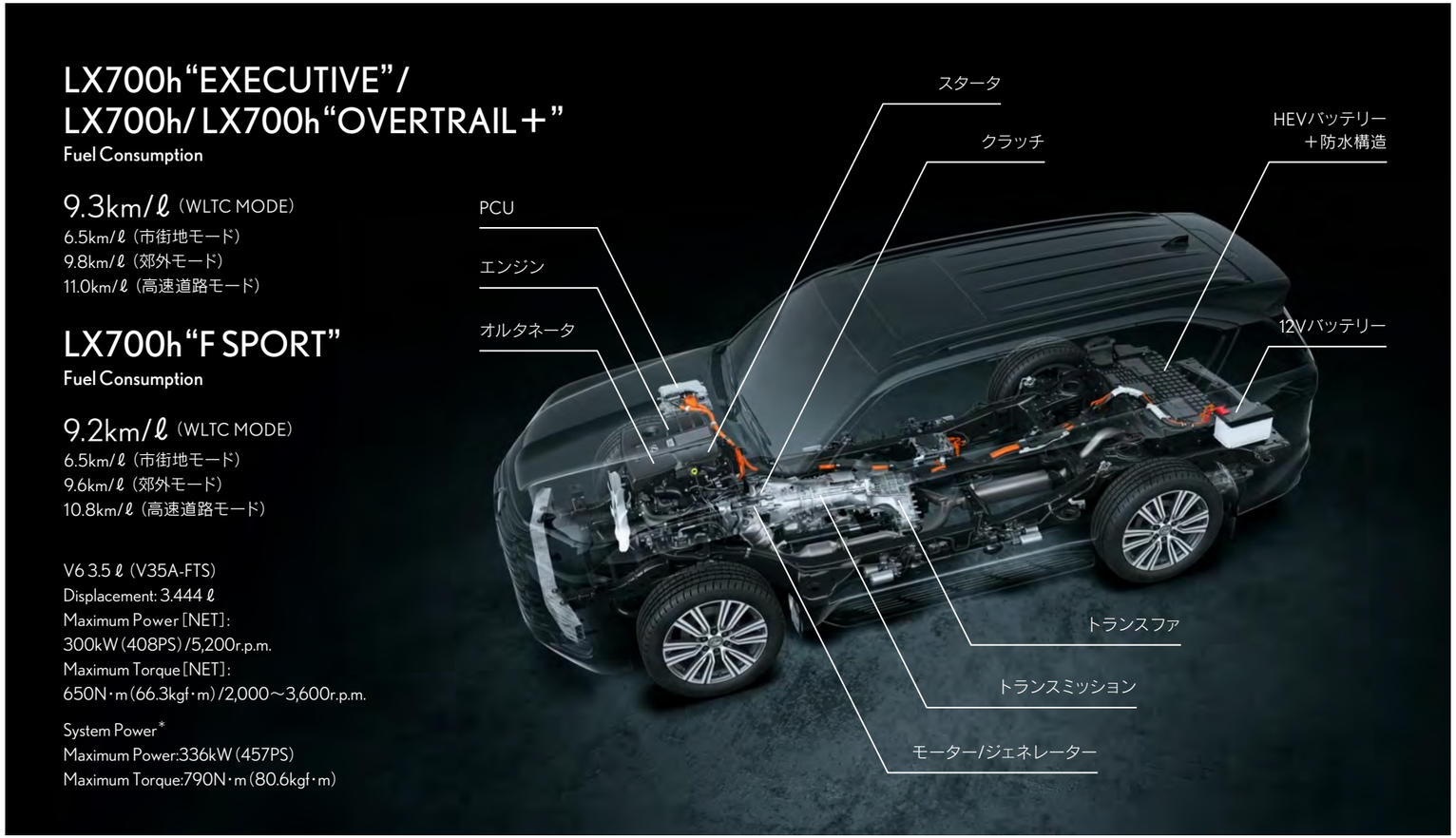


LX700hは、LXが代々培ってきた「信頼性」「耐久性」「悪路走破性」を電動化においても守り抜くことを第一とした、パラレルハイブリッドシステムを搭載しました。
応答性の良いモーターと大排気量ツインターボエンジンの組合せにより、力強く伸びのある加速を実現し、LEXUSらしい「対話のできる走り」を追求しています。

LEXUS初★のパラレルハイブリッドシステム［1］

LXの「信頼性」「耐久性」「悪路走破性」を支える駆動系、フルタイム4WD、トランスファー・ローレンジ、トルクコンバータ付ATを電動化においても維持すべく、V6 3.5Lツインターボエンジンと10速ATの間に、クラッチを有するモータージェネレーター（MG）を配置したパラレルハイブリッドシステムを採用しました。
エンジン＋モーターの高出力・大トルクを確実に路面に伝えるとともに、シチュエーションに応じてエンジンのみ、モーターのみへの走行の切り替えをハイブリッド制御システムが最適にコントロールします。

また、従来のLEXUSパラレルハイブリッドモデルには装備されないオルタネータとスタータを標準装備、万が一ハイブリッドシステムが停止した場合にもスタータでのエンジン始動が可能、オルタネータで発電した電力を12V補機バッテリーへ供給することでエンジンのみでの退避走行を可能とする、LEXUS初のシステムです。
退避走行中もトランスファー・ローレンジの使用やアクティブハイトコントロール［AHC］による車高調整の作動が可能となっており、悪路走破にも寄与します。



＊エンジンとバッテリーにより、ハイブリッドシステムとして発揮できる出力（社内算定値）
※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

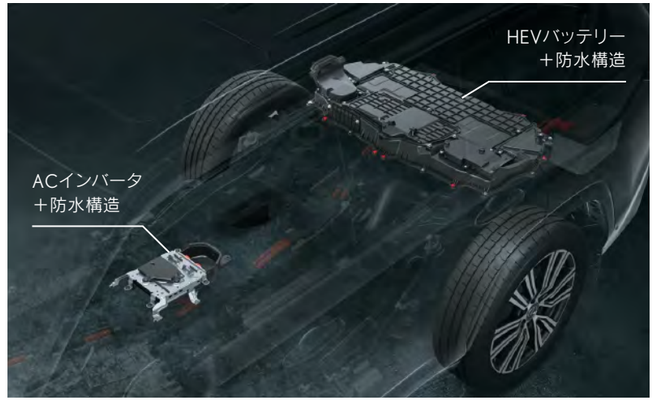
★26年10月現在。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

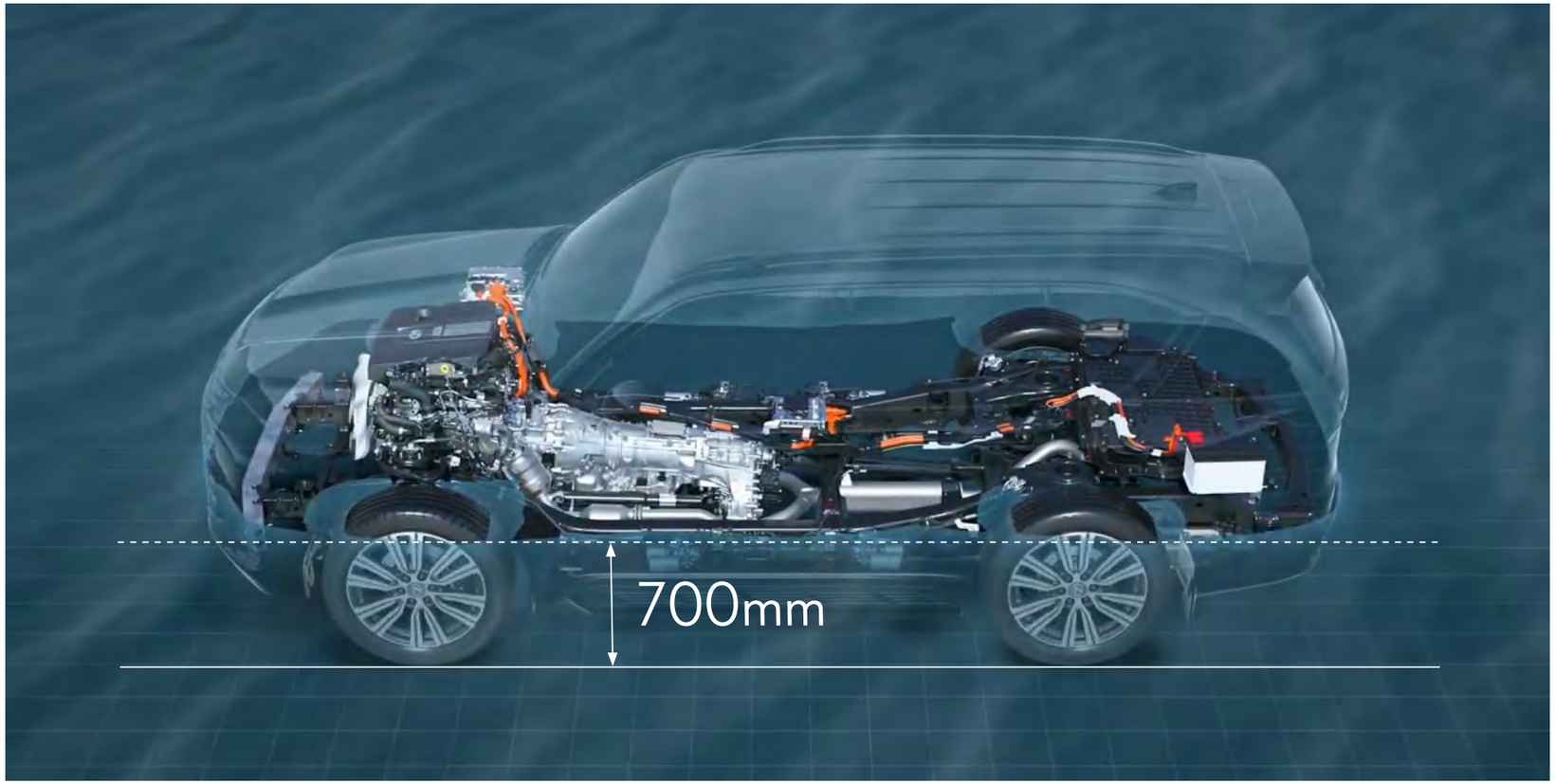
LEXUS初★のパラレルハイブリッドシステム［2］

エンジン車同等の渡河性能

リヤフロアに搭載したハイブリッドメインバッテリー本体を、上下に分割した防水トレイでパッキングする防水構造を採用。深水路等での水の侵入を防ぐことで、エンジン車同等の渡河性能700mmを確保しました。万が一防水トレイ内に水が浸入した際にはトレイ内に配置した被水センサーが検知、メーター表示によるドライバーへの注意喚起を行います。







★26年10月現在。 ※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

LEXUS初★のパラレルハイブリッドシステム［3］

モータートルクを活かした走り

応答性の良いモーターのトルク特性と大排気量ツインターボエンジンの組合せにより、低速においてはアクセル低開度からレスポンスの良いリニアな発進・加速を、アクセル踏み込み時や高速域においては大トルクを活かした力強く伸びのある加速を実現、LEXUSらしい“対話のできる走り”を追求しています。
オフロードにおいてはトランスファー・ハイレンジに留まらず、ローレンジでのモーター駆動をLEXUSとして初めて採用、マルチテレインセレクトの各モードと組合わせ、繊細なアクセル操作が要求される岩場やダート・深雪路等においてはモーターのみでの走行も一部可能とし、高い走破性とコントロールのしやすさを両立しました。



★26年10月現在。 ※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

LEXUS初★のパラレルハイブリッドシステム［4］

ハイブリッドモデルの給電機能

センターコンソール下に配置したACインバータ（防水構造付）によって、1500Wまでの給電を可能としました。
フロントセンターコンソール後部＊とラゲージルーム内にコンセントを配置することで利便性も高めました。さまざまなアクティビティや災害時の非常用電源としてもご活用いただけます。
＊LX700h“EXECUTIVE”はリヤコンソールに1個設定しています。

アクセサリーコンセント（AC100V・1500W/非常時給電システム付）



フロントセンターコンソール後部＊ LX700h“F SPORT” LX700h LX700h“OVERTRAIL+”

＊LX700h“EXECUTIVE”はリヤコンソールに1個設定しています。



ラゲージルーム内 LX700h 全車

外部給電アタッチメント LX700h 全車

野外でも安心して給電できるよう、ドアと窓を閉めたまま電源コードを出して給電できます。
車内への虫などの異物の侵入や、雨天時の水の侵入を低減することができます。

＝標準装備

★26年10月現在。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

LEXUS初★のパラレルハイブリッドシステム［5］

GA-Fプラットフォームをハイブリッドモデル用に最適化

LXは、世界中のどんな道でも、楽に、上質にお客さまに運転していただくために、伝統とも言えるボディオンフレーム構造は維持しつつも、走りの進化を支える基本的な素性を抜本的に見直しました。GA-Fプラットフォームの採用や、クルマの骨格を一から見直すことで、徹底した低重心化と軽量化、さらにボディ剛性の向上といったクルマの素性から刷新することで、走りの飛躍的な向上を実現しています。

さらにハイブリッドモデルでは、GA-Fプラットフォームの最適化に取り組みました。モータージェネレーターの追加により重量が増加し、かつ全長が伸びたパワートレーンを搭載するために専用のクロスメンバー（クロスメンバーNo.3）を新設、断面と板厚を最適化し薄型形状とすることでエンジン車同等の最低地上高を確保しました。パワートレーンの重量増に合わせ、リヤエンジンマウントの材質もより耐久性の高いものに変更しています。

また、リヤフロアへのハイブリッドメインバッテリー搭載に合わせ、スペアタイヤ位置変更のためにスペアタイヤクロスを新設、取付角度を最適化することで搭載位置を下げつつもデパーチャーアングルを維持、悪路走破性とサービス性を両立させました。

12V補機バッテリーの搭載位置をエンジンルーム内からリヤのデッキ横に変更、専用の金属トレイと脱着式のバッテリーブレースを設定し、交換のしやすさとリヤクォーターまわりでのボディ剛性の向上を両立させました。



★26年10月現在。 ※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

「Lexus Driving Signature」をさらに磨き上げた走行性能

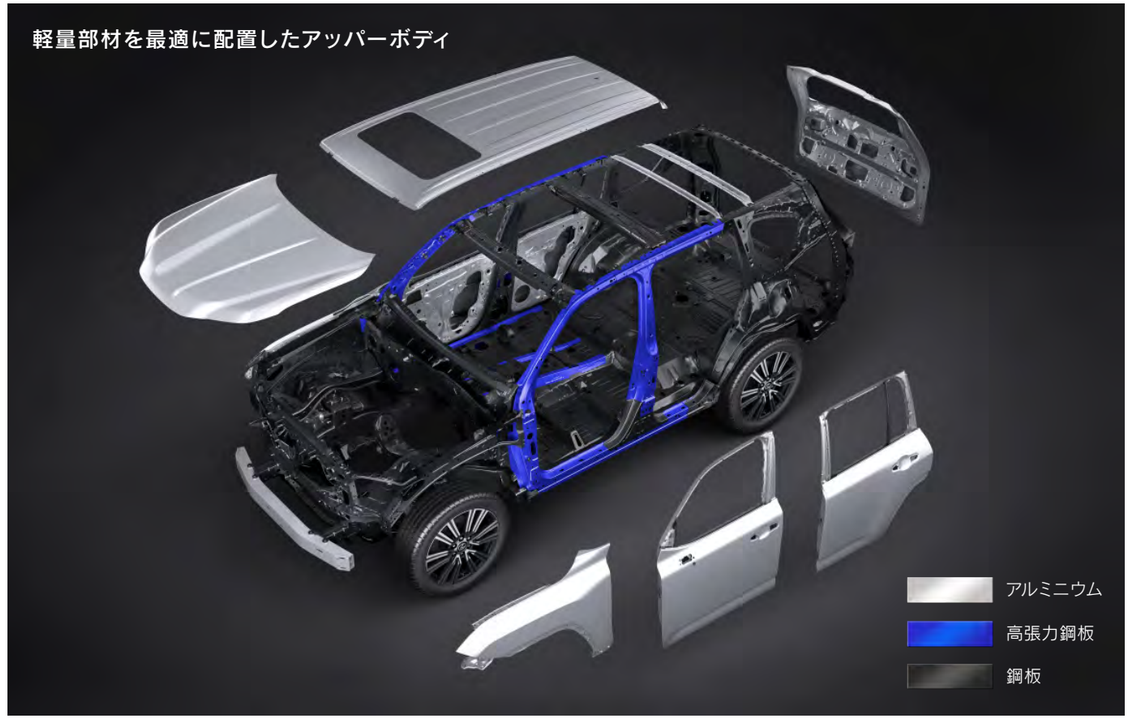


LEXUSでは、全ラインアップで統一した走りの味、
「Lexus Driving Signature」を追求する活動を
モデルサイクルに関わらず絶え間なく実施し、
“対話のできる走り”をめざしています。
LXにおいても、先行車におけるトライ＆エラーや
LEXUS他モデルで得られた知見、
フレーム車ならではの要素技術改良などを織込み、
トヨタテクニカルセンター下山をはじめ
あらゆる路面での走り込みを実施、
オンロード・オフロードを問わない、
LEXUSらしい走りをめざしました。

軽量化素材と技術により軽さを革新したボディ＆フレーム

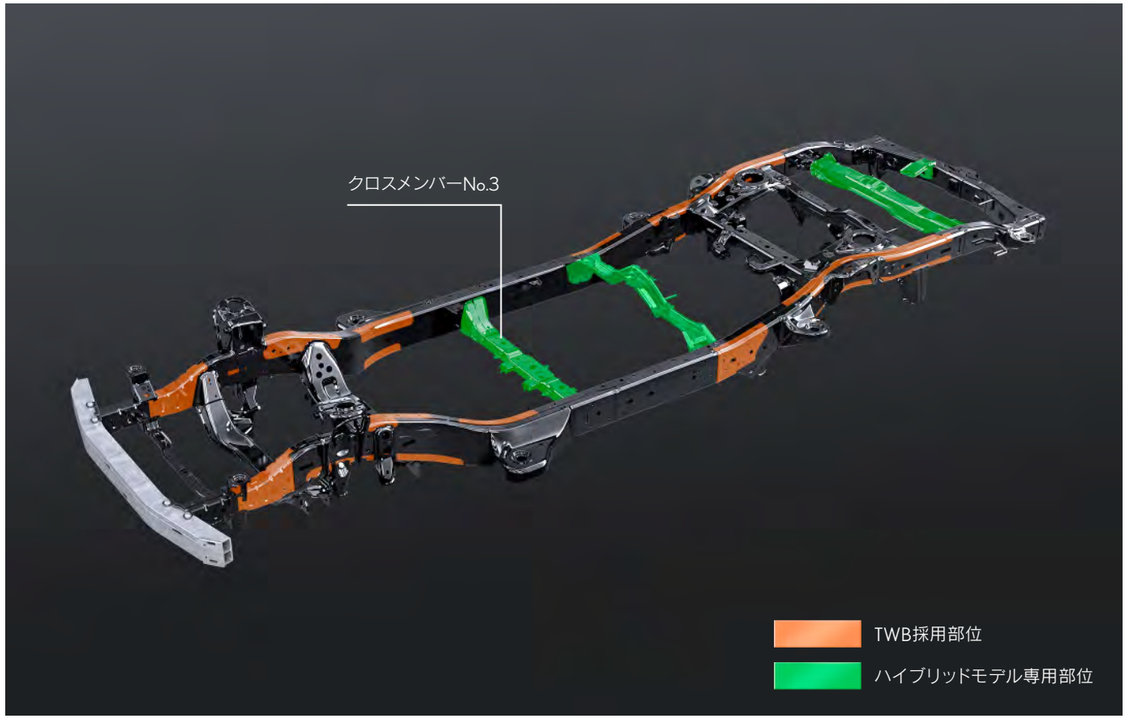
軽量ボディ

高張力鋼板の採用を拡大した上で、慣性モーメントに影響を与える車両重心点から高い位置・遠い位置のボンネット、ルーフ、全ドアパネルにアルミニウムを採用。軽量化・低重心化と高強度なボディの両立を実現しました。旋回時や加減速時の自然で滑らかな車両挙動と、すぐれた操縦安定性を実現します。



軽量フレーム

厚板と薄板の鋼板をレーザー溶接によって結合し、プレス成形するTWB（曲線テーラード・ウエルドブランク）を用いた工法により、強度と剛性を維持しつつ、軽量化を実現しました。サイドレールやクロスメンバーの強度・剛性、および衝突安全性能への感度・影響が高い部位にこの技術を採用しています。またハイブリッドモデル専用フレームは、クロスメンバーNo.3の断面高さを抑えるなど、ハイブリッドユニットの搭載と悪路走破性の両立を図りました。

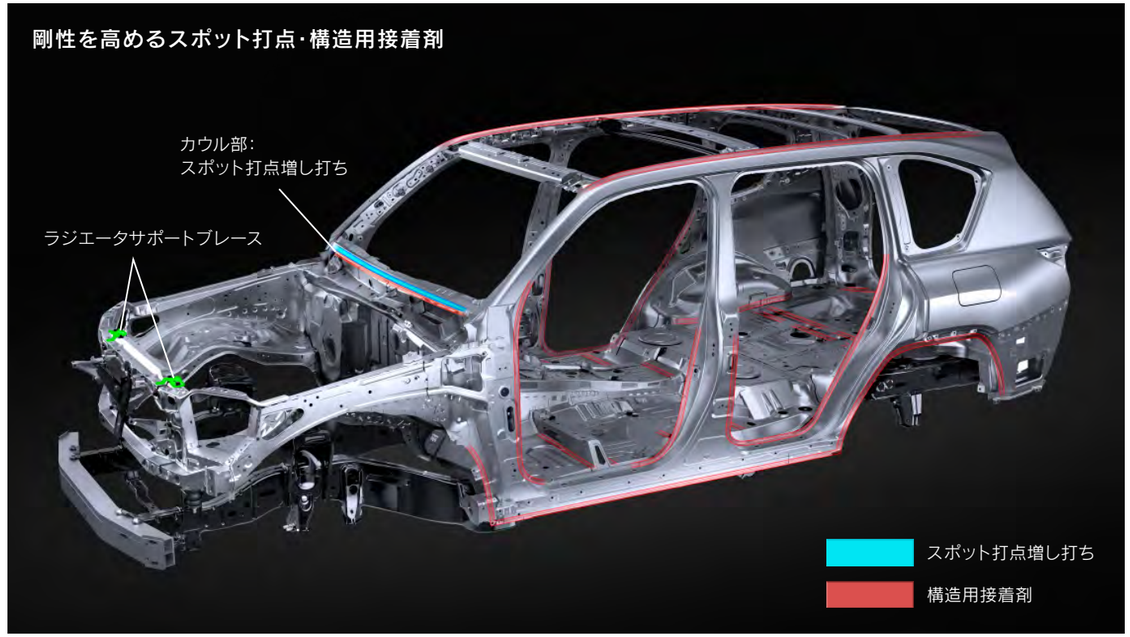


※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

レスポンスと乗り心地を高め、上質な走りを生む、高剛性ボディ＆フレーム

高剛性ボディ

操舵時のボディ変形挙動をコンピューター解析し、スポット打点増し打ちやドアオープニング周り、フロアへの構造用接着剤の最適配置、さらにラジエータサポート周りの剛性向上を織込みました。ステアリング操作に対するリニアな反応を実現するとともに、補強部材をパッチ形状とすることでホイールアーティキュレーションを維持、悪路走破性を犠牲にすることなく操舵応答性を向上させました。インストルメントパネルリンフォースメントについても、ステアリング支持剛性向上のためのブラケット追加や既存ブラケット板厚変更を実施、ステアリングフィールと操縦安定性を向上させています。



高剛性フレーム

乗員の生存空間であるボディや、パワーユニット、燃料タンクなど走行に重要な部品へのダメージを大幅に低減する、すぐれた堅牢性を実現。悪路走行時に応力を受けやすい部分のサイドレール断面特性を最適化し、路面からの入力に対する強度、剛性、衝突安全などの性能バランスを取るために9本のクロスメンバーを最適に配置しました。さらに最大5mmの厚鋼鈑や、高張力鋼板を適材適所に配置することで、オフロード走行時に受ける衝撃にもフレームの歪みが抑えられ、操縦安定性や乗り心地への影響を低減します。またフレームにボディをマウントするためのキャブマウントクッションについても構造を刷新、フレームとボディがこじる動きをする際の結合剛性を向上させることで、フレーム車特有のブルブルとした低周波の振動をより一層低減、フレーム車の利点である高い堅牢性やロードノイズ遮音性はそのままに、すっきりとした乗り心地を実現しています。そのキャブマウントを介してボディが架装されているフレーム車の構造は、オフロードの走行時などにボディへ損傷を受けた場合でも、フレームへの影響が少なく、クルマの基本走行性能を確保することができます。



※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

あらゆる道での走破性と操縦安定性を実現するサスペンション

上質な乗り心地、制動時の安定した車両姿勢、路面からのショックや振動を吸収するすぐれた車両安定性を実現するサスペンション。オフロードでは、卓越したホイールアーティキュレーション（タイヤの浮きづらさ）により、モーグル路のような、タイヤの浮きが発生しやすい路面においても接地性にすぐれ、駆動力が路面に伝わることで高い走破性を発揮します。

フロント・ハイマウントダブルウイッシュボーン式サスペンション

サスペンションジオメトリおよびコイルスプリングのばね定数を最適化し、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また、オフロード走破性の重要なファクターであるサスペンションストロークをバウンド、リバウンドともに十分な長さを確保し、すぐれた路面追従性と悪路走破性を実現します。

リヤ・トレーリングリンク車軸式サスペンション

信頼性の高い車軸式を継承しつつ、サスペンションアーム、ショックアブソーバー配置と特性を作り込み、車軸の動きをコントロールしやすくすることで、すぐれた車両安定性と乗り心地を両立します。また余裕のリバウンドストローク長により、すぐれた路面追従性を確保しています。

リヤショックアブソーバー

フレームを曲げることまでして外側へ配置し、アブソーバー取付角度を車軸の動く角度に合わせることでタイヤの上下動に追従しやすくなり、すぐれた減衰効果を発揮。路面からのショックや振動を吸収する、すぐれた車両安定性を実現します。


フロントサスペンション


リヤサスペンション

※画像は一部実際の仕様と異なります。

リニアでシームレスな加速を実現するパワートレーン［1］
V6 3.5ℓ ツインターボエンジン

最高出力300kW（408PS）、最大トルク650N・mを発生。マルチホール直噴インジェクタ付D-4STの採用とロングストローク化、バルブ挟角の最適配置による高速燃焼と高効率ツインターボが力強い低速トルクとすぐれた過給レスポンスを生み出します。また高効率ツインターボにより、低速から立ち上がるワイドでフラットなトルク特性を実現し、オンロードでもオフロードでも力強く扱いやすい動力性能とすぐれた燃費・環境性能を両立しています。

急勾配や悪路環境での走行を考慮したLX専用設計

登降坂および左右の車体傾斜45度までのオイル供給性能を維持するために、オイルパン、オイルストレーナ等の潤滑系部品を最適設計しました。岩石路面や急勾配斜面でのエンジン信頼性を確保します。また、渡河や多塵環境下でのSUV特有の使われ方を想定し、防水・防塵性能が高いベアリングやオイルシールを採用しています。

LX600“EXECUTIVE” / LX600
Fuel Consumption

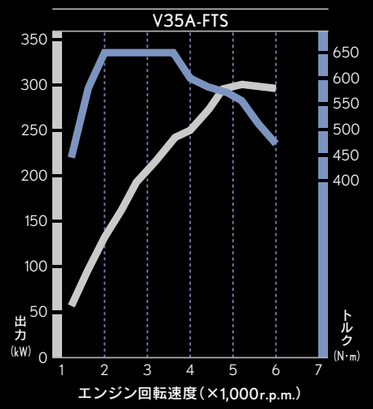
8.0km/ℓ（WLTC MODE）
5.6km/ℓ（市街地モード）
8.3km/ℓ（郊外モード）
9.6km/ℓ（高速道路モード）

LX600“F SPORT”
Fuel Consumption

7.9km/ℓ（WLTC MODE）
5.6km/ℓ（市街地モード）
8.2km/ℓ（郊外モード）
9.4km/ℓ（高速道路モード）

LX600“OVERTRAIL+”
Fuel Consumption

8.1km/ℓ（WLTC MODE）
5.6km/ℓ（市街地モード）
8.3km/ℓ（郊外モード）
9.7km/ℓ（高速道路モード）



V6 3.5ℓ（V35A-FTS）
Displacement: 3.444ℓ
Maximum Power［NET］: 300kW（408PS）/5,200r.p.m.
Maximum Torque［NET］: 650N・m（66.3kgf・m）/2,000～3,600r.p.m.

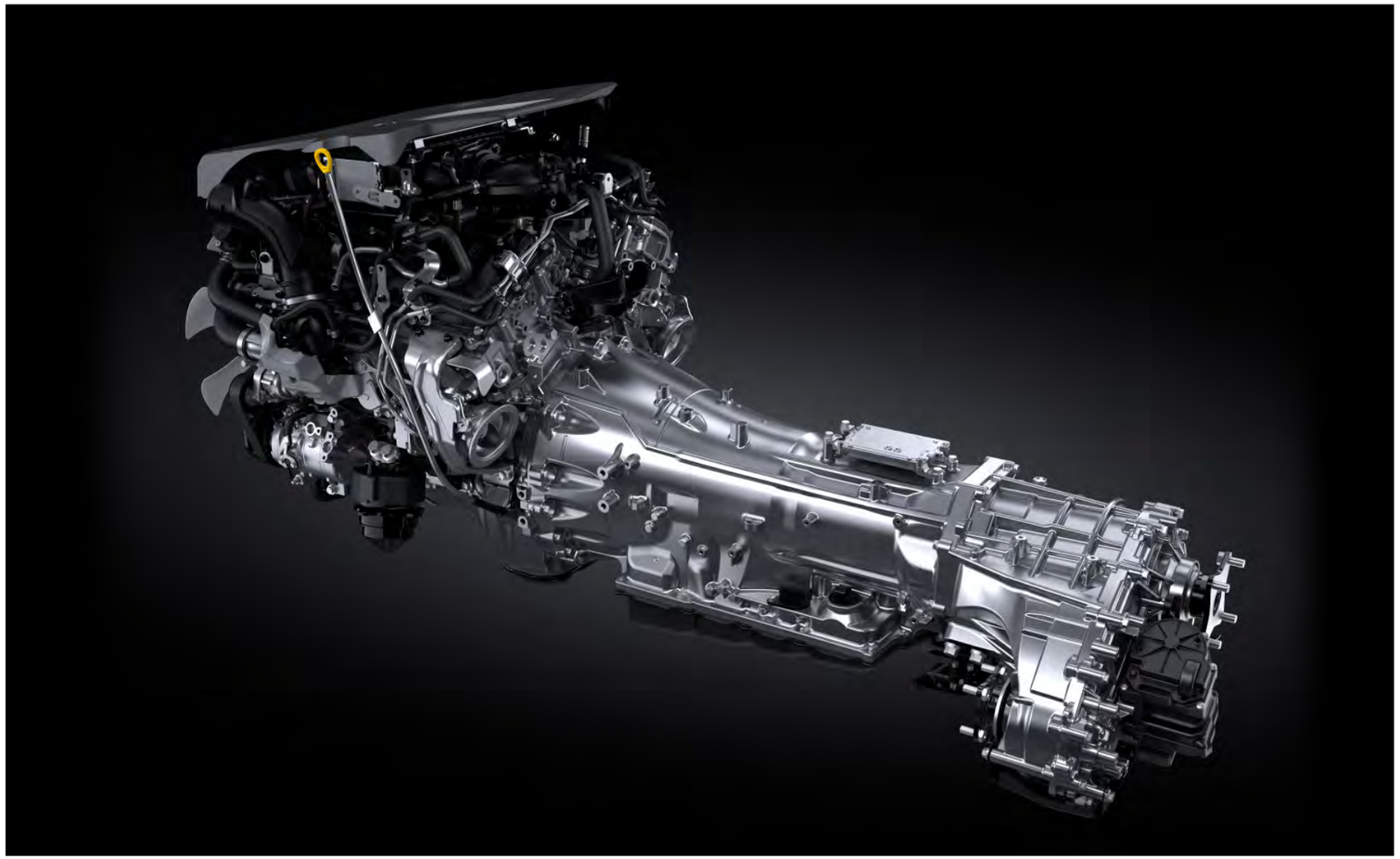


※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

※画像は一部実際の仕様と異なります。

リニアでシームレスな加速を実現するパワートレーン［2］
Direct Shift-10AT

発進時を除くほぼ全域でロックアップを作動させ、ダイレクトなフィーリングを実現。また、10速化により、ギヤステップのクロス化、全体のギヤレシオのワイドレンジ化を実現し、リズミカルで心地の良い走りのリズムと、高速燃費、発進加速、オフロード性能の向上を同時に果たしています。さらに、駆動力特性と変速タイミングを最適化。高回転域までの伸びやかなトルク特性を引き出すような気持ち良い加速感を生かし、ドライバーの意思に寄り添った力強い加速を実現しています。



※画像は一部実際の仕様と異なります。

あらゆる道での走行と安心感に寄与するAHCと、上質な乗り味を実現するAVS

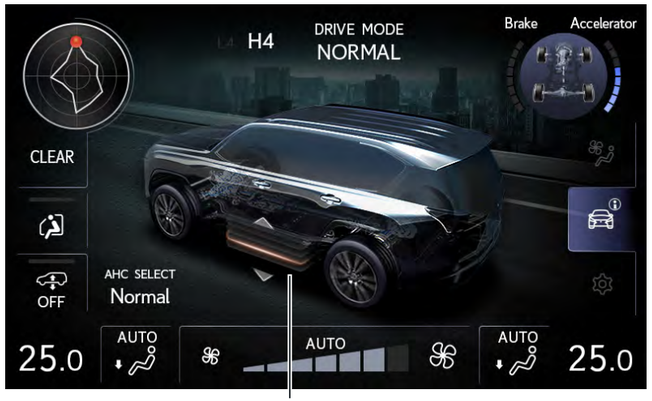
AHC

AHCは使用環境に応じて車高を調整できるシステムです。車高ポジションはNormal・Hi1・Hi2および乗降時のLoを基本とし、マルチテレインセレクト、トランスファーの選択状況に応じて最適な車高を自動で調整。さらにピッチやロールといった車両姿勢の変化にも対応し、ばねレートを随時最適化することにより、旋回や加速・減速時の車両姿勢を安定させます。また乗降モードON時は、乗降時に車高をLoに下げて乗り降りしやすくし、走り出すと自動で車高をアップします。

オフロードでは、トランスファー・ローレンジ（L4）選択やマルチテレインセレクトのモード選択と協調し、道路環境に合わせてHi1またはHi2に自動調整。Hi1、Hi2が選択された時は、車速に応じて最適な車高に自動調整し、路面との干渉回避と操縦安定性を両立します。
車高の状態はメーターパネルと7インチタッチディスプレイに表示され、容易に確認することができます。



Normal選択時の表示画面



選択した車高を点灯表示

AVS

AVSアクチュエーター部のバルブ構造を見直し、路面の段差通過などでアブソーバーが急に縮む際の減衰力を滑らかにコントロールすることで、突き上げ感を抑えた滑らかな乗り心地を実現しました。トランスファー・ローレンジにおいても、極低速から車両が停止する際の減衰力コントロールを改善、余分な車両の動きを抑え、悪路における安心感と上質さを高めました。

※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

ドライバーの意図に忠実な走りへ貢献する電動パワーステアリングと、安全・安心を高める電子制御ブレーキ

電動パワーステアリング[EPS]

ステアリングの切り始めからリニアにクルマが応答し、オフロード走行時などの低速では、軽い操舵感によりドライバーの負担軽減に寄与、高速では車速に応じた適度な操舵力により、レクサスらしいドライバーの意図に沿った走りと、手応えのある操舵感を実現します。

電子制御ブレーキ[ECB]

ブレーキペダルの操作量をセンサーで検出し、最適な制動力を生み出すことで、よりリニアな制動特性が得られます。オフロードでマルチテレインセレクトを選択した場合は、スリップや空転しているタイヤに対する細やかなブレーキ制御により、高い走行安定性を確保してドライバーに安心感を提供します。
フロントベンチレーテッドディスクは放熱性にすぐれたスロッテッドフィンタイプとし、耐フェード性と安定したブレーキの利きを確保します。



※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

オンロードを爽快に走るための新開発タイヤ、空力機能、徹底した静粛性

タイヤ

18インチ、20インチ、22インチすべてのタイヤのばね下重量を軽減し、転がり抵抗値の最適化により、低燃費に寄与します。また、操縦安定性、乗り心地、静粛性を実現する最適なトレッドパターンや構造を追求したほか、ドライ・ウェット路面でのすぐれた操縦安定性と制動性能を確保しています。

空力機能

ルーフパネルとサイドアウターパネルを絞り込んだ造形にすることで、フロントから後方へスムーズな空気の流れを実現しました。



〈エアロスタビライジングフィン〉

小さなフィンが作り出す空気の渦がボディ側面の空気の剥離を抑え、空気抵抗の低減とすぐれた車両安定性の確保を両立します。



ドアフレームカバー

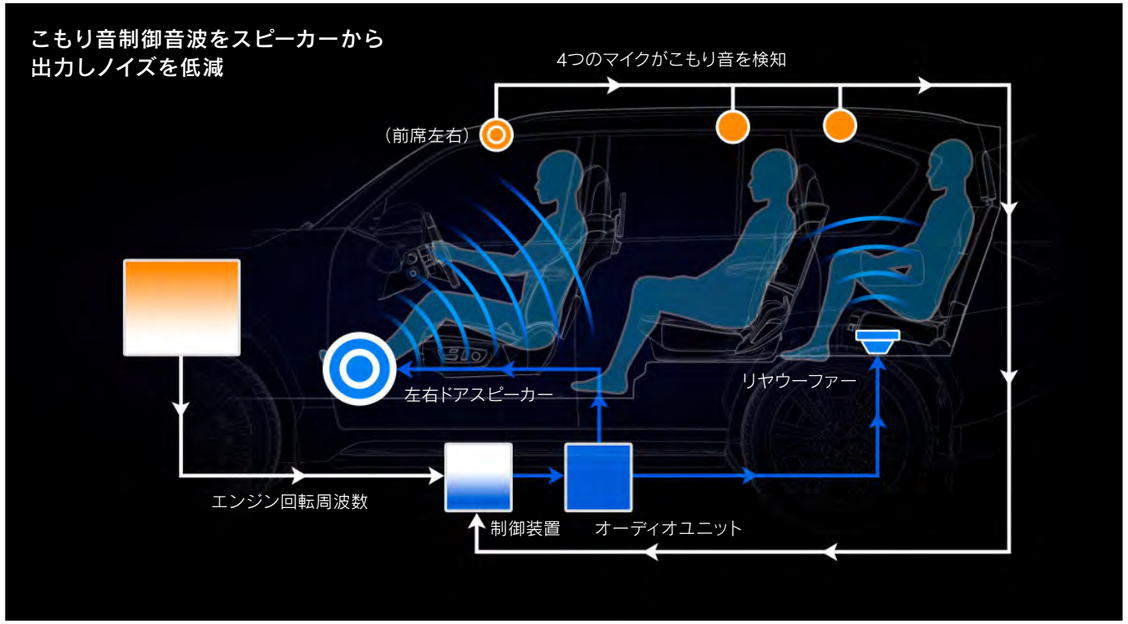


リヤコンビネーションランプ

静粛性とエンジンサウンド

〈アクティブノイズコントロール〉

ツインターボエンジンの高トルク領域拡大により燃費向上を図る一方、それに伴い発生するエンジンこもり音やプロペラシャフトこもり音を低減。室内のオーディオ用スピーカーからこもり音制御音波を出力し、室内の静粛性を確保します。



〈エンジンサウンドエンハンスメント〉

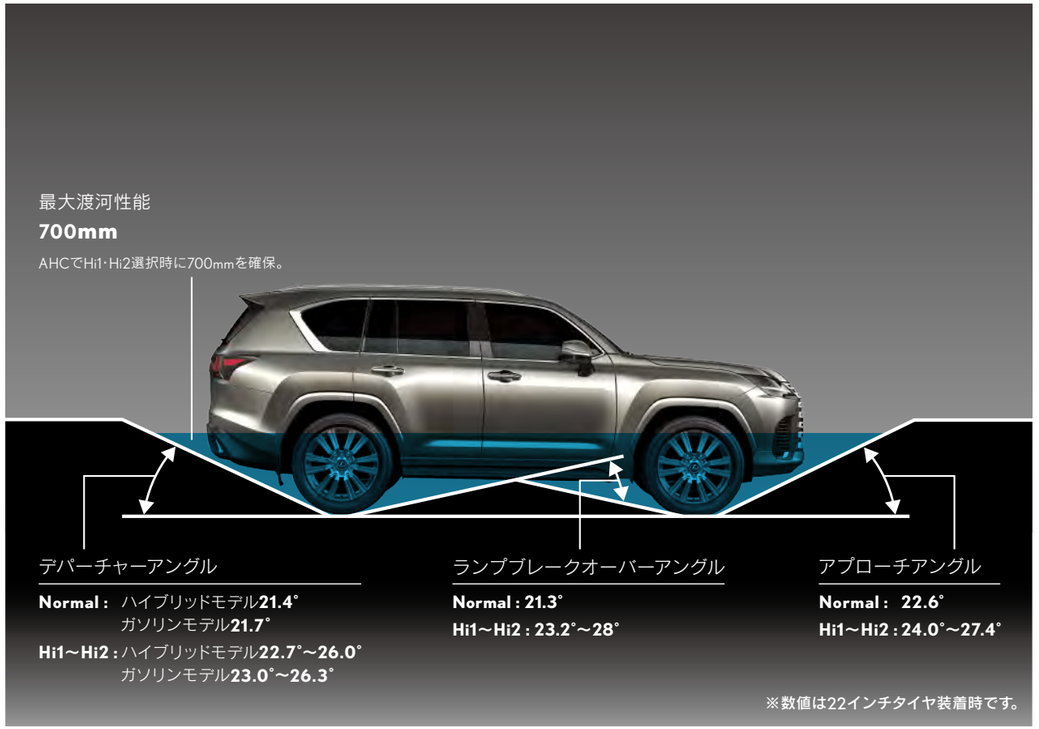
アクセル開度やトルクに応じて、エンジンサウンドの盛り上がり感を演出。室内のオーディオ用スピーカーから、車両の加減速感をより臨場感あふれるサウンドで演出します。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

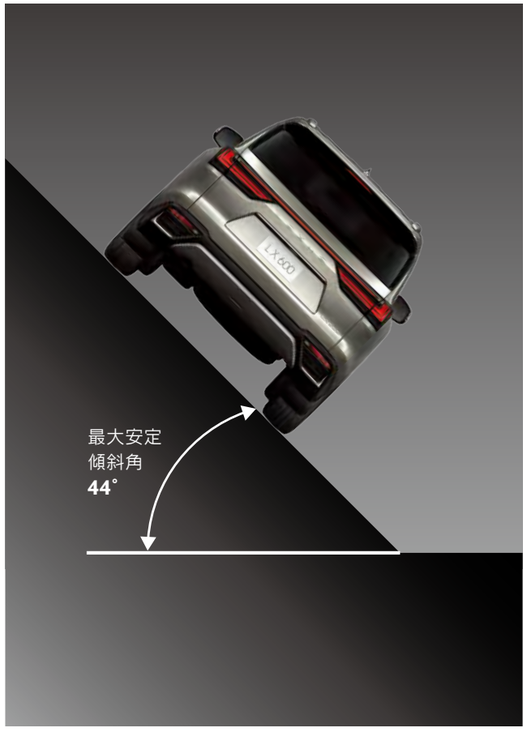
LXのヘリテージ、黄金比のホイールベースと対地障害角を継承

歴代のLXが引き継いできた、高い悪路走破性とゆとりある室内空間を両立するホイールベースの黄金比2,850mm、および対地障害角など本格オフロード車としてのすぐれたディメンジョンを継承しました。
対地障害角は起伏の激しい地形や倒木を乗り越えるような悪路などで高い走破性を発揮、最大渡河性能700mmにより大雨で冠水した道路にも対応可能です。

対地障害角







※数値は設計値です。

※画像はLX600。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

路面状況に応じて走破性能を引き出すマルチテレインセレクト

マルチテレインセレクトは、オフロード走行において、路面状況に応じた走行支援を6つのモードから選択できるシステムです。従来、トランスファーのローレンジ（L4）のみだった作動範囲をハイレンジ（H4）にも拡張し、岩石路の極低速走行から未舗装路の高速走行までオフロード走行支援を行う機能に進化。ブレーキ・駆動力・サスペンションを統合制御することで路面状況に応じた走破性能を引き出します。初採用のAUTOモードでは、各種センサーの情報から走行中の路面状況をクルマが推定、最適なモードを自動で選択。ドライバー自らモード切り替えすることなく、走行シーンに応じた走破性能を引き出すことができます。またハイブリッドモデルでは、DIRT、DEEP SNOW、ROCKモード選択時にモーターのみでの走行も一部可能です。繊細なアクセル操作時にモーターを活用することで、走破性に貢献します。



モード	メーター表示	使用路面イメージ	トランスファー	
			L4	H4
AUTO		オフロード走破性が必要な各種路面	●	●
DIRT		 未舗装路の走行時	—	●*
SAND		 砂地路の走行時	●	●
MUD		 泥濘路の走行時	●	●
DEEP SNOW		 深雪路の走行時	—	●*
ROCK		 岩石路の走行時	●*	—

＊ハイブリッドモデルでモーターのみでの走行も一部可能です。●: 選択可能　—: 選択不可

※画像は一部実際の仕様と異なります。

極低速走行が可能なクロールコントロールと、急坂を安定して下れるダウンヒルアシストコントロール

クロールコントロール

凹凸の激しいオフロードや滑りやすい路面を走行する際、アクセルやブレーキ操作をすることなく、ステアリング操作のみで極低速走行が可能です。ホイールスピンや車輪のロックを抑制するためスタックからの脱出能力が高く、駆動系への負荷も軽減。状況に応じて5段階の速度設定が可能です。クロールコントロール作動中にドライバーがアクセル操作した場合、加速操作を妨げないシームレスな駆動力・ブレーキ制御を実現。ドライバーが加速したい時にもアクセル操作ができ、ストレスの少ないオフロード走行をアシストします。また切り返しが必要なタイトコーナーに差し掛かった際、後輪内側の制動力を制御することで回頭性を高めるターンアシスト機能付きです。

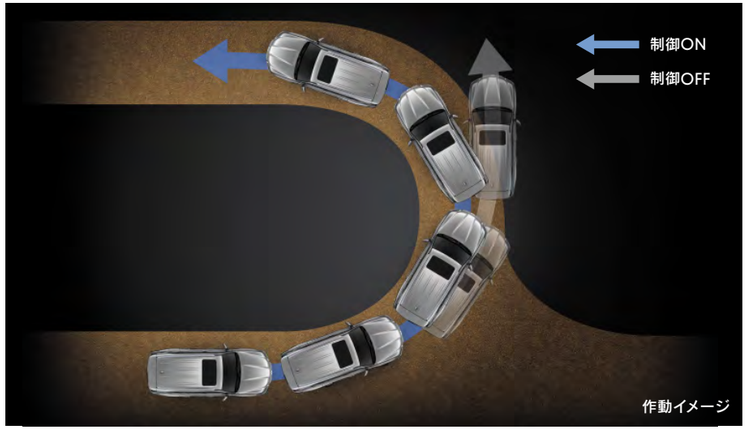


クロールコントロール推奨スピードモード

スピードモード	路面
Lo	岩石路、モーグル路（降坂）、瓦礫路（降坂）
MIDL	
Mid	モーグル路（登坂）
MIDH	
Hi	雪路、泥濘路、瓦礫路（登坂）、砂地、砂利・ダート路、モーグル路（登坂）、草地

※推奨スピードは参考です。路面状況（勾配、路面滑りやすさ、起伏）により最適でない場合があります。路面状況をよく確認して走行してください。

ターンアシスト機能



※トランスファー・ローレンジ（L4）、クロールコントロール作動時のみ作動します。
※ターンアシスト機能は一般走行には使用しないでください。
※車両の限界性能を高める装置ではありません。路面状況をよく確認した上で安全に注意して走行してください。

ダウンヒルアシストコントロール

エンジンブレーキだけでは十分減速できないような険しい急坂路を降坂する際、スイッチ操作により、4輪のブレーキを自動的に制御し、タイヤロックすることなく安定した降坂を支援します。スイッチで選択した車速を保ち、ブレーキやアクセルの操作に気を使うことなく、ステアリング操作に集中できます。

※降坂時にトランスファー・ハイレンジ（H4）を選択し、車速4km/h～30km/h以下で作動します。



DAC: ダウンヒルアシストコントロールスイッチ
CRAWL: クロールコントロールスイッチ

※画像は一部実際の仕様と異なります。

先進的なデザインとオフロード走行時の機能性を両立したデュアルディスプレイ

インストルメントパネルに上下2画面のデュアルディスプレイを採用しました。上部の12.3インチタッチディスプレイはナビゲーションやオーディオ画面を表示し、オフロード走行時にはマルチテレインモニターになります。下部の7インチタッチディスプレイはマルチテレインセレクトやドライブモードセレクト、空調コントロールなどを表示します。
例えばオンロード走行でナビゲーションとドライブモードセレクト画面を表示したり、オフロード走行でマルチテレインモニターとマルチテレインセレクト画面を表示するなど、走行状況に応じて必要な情報を同時に表示することができます。

オフロード走行時の表示例

上部でカメラ画像を表示しながら、下部で車両状態を同時に表示することで、画面表示を切り替えることなく、オフロード走行時の状況把握が可能です。



マルチテレインモニターのバックアンダーフロアビュー（拡大）画面

マルチテレインセレクト画面



ドライブモードセレクト画面

※画像は一部実際の仕様と異なります。

オフロード走行に安心感をもたらすマルチテレインモニター

車両周辺の状況確認を4つのカメラでサポートするシステム。フロント・サイド左右・リヤに搭載したカメラでとらえた映像をカメラスイッチで切り替え、12.3インチタッチディスプレイに車両周辺映像を鮮明に、滑らかな動きで映し出し、ドライバーの死角になりやすい車両周辺の路面状況を確認できます。
オフロード走行時には、車高に適したカメラ映像の合成を行うことで、周辺状況をより分かりやすくドライバーへ伝え、安心感をもたらします。



アンダーフロアビュー＆両サイドビュー





ワイドバックビュー＆両サイドビュー

■アンダーフロアビュー/バックアンダーフロアビュー

アンダーフロアビューは直前に撮影された映像を車両下部に床下透過映像として表示、現在映像と合成することで車両下の状態や前輪・後輪の位置が確認できます。
バックアンダーフロアビューは車両後方の障害物との位置関係の把握や、後輪と路面の確認を支援することで、林間路、モーグル路、岩石路などでの走破性に寄与します。さらに、車両を透過し、後輪周辺をクローズアップして大きく表示するバックアンダーフロアビュー（拡大）により、タイヤ付近の状況や障害物との距離感を把握でき、スタックや行き止まりからの脱出に力を発揮します。



アンダーフロアビュー（後輪）＆両サイドビュー



バックアンダーフロアビュー＆両サイドビュー



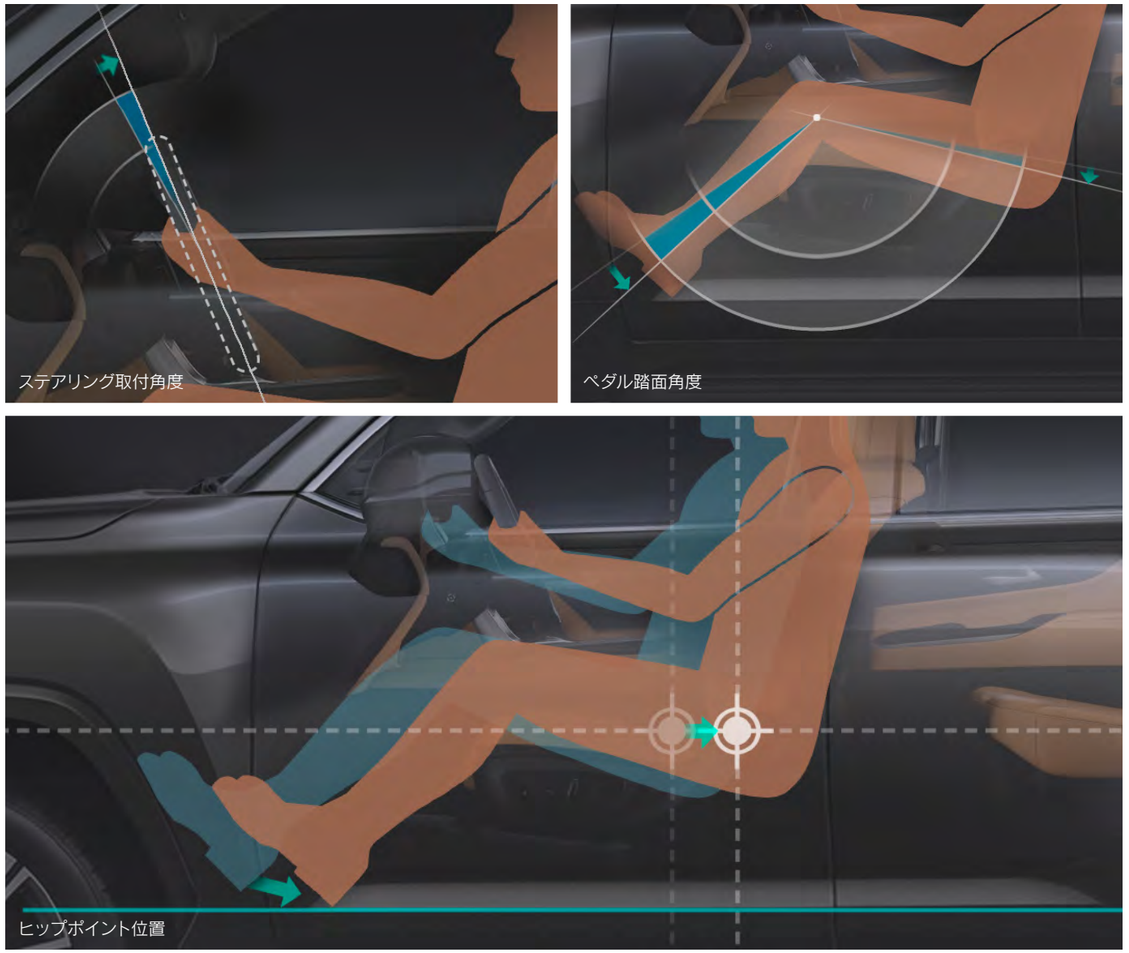
バックアンダーフロアビュー（拡大）

※画像は一部実際の仕様と異なります。

悪路走行時でも安定した運転姿勢を支えるステアリングやペダルのレイアウト

着座して自然にステアリングとペダルに手足が添えられるドライビングポジションをめざし、ステアリング取付角度やペダル踏面角度、フットレスト位置および取り付け角度、ヒップポイント高、シート形状やホールド性などを作り込みました。
またワークブーツ着用時でも隣のペダルに干渉しないよう、アクセルペダルとブレーキペダルの間隔を確保し、正確なペダル操作をサポート。アクセルペダルはショートストローク、かつ高剛性アームの採用により、レスポンスと操作性を両立させています。

ステアリングやペダルの操作がしやすい自然な運転姿勢の作り込み



エクステリア・インテリア共通のデザインキーワード

Dignified Sophistication

威厳ある力強さと、
洗練された品位ある深みを融合したデザイン。



本格オフローダーの力強さと、都会に映えるスタイリッシュさの融合

エクステリアデザインの原点としたのは、LXの歴代モデルから培った走破性にすぐれるホイールベース2,850mmと対地障害角。この伝統を継承した上で新たにプラットフォームを開発し、本格オフローダーとしての存在感と、上質で洗練されたプロポーションをめざしました。

フロントピラーを車両後方へ引くキャブバックワードデザインとし、骨太なボディにレクサス最大となる22インチタイヤ*を採用。ダイナミックかつスマートな表現としています。



＊265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール（プレミアムメタリック塗装）は“EXECUTIVE”に標準装備。

265/50R22タイヤ＆“F SPORT” 鍛造アルミホイール（スーパーグロスブラックメタリック塗装）は“F SPORT” に標準装備。265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール（切削光輝＋ブラック塗装）はLX700hに標準装備、LX600にメーカーオプション。

力強いフォルムと、洗練された面質の融合

力強いフォルム

スピンドルグリルからフロントフェンダーへかけて立体感を強調し、ダイナミックなフォルムを表現。さらに、スピンドルグリルとボディ全体を立体的に一体化させるとともに、エンジンフード前端をアルミニウムのプレス限界まで深く絞り、強いフロントエンドを演出。LXの力強い走りを訴求します。

洗練された面質

複雑な形状の部品を精緻に組み合わせたフロントなど、工芸品的な作り込みにより、洗練された上質な面質を表現しています。



風格と機能を両立させたフロントフェイス

グリルとエンジンフード

LXにふさわしい新しいスピンドルグリルの表現として、7組のフローティングバーで立体形状をつくり、フレームの無いシームレスな構成としました。一つひとつのバーの厚みをミリ単位で細かく調整することにより、デザイン性とツインターボエンジン搭載に伴う高い冷却性能を両立。サイドラジエーターグリルも冷却性能を確保するため開口部を大きくとり、整流効果の高い形状としました。また、エンジンフード中央の凹形状は、前方の視認性、および車両の傾斜感覚の得られやすさを表現。機能に根差したLXらしいデザインを実現しました。



三眼フルLEDヘッドランプ（ロー・ハイビーム）

薄型・小型の三眼LEDヘッドランプとL字型のクリアランスランプを組み合わせ、力強さとアグレッシブさを表現。クリアランスランプは立体形状へと進化させ、さらにインナーレンズを二重化し、それぞれに異なる段差を設けることで、奥行き感と見る角度による変化を与えています。



※画像はLX700h。 ※画像は一部実際の仕様と異なります。

塊感を主張しつつ、洗練されたリヤビュー

フロントから始まる骨太で水平軸のトルソーをリヤまで貫き、ルーフからバックウインドゥへ絞り込んだクォーターピラーと、ロッカー下端からリヤタイヤ後方へ駆け上がるアンダーの流れによって、一体感のある強い塊感を表現しました。リヤの中央に配置したブランドマークは、新たなLEXUSロゴに刷新し、次世代レクサスを象徴しています。



フルLEDリヤコンビネーションランプ（テール・ストップ・ターンシグナル）

フロントからショルダー、そしてリヤのシルエットに連続する軸の流れにL字形状と一文字を組み合わせました。抑揚のきいたシャープなデザインを強調し、レクサスとしての一貫性を表現しています。またリヤフォグランプを全車に標準装備しています。



※画像はLX700h。

3Dシミュレーションはこちら >

存在感を主張するレクサス最大サイズ、22インチ鍛造アルミホイールを設定



265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール（プレミアムメタリック塗装）*
ハイクラスな高輝度塗装で深い立体感を表現。“EXECUTIVE”にふさわしい存在感のある足元を演出します。

“EXECUTIVE”



265/50R22タイヤ＆“F SPORT” 鍛造アルミホイール（スーパーグロスブラックメタリック塗装）*
6本ツインスポークでグレードイメージを継承した、“F SPORT”22インチ鍛造ホイールです。

“F SPORT”



265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール（切削光輝＋ブラック塗装）*
ブラックと切削光輝のハイコントラストで22インチサイズを強調。鍛造により軽量化に寄与しています。

LX700h | LX600



265/55R20タイヤ＆アルミホイール（切削光輝＋ダーククリア塗装）
シャープでタイトなV字の切削ツインスポークとダーククリア塗装により精悍さを際立たせた20インチアルミホイールを新規設定。

LX600



265/70R18タイヤ＆アルミホイール（マットグレーメタリック塗装）*
末広がりで立体感のある6本スポークで存在感を主張します。

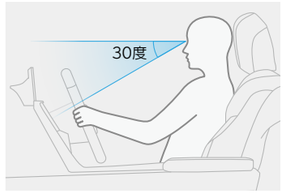
“OVERTRAIL+”

＊タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

■＝標準装備　□＝メーカーオプション
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

クルマとのより深い対話を生み出すコックピット

クルマとドライバーがより直感的につながり、より運転操作に集中できる新たなコックピット思想「Tazuna Concept」を取り入れました。スムーズな視線移動と手元操作を実現し、オンロードからオフロードまで、ドライバーとクルマのより深い対話を生み出します。



●視線移動の少なさの指標である「ディスプレイ中心を視線の下方30度以内」に配置し、運転中におけるディスプレイの見やすさに配慮。

●前方の道路からヘッドアップディスプレイ、メーターへとつなげ、12.3インチタッチディスプレイをナビ画面とすることで実現したスムーズな視線移動。

●マルチテレインセレクトなど、走行系スイッチをセンタークラスターの手の届きやすい位置に配置。急勾配の上り坂でシートバックに体が押しつけられた状態でも手が届くように配慮。

●ヒーターコントロールなどのスイッチは、人間工学の観点から機能的に整理し、7インチタッチディスプレイの下にスイッチを配置。

●悪路走行時に平衡感覚を把握できるように、ドライバーに近い12.3インチタッチディスプレイ上端を水平に配置。



※画像はLX700h。

シンプルでわかりやすいメーター＆カラーヘッドアップディスプレイ［1］

12.3インチTFT液晶式メーター（TFTカラーマルチインフォメーションディスプレイ）

ドライバーが運転に集中できるよう、運転支援情報をわかりやすく表示可能。LX伝統の補機バッテリー電圧とエンジン油圧計はもちろんのこと、画面カスタマイズにより、ブーストメーターの表示やハイブリッドバッテリー充電状態*の表示も選択できます。ドライブモードセレクトやマルチテレインセレクトのモード切り替え時の車両アニメーション表示も一新しました。

“EXECUTIVE” LX700h LX600 “OVERTRAIL+”　＊LX700h全車のみ。

メーター画面カスタマイズ表示例







ドライブモードセレクトの車両アニメーション表示例



※画像はSPORT Sモード。



※画像はCOMFORTモード。

マルチテレインセレクトの車両アニメーション表示例



※画像はSANDモード。



※画像はAUTOモード。

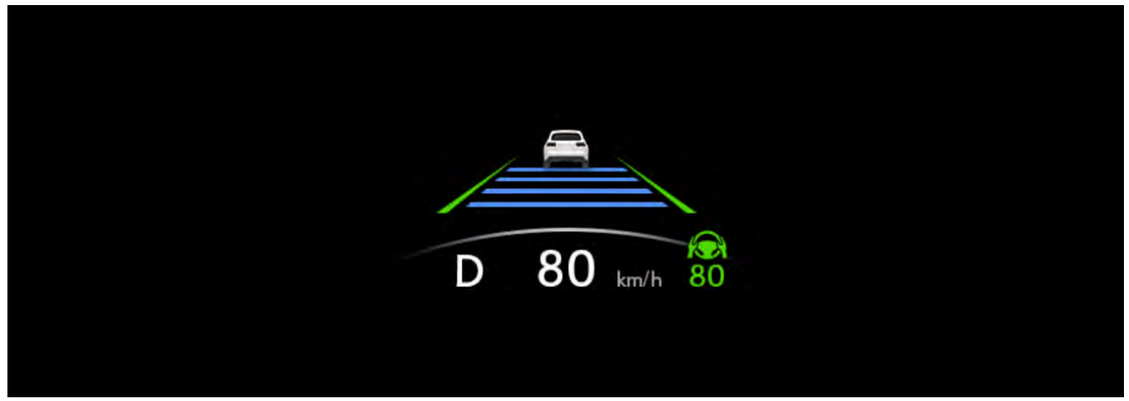
＝標準装備

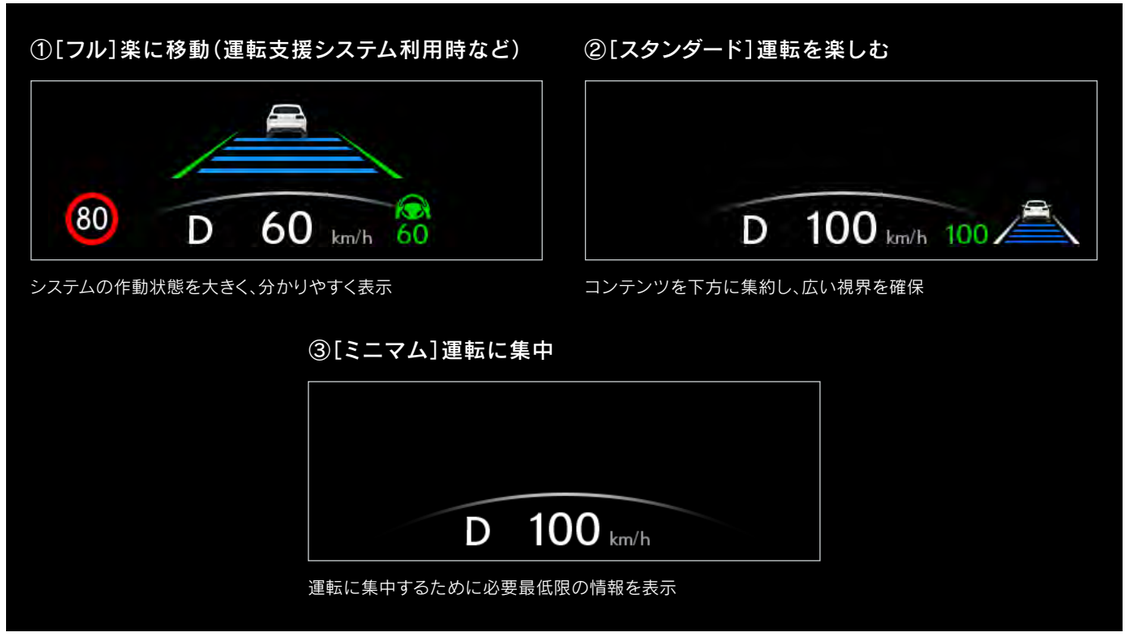
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

シンプルでわかりやすいメーター＆カラーヘッドアップディスプレイ［2］

カラーヘッドアップディスプレイ

走行中の視界を確保した上で、情報を分かりやすく伝えるカラーヘッドアップディスプレイ。メーターへの視線移動を減らし、ドライバーが常に前方の道路状況に集中できるように、表示内容ごとに最適なレイアウトに配置しています。また、センターディスプレイのカスタマイズ画面から、ドライバーの好みや運転シーンに合わせて3つの表示モードを選択することができます。





※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

シフトやスイッチの操作しやすさを追求したセンタークラスター

ハイブリッドモデルのシフトレバーには、小気味良く、確実ですばやいシフト操作を実現するエレクトロシフトマチックを採用しました。また、ヒーターコントロール系スイッチと走行系スイッチを上下にゾーニングし、スイッチの配置を分かりやすく整理。スイッチの形状をトグル式、プッシュ式、ダイヤル式に分けることで直感的な操作を可能にしました。オフロード走行時においても、ドライバーの誤操作を低減し、意に沿った走行モードの選択や温度調節をサポートします。



エレクトロシフトマチック LX700h 全車

LEXUSオフロード4WD車として初めてエレクトロシフトマチックを採用。「もみ出し」のような悪路走行特有の操作時における操作のしやすさ・握りやすさをオフロードのTAKUMI監修のもと追求。心地の良い触感と高い操作性を両立する、LX専用のシフトノブです。



ヒーターコントロール系スイッチ

温度調整スイッチは直感的に操作しやすいトグル式とし、その他のスイッチは手になじむ凹断面のプッシュ式を採用。ハザードスイッチは左右にフレームを設けることで、オフロード走行時などで指の横滑りで起きる誤操作の防止に配慮しました。



走行系スイッチ

駆動系のプッシュスイッチはオフロードでの指の横滑りや誤操作の防止に配慮した深堀の断面とし、グローブ使用時にも容易に操作できる大型サイズとしました。モードセレクトダイヤルは節度感のある操作性により、オフロード走行時でも操作感覚をつかみやすくしています。



＝標準装備

※機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。 ※画像はLX700h。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

「広がり感」と、包まれる「安心感」を両立した前席空間

運転に集中できる快適な空間をめざし、「程よい包まれ感のあるドライビング空間」をデザインしました。インストルメントパネルを薄く見せる二段構成とし、上段はエアコンの吹き出し口を左右にオーバーハングさせることで、より強い水平基調と広がり感を演出。下段はインストルメントパネルロアから左右ドアアシストグリップまでつながりのある造形とすることで、乗員を包み込むような安心感を提供します。



※画像はLX700h。

悪路での姿勢保持や衝撃緩和に配慮した助手席空間

フロントドアアシストグリップ の太さや角度にこだわり、オフロード走行時の姿勢保持のしやすさと乗員を包み込む造形美を両立しました。
また、フロントドアトリムの肩口や腰部に柔らかなソフトパッドを配し、プロテクト性を強調、同乗者にも安心とくつろぎを提供します。



※画像はLX700h。

おくだけ充電®やHDMI/USB Type-C端子などを備えたセンターコンソール

スマートフォンなどをワイヤレス充電できるおくだけ充電はコンソール中央に配置し、HDMI端子＊1、USB Type-C端子（通信用・充電用）を設定。また、Lexus Teammate Advanced Parkメインスイッチ、シートヒータースイッチとステアリングヒータースイッチは視認しやすいコンソール前方に設定しています。



＊1. 機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。
＊2. “EXECUTIVE”では、おくだけ充電はリヤコンソールにも設置されます。

＝標準装備

※画像はLX700h。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

過酷な環境下での快適性を追求したフロントシート

上部は広く背中を包み込むような肩口形状と、運転時の腕さばきに配慮したランバー形状を融合させ、機能的でありながら柔らかな線使いにより、立体感のあるシートを開発しました。



すぐれたホールド性と快適な乗り心地

クッションパッドに座面の安定性と圧力の分散性の高い素材を採用。硬度分布の最適化により腰の横揺れ抑え、上体の傾きを低減することで、低G領域でのホールド性を確保します。

シートベンチレーション

エアコンからの風をシート内に吸い込む吸引構造により、冷風が乗員の体の脇を通り抜け、冷涼感を得られるようにしました。またエアコンと連動制御し、出力がMaxとなるエクストラハイ・モードを設定しています。

シートヒーター

人間工学の見地からヒーターの配置と温度分布を設定し、長時間の乗車で負担のかかりやすい肩や腰、寒い日に冷えやすい大腿部を効果的に温めます。3段階の温度調整機能により、冬季だけでなく、夏季の冷房使用時にも利用できます。

フロントリフレッシュシート

前席*乗員の疲労軽減の一助とすべく、エアブラダー（空気袋）方式のリフレッシュシートを採用しました。センターディスプレイ内のスイッチから、機能のオン・オフ並びに全身2コース・部位別3コースの全5コースが選択可能、強度も5段階に設定できます。

＊“EXECUTIVE”は運転席のみ。



エアブラダー（空気袋）配置図

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適な座り心地のセカンドシート

最適なサイドサポート高さとクッション性によりホールド性を確保したセカンドシート。可倒式リヤセンターアームレストは腕を置いた際に快く、カップホルダーも使いやすい高さとしました。また、薄型のセンターピラーガーニッシュや、コーナーに丸みを設けたシートクッションにより足の出し入れをスムーズにし、サイドステップも悪路走破性との両立を図った取り付け位置やサイズとし、すぐれた乗降性を実現しました。

ハイブリッドモデル専用セカンドシート（6:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付）

LX700h“F SPORT” LX700h LX700h“OVERTRAIL+”



可倒式リヤセンターアームレスト
（カップホルダー2個付）



ガソリンモデル専用セカンドシート（4:2:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付）

LX600“F SPORT” LX600 LX600“OVERTRAIL+”



可倒式リヤセンターアームレスト
（カップホルダー2個付）



＝標準装備

※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適な座り心地で、フラット状態にもできるサードシート

ハイブリッドモデル専用サードシート（5:5分割可倒式/電動リクライニング機構・センタートレイ付）

一体式のシートクッションにセンタートレイを設定、スマートフォンなどを収納できます。約16度の電動リクライニングにより、ラゲージスペースの拡大が可能です。また、ラゲージルームのフロアをフラットにできるフォールドダウンシートを採用。スイッチの長押しにより、シートバック前倒しと連動してヘッドレストを格納、フラットな状態へ移行します。充電用USB Type-C端子、カップホルダーもクォータートリムに設定しています。

LX700h"F SPORT"（7人乗り） LX700h（7人乗り） LX700h"OVERTRAIL+"（7人乗り）



ガソリンモデル専用サードシート（5:5分割可倒式/電動リクライニング機構付）

約10度の電動リクライニングにより、ラゲージスペースを拡大できます。また、格納時にラゲージルームのフロアがフラットになるダブルフラットシートを採用。スイッチの長押しにより、シートクッションを下方へ移動、シートバックを前倒し、ヘッドレストを格納してフラットな状態へ移行します。充電用USB Type-C端子、カップホルダーもクォータートリムに設定しています。

LX600"F SPORT"（7人乗り） LX600（7人乗り） LX600"OVERTRAIL+"（7人乗り）



※画像はハイブリッド/ガソリンモデル共通です。



＝標準装備

※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

上質で、使いやすさに配慮した後席空間

ドアトリム＆リヤウインドゥ

前後に抜けた伸びやかなアームレストと、ショルダー部にソフトパッドを配し、上質感と安心感を表現しました。また、リヤウインドゥにサンシェード（マニュアル）を設定し、サンシェードとトリムの間に黒セラミックを施すことで遮光性を高め、後席に安らぎの空間をもたらします。



フロントセンターコンソール後部

エアコンレジスターとヒーターコントロールパネルにサテン調メッキを施し、上質さを表現しました。左右両開きのコンソールボックスはオープンスイッチを運転席側・助手席側と後席側に設置し、後席からも開閉しやすくしています。また、ハイブリッドモデルにはアクセサリーコンセント（AC100V・1500W）を設定しています。



＊リヤシートエンターテインメントシステムを選択した場合、HDMI端子（1個/フロントセンターコンソール後部）、ヘッドフォンジャック（2個/フロントセンターコンソール後部）が同時装着となります。
※端子類の収納パネルの開閉方法は、ハイブリッドモデルがプッシュクローズ式、ガソリンモデルはプッシュオープン式です。

□＝メーカーオプション　※画像はLX700h。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

乗り降りに便利なマルチシートオートアレンジ（ウォークイン機構）

マルチシートオートアレンジ（ウォークイン機構）

7人乗り仕様ではセカンドシート肩口のタンブルスイッチを押すと、フロントシートが作動し、タンブルできるスペースを確保した後、電動でセカンドシートを折りたたみつつ跳ね上げ、サードシートへ楽に乗り降りできます。

"F SPORT"（7人乗り） **LX700h**（7人乗り） **LX600**（7人乗り） **"OVERTRAIL+"**（7人乗り）

※5人乗り仕様では、タンブル状態にすることによりラゲージスペースを拡大することができます。
※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。





■＝標準装備

※画像はLX700h。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ラゲージスペースの拡大に便利なマルチシートオートアレンジ（ラゲージスペース拡大機構）

マルチシートオートアレンジ（ラゲージスペース拡大機構）

ラゲージルーム内の左側に設置したスイッチを長押しすることで、セカンド・サードシートの一連の格納動作が自動で行え、ラゲージスペースを楽に拡大できます。

"F SPORT" LX700h LX600 "OVERTRAIL+"

5人乗り　7人乗り



スイッチを押している間、シートが作動

フレキシブルデッキボード

7人乗りのハイブリッドモデルには、サードシートのシートバックからバックドアまでフラットなスペースを提供するフレキシブルデッキボードを採用しています。また、フレキシブルデッキボードを跳ね上げることで、背の高い荷物を積載することもできます。

LX700h"F SPORT"（7人乗り） LX700h（7人乗り） LX700h"OVERTRAIL+"（7人乗り）



Photo：LX600。 ※セカンドシート前倒し＋サードシート両側フロア格納。



Photo：LX700h。 ※セカンドシート前倒し＋サードシート前倒し＋フレキシブルデッキボード使用状態。

＝標準装備

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

使用シーンに合わせてフレキシブルに対応できるシートアレンジ

5人乗り



※画像はLX600。



※画像はLX600。

7人乗り



※画像はLX600。



※サードシートはダブルフラットシートです。
トリムのスイッチ操作でフラットな状態に格納されます。
※セカンドシートはタンブル状態にもできます。

※画像はLX600。



※セカンドシートはタンブル状態にもできます。

※画像はLX700h。

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

使用シーンに合わせてフレキシブルに対応できるラゲージルーム

5人乗り



	容量＊1	ゴルフバッグ＊2
ハイブリッドモデル	889ℓ	4個
ガソリンモデル	1,109ℓ	5個

※トノカバー付き。
※画像はLX600。

7人乗り



	容量＊1	ゴルフバッグ＊2
ハイブリッドモデル	140ℓ	1個
ガソリンモデル	174ℓ	1個

※画像はLX600。



	容量＊1
ガソリンモデル	1,977ℓ

※画像はLX600。

4人乗り



	容量＊1	ゴルフバッグ＊2
ハイブリッドモデル	580ℓ	2個
ガソリンモデル	767ℓ	4個

※トノカバー（セパレーター付）付き。
※画像はLX600 “EXECUTIVE”。

7人乗り



	容量＊1
ハイブリッドモデル	1,650ℓ

※画像はLX700h。

＊1. ラゲージルームの容量はVDA方式で測定。荷室高を天井までとした場合の数値です。
＊2. 9.5インチ口径のゴルフバッグに47インチドライバーを入れて搭載。
クラブの長さやゴルフバッグの形状・大きさにより収納できない場合があります。
※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。
※シートアレンジ別のラゲージルーム容量につきましては、112-113ページをご覧ください。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

上品さとおもてなしの心を込めた光の演出

インテリアイルミパッケージ

室内の造形や素材を美しく魅せる間接照明です。コックピット全体のイルミネーションで室内空間を彩ります。照明の色は、美しい自然現象などから着想した14色のテーマカラーに加えて、お好みに合わせて選べる50色のカスタムカラーを設定。気分に合わせて自由に変更できます。

※14色のテーマカラーにつきましては、45ページをご覧ください。


※画像のテーマカラーはWaterfall。

照明部位

・ドアトリム　・インサイドドアハンドル
・運転席/助手席足元　・小物入れ　・カップホルダー
・リヤコンソールテーブル("EXECUTIVE"のみ)
・セカンドシート足元

※運転席/助手席足元とセカンドシート足元の照明は、ドアオープン時ではホワイト、シフトをDレンジに入れると設定したカラーに変わります(ドア連動スイッチON時)。

※画像はLX700h。

インテリアイルミパッケージのおすすめ14色（テーマカラー）

癒し　リラックス　覚醒　集中　高揚感

Rain forest

静寂な木々に囲まれた川面に映る美しい深緑

Dawn

夜の冷気がつくりだす黄橙の夜明けの空

Warm white

雲海に朝陽がさすことで一面に広がるあたたかい温白色

Iceberg

雪が凝縮されてできる青く透き通った神秘的な青緑

Flare red

高揚感を高める赤く鮮やかにゆらめく炎の光

Bamboo

蛍が舞う、美しい竹藪の生命感あふれる若竹色

Sunset

木々を染め上げるあたたかな茜色の夕焼け

Silky white

日暈を通して見える太陽の自然な美しい白

Waterfall

凛と冷たい空気に一気に流れこむ冬の滝の水色

Heat blue

1500度の想像を超えた高温時のクールな青白い炎

Lightning

雲が雷光で美しく染まる一瞬の淡黄色

Afterglow

日没後あたたかく周りを包み込む太陽の名残の淡紅色

Daylight white

澄みきった冬空で輝く爽やかな昼光色

Meteor

宇宙へと続く深く吸い込まれるような紫紺の星空

細部まで心を尽くした上質表現

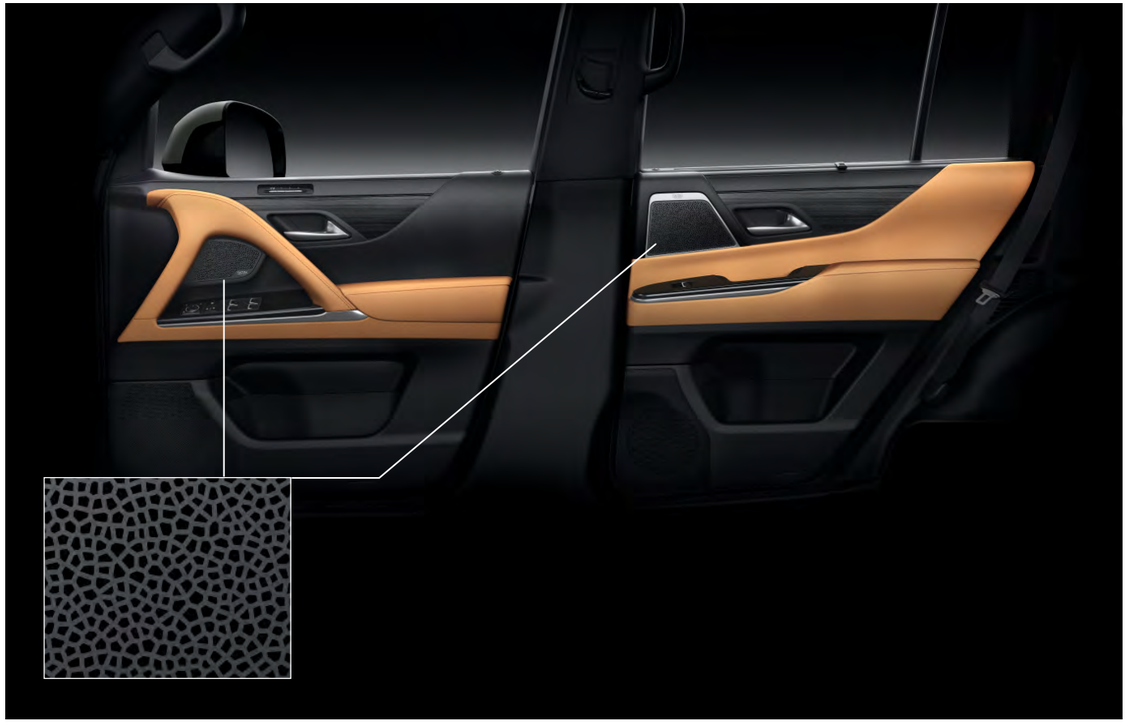
素材表現

センタークラスターおよびインストルメントパネルレジスターの骨太な金属と表皮巻きパッドを組み合わせました。さらに、人の目や手に触れやすいグリップにはアウトステッチを施し、本物が醸し出す上質感を表現しています。表皮巻きはクラフトマンシップを注ぎ込み、細心の手作業によって作り込んでいます。



スピーカーグリルデザイン

“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステムのスピーカーグリルには、葉脈柄をイメージしたパターンを採用し、自然の温もりを表現しました。



※画像はLX700h。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

「オフロード走行でも安らげる、休息の場」を追求した“EXECUTIVE”

ゆとりの2人乗り後部座席と、細部にまでこだわり尽した室内表現で仕立てた“EXECUTIVE”。
オンロードはもちろん、オフロードでも快適に過ごせる機能を備え、都市をまたぐような長距離や荒れた路面を移動する際も、リラックスできる空間をめざしました。



※画像はLX700h“EXECUTIVE”。

荒れた路面の長距離移動も疲れず安らげるリヤシート

リヤパワーシート

凹形状のクッション・シートバック・大型ヘッドレストにより、カーブで横荷重を受けた時でもホールド性を確保します。さらに、クッションの臀部には振動吸収性の良いソフトウレタンを使用し、オフロード走行時にも不快な振動を効果的に抑えます。また“EXECUTIVE”ならではのキルティングを施し、上質さを表現しています。

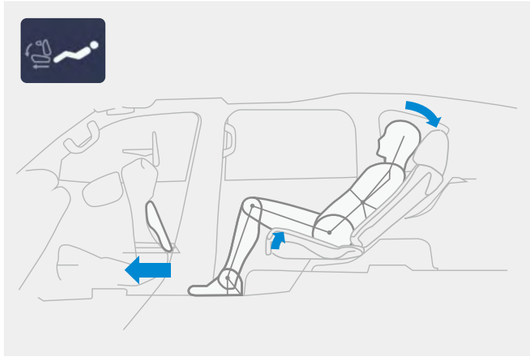


リラクゼーション機能（後左右席） “EXECUTIVE”

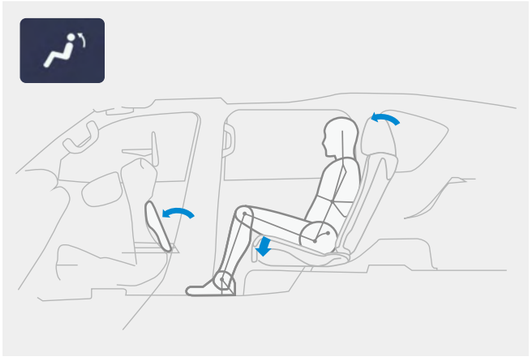
シートバックおよびシートクッション内のエアブラダー（空気袋）を膨張させることで、乗員の背中から大腿部までを押圧し、心身のリフレッシュに寄与します。全身（リフレッシュ・ストレッチ・シンプル）と部位別（上半身・下半身・肩・腰）の7コースを設定、強さは5段階から選べます。

プリセットポジション（後左席） “EXECUTIVE”

ワンタッチで素早くシートポジションを調整するプリセットモードを設定しました。リラックスモードはリラックスした姿勢でお休みいただけるようレッグスペースを広げ、助手席と後左席を前後に倒します。シートリターンはオットマンを格納し、後席を乗降しやすい位置へ移動できます。



リラックスモード



シートリターン
※シートベルトを外したときのみ操作が可能です。

＝標準装備

※画像はLX700h“EXECUTIVE”。 ※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

「NASA*が提唱する中立姿勢」を参考に最大48度リクライニングし、くつろぎの空間を創出

最大48度のリクライニング（後左席）

“EXECUTIVE”として重視したことが、オフロード走行中でも寝られるほどリラックスできることです。リラックスモードスイッチで助手席を前方に移動させると同時に、座面角度とリクライニング角を最適な41度にワンアクションでコントロール。さらにディスプレイを倒して前方視界を広げ、オットマンを展開し、最大レッグスペース1,000mmを確保することで開放感とくつろぎの空間を創出。足先から頭まで体への負担が少ない姿勢を提供します。

＊NASA: National Aeronautics and Space Administration
※リラックスモードスイッチでのリクライニング角は最適なポジションとなる41度を設定、最大48度までリクライニング可能です。



電動オットマン（後左席） “EXECUTIVE”

オットマンを助手席後部に設定したことで、助手席のスライド操作のみでオットマンの位置を調整可能。つま先がシートバックにあたり、ふくらはぎがオットマンに乗るよう調整することで、オフロード走行でも足を快適に支えます。汚れを拭き取りやすい合成皮革を使用しています。

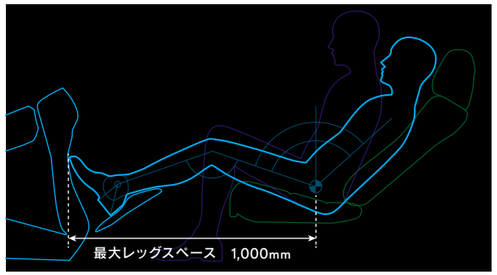


■オットマンを快適にお使いいただくための位置調整の目安



最大レッグスペース1,000mm

240mm助手席スライド、前方へさらに約114mmスライドできるエクストラスライドを併用することで、レッグスペースを最大1,000mm確保できます。



リラックスモードとオットマン展開による姿勢

■＝標準装備

※画像はLX700h“EXECUTIVE”。 ※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ビジネスやプライベートに対応できる、個室を思わせる空間［1］

サンシェード（リヤウインドゥ/マニュアル） 全車

プライバシーに配慮しつつ、乗員が「NASAが提唱する中立姿勢」でくつろぐ時、窓から差し込む外光を遮ります。仕事に集中したい時は外界から情報を遮断するためにクローズし、風景を楽しみたい時は開けるなど、時々の気分に応じて空間の使い方を変えることができます。



後席空間とラゲージルームを隔てるセパレーター "EXECUTIVE"

セパレーターを設定し、トノカバー使用時に後席空間とラゲージルーム下側を隔てることで、後席空間のプライベート性を確保します。リヤシートのリクライニングに追従して作動するように、セパレーター下端をシートに固定。シートを起こした際に生まれるシート下の空間をラゲージスペースとして活用することができます。また、セパレーターの中央部は開閉が可能で、長尺物の収納に便利です。







＝標準装備

※画像はLX700h "EXECUTIVE"。 ※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ビジネスやプライベートに対応できる、個室を思わせる空間［2］

読書灯（後左右席） "EXECUTIVE"

天井に設置した後席専用の読書灯。角度調整・3段階調光機能付きで、「NASAが提唱する中立姿勢」からも体を起こさず操作できます。



リヤシートエンターテインメントシステム

"EXECUTIVE" | "F SPORT"＊1 | LX700h＊1 | LX600＊1 | "OVERTRAIL+"＊1

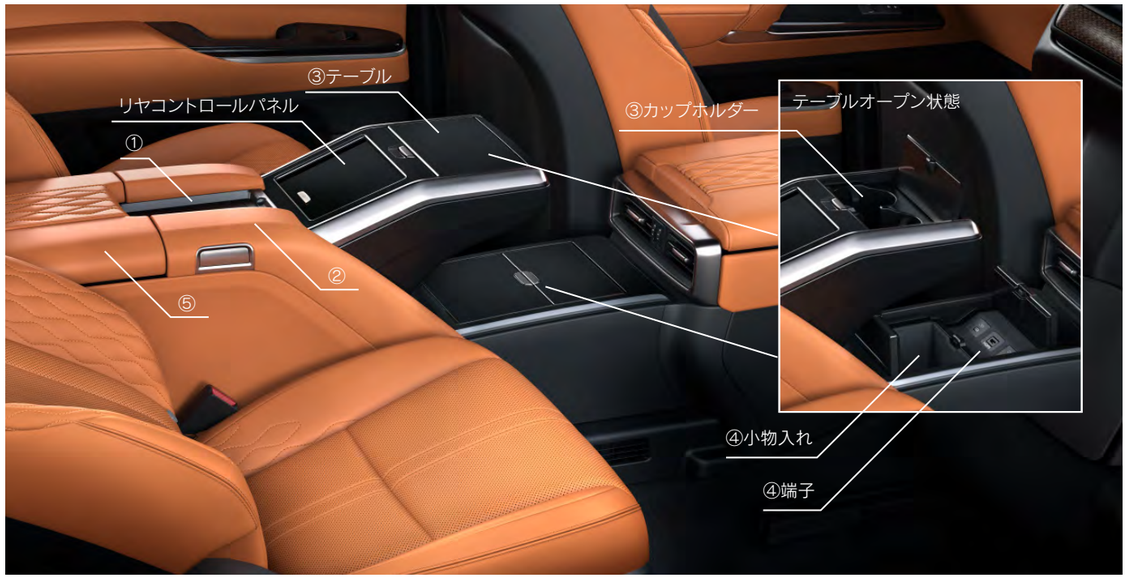
タッチパネル付11.6インチディスプレイを左右2台設置。リラックスした「NASAが提唱する中立姿勢」で高画質の映像を楽しめます。

※"EXECUTIVE"の助手席ヘッドレストとディスプレイは電動で前方に倒すことができます。



リヤコンソールの便利な機能 "EXECUTIVE"

①リクライニング時にもスマートフォンの通知に気づきやすい位置に配置した**おくだけ充電**®
②腕置きだけでなく、タッチパネルの操作も快適に行える**パームレスト**
③**テーブル**と、その中に**カップホルダー（2個）**
④**小物入れ**と、その中に**充電用USB Type-C端子（2個）、HDMI端子など**
⑤**ヘッドフォンジャック（2個）、充電用USB Type-C端子（2個）、アクセサリーコンセント（AC100V・1500W/非常時給電システム付）**＊2を備え、ブランケットも収納できる**コンソールボックス**





テーブルの表面にはペン跡などの傷が回復しやすい自己治癒塗料を使用。テーブル面を押し込んでも開かない構造のため、書類へのサインなどに使うことができます。

＊1. リヤシートエンターテインメントシステムを選択した場合、HDMI端子（1個/フロントセンターコンソール後部）、ヘッドフォンジャック（2個/フロントセンターコンソール後部）が同時装着となります。
＊2. LX600 "EXECUTIVE" はアクセサリーソケット（DC12V・120W）となります。

■＝標準装備　□＝メーカーオプション

※画像はLX700h "EXECUTIVE"。　※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。　※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

後席からの開放的な前方視界と、炎天下や極寒に影響されない心地良い空調

前方視界

後席の乗員が開放感を感じられるよう、リヤシートエンターテインメントシステムの後席用ディスプレイを前方へ水平に倒すことができます*。操作はフロントとリヤコントロールパネルの両方からワンタッチで操作できます。

＊フロントシートのヘッドレストが前に倒れている場合に作動可能です。





視聴状態



水平状態

シャワー空調機能＆エアカーテン "EXECUTIVE"

空調は炎天下や極寒の中でも心地良さを提供します。夏季はルーフサイドレジスターからの冷風で室内を冷やした後、好みに応じてレジスターの風量や向きを手動で調整し、シャワー空調機能をON。天井から風を降り注ぐように拡散することで、冷やし過ぎなどを抑えつつ、乗員の全身を包み込むような快適状態を保ちます。冬季はラゲージルームから広がる冷気を遮断する温風のエアカーテンを足元に送風することで、頭寒足熱の効果をより一層高めます。



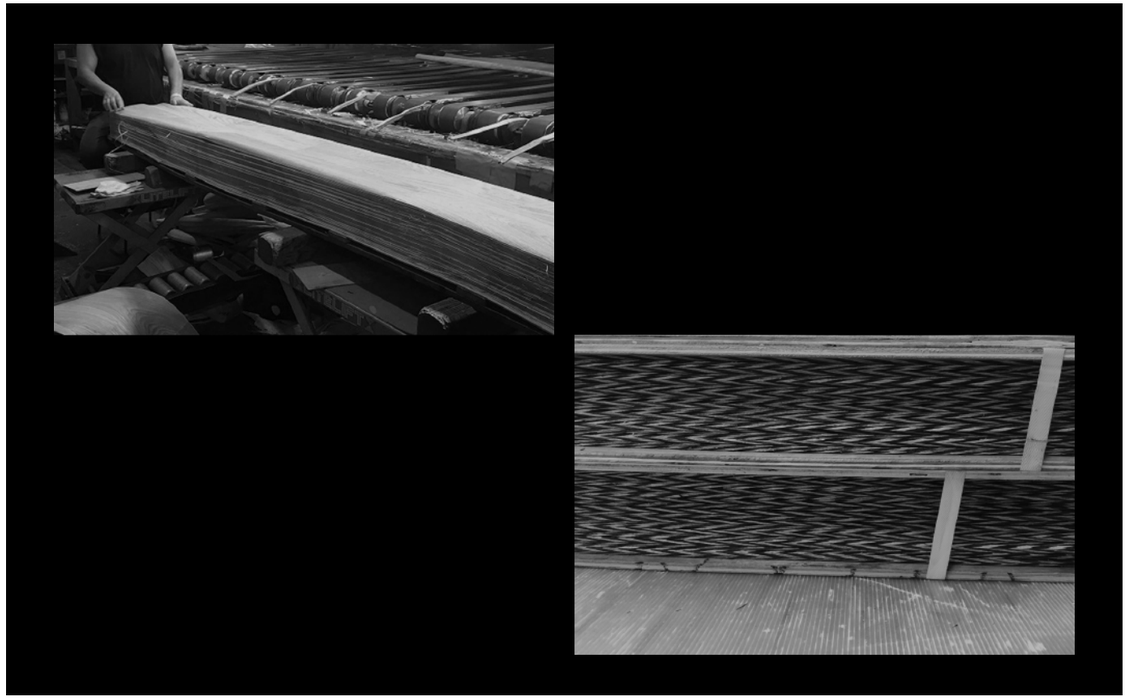
＝標準装備

※画像はLX700h "EXECUTIVE"。 ※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

寄木細工の繊細な美が映えるオーナメントパネル「鷹羽（たかのは）」

鷹の羽根の紋様をモチーフに、日本の匠による寄木細工の手法を用い、圧倒的な繊細さで表現した「鷹羽」。
空の王者である「鷹」の勇猛さと美しさを兼ね備え、LXにふさわしい、レクサス独自の柄を創出しました。 "EXECUTIVE"





三種類の杢材を積層した種木を造り上げ、角度を変えて三度にわたり切削を行うことで、「鷹羽」の紋様を浮かび上がらせています。

＝メーカーオプション
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

「走る喜び」をさらに追求した“F SPORT”を追加設定

新たに追加する“F SPORT”は精悍さとスポーティさを想起させる内外装装備およびカラーを設定。
加えて、足回りには“F SPORT”ならではの走りを追求したチューニングを施すことで、
運転を愛するより多くのドライバーに運転する楽しさをお届けします。



アグレッシブかつスポーティなエクステリア[1]

フロントまわりには、メッキモールとブラック塗装のメッシュパターンラジエーターグリルを採用し、精悍な印象を際立たせました。
あわせて、フロントエンドを低く構成することで、力強くアグレッシブな造形を際立たせ、低重心かつ躍動感のある“F SPORT”らしいデザインに仕上げました。
足元には、スポーティな世界観を体現する22インチ鍛造アルミホイールを標準設定しました。
さらに、LEXUSロゴをあしらったレッドブレーキキャリパーを採用することで、
ダイナミックな走りを予感させる鮮やかなアクセントを加えています。



“F SPORT”エクステリア



“F SPORT”スピンドルグリル（メッシュタイプ、漆黒メッキモール）/
“F SPORT”サイドグリル（メッシュタイプ）/“F SPORT”フロントロアバンパーモール
（サテンメッキ）



265/50R22タイヤ＆“F SPORT” 鍛造
アルミホイール（スーパーグロスブラック
メタリック塗装）



“F SPORT”レッドブレーキキャリパー
（フロントLEXUSロゴ）
“F SPORT”

＝メーカーオプション

※画像はLX700h“F SPORT”。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

アグレッシブかつスポーティなエクステリア[2]

ディフューザー形状にブラック塗装を施したリヤバンパーを採用し、ダイナミックな走りへの期待感を高めています。
さらに、リヤバンパーロアにはフロントのラジエーターグリルと共通の専用メッシュパターンをあしらい、
車両全体のデザインの連続性と精悍さを際立たせました。



“F SPORT”エクステリア



“F SPORT”リヤロアグリル（メッシュタイプ）/
“F SPORT”リヤロアバンパーモール（サテンメッキ）



“F SPORT”エンブレム
（フロントフェンダー）



専用ピントルフックカバー

※画像はLX700h“F SPORT”。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ドライバーの走りへの高揚感を高めるインテリア[1]

フロントシートは、サイドサポート部のパッド裏面にフェルトを配置・補強することで、コーナリング時などにおける横方向のGに対する優れたホールド性を実現しています。
“F SPORT”ブラックロゴスカッフプレート、アルミ製スポーツペダル＆フットレストを設定し、スポーティなドライビング体験を演出します。
ディンプルレザーを用いたシフトノブとステアリングホイールを採用。握った際のホールド感を向上するとともにスポーティさを表現しました。







“F SPORT”12.3インチ
TFT液晶式メーター



“F SPORT”ディンプル本革
ステアリング（パドルシフト付）



“F SPORT”ディンプル本革シフトノブ



“F SPORT”アルミ製スポーツペダル＆
フットレスト



“F SPORT”ブラックロゴ
スカッフプレート



オーナメントパネル
（“F SPORT”本アルミ[刃取調仕上げ
/シルバー]）

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ドライバーの走りへの高揚感を高めるインテリア[2]

“F SPORT”12.3インチTFT液晶式メーター（TFTマルチインフォメーションディスプレイ）

12.3インチフルグラフィックメーターには専用デザインを含む、計3種類の表示レイアウトを設定しました。
ドライバーの好みや走行シーンに応じて最適なメーター表示を選択でき、走りへの高揚感を高めるコックピット環境を提供します。



タイプ 1



Normal



Sport S



Sport S+



タイプ 2



タイプ 3



Eco



Comfort

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

走る喜びを研ぎ澄ます、“F SPORT”専用パフォーマンス［1］

”F SPORT”はより爽快で力強い走りやスポーティな世界観を求めるお客様のニーズにお応えするため、
専用にチューニングされた前後パフォーマンスダンパー®*1、トルセン®*2LSD、リヤスタビライザーを標準装備。

*1. パフォーマンスダンパー®はヤマハ発動機（株）の登録商標です。
*2. トルセン®、TORSEN®は（株）ジェイテクトの登録商標です。





トルセンLSD®（リヤディファレンシャルギヤ）

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

走る喜びを研ぎ澄ます、“F SPORT”専用パフォーマンス［2］

EPS*1とAVS*2に“F SPORT”専用チューニングを施し、優れたレスポンスと高い操縦安定性を実現しました。

＊1. 電動パワーステアリング
＊2. Adaptive Variable Suspension system





OVERTRAIL PROJECT

公園でのピクニック、家族や仲間と過ごすキャンプ、
雪道、砂漠、山道を自由に旅するオーバーランディング。
LEXUSは、多様なアウトドアライフスタイルとクルマの楽しさに寄り添うために、
OVERTRAILプロジェクトに取り組んでいます。
五感で自然を楽しむ機会を、上質なアウトドア体験を、
この地球環境を守っていく活動を。
OVERTRAILプロジェクトを通じて、
LEXUSは、ヒトと自然とモビリティの共生を考え続けます。

独自のデザインをまとい、圧倒的走破性を実現する“OVERTRAIL+”

過酷な環境にも耐える“プロフェッショナルツール”を表現したエクステリアデザインに、
悪路走破性をより高める3つのディファレンシャルロック（フロント・センター・リヤ）と扁平率の高い18インチタイヤを装着。
「Luxpedition（Luxury×Expedition）」という新たなライフスタイルを提案します。



“OVERTRAIL+”エクステリア



スピンドルグリル
（黒光輝塗装）


18インチアルミホイール（マットグレーメタリック塗装）/ホイールアーチモール（ブラック）


ドアミラー
（ブラック塗装＆マットグレーメタリック加飾）


フロントフォグランプベゼル
（漆黒メッキ）

※画像はLX700h“OVERTRAIL+”。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

3つのディファレンシャルロックと18インチタイヤを搭載し、エクステリアとともに力強い走破性を主張

全車標準装備のセンターに加えて、“OVERTRAIL＋”にフロント・リヤのディファレンシャルロックを設定。
車輪がスタックした場合などに、必要に応じてディファレンシャルをロックすることで、空転している車輪に駆動力を伝えて脱出性を高めます。
ディファレンシャル内に小型のアクチュエーターを内蔵し、外部からの浸水や衝撃を受けにくくしました。
また、タイヤサイズを265/65R18から265/70R18へと拡大しました。タイヤ外径の拡大にあわせて最低地上高を高めることで、岩石路をはじめとする
厳しい悪路での走破性を向上。あわせて、タイヤ側面にブロックパターンを施すことで、風格ある力強いスタイリングを表現しました。
さらに、タイヤ構造とトレッドパターンを最適化することで、オンロードでの静粛性を両立しています。



“OVERTRAIL＋”エクステリア


ルーフレール
（マットマーキュリーグレーマイカ）


ウインドゥモール（ブラックステンレス）


ドアハンドル（ブラック）


リヤバンパーサイドメッキモール
（漆黒メッキ）

※画像はLX700h“OVERTRAIL＋”。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

セキュリティを確保する指紋認証スタートスイッチ

指紋認証スタートスイッチ

スタートスイッチの中央に指紋センサーを搭載した、指紋認証による始動システムです。電子キーを携帯し、ブレーキを踏みながら指紋センサーにタッチすると、車両に登録された指紋情報と照合。指紋情報が一致しなければエンジンが始動しないため、より高いセキュリティを発揮します。

※指紋の状態によっては指紋登録ができない場合があります。
※指の状態によっては登録した指紋を認証できない場合があります。その場合は、電子キーを指紋認証スタートスイッチにかざすことでエンジン始動が可能となります。

電子キー測距システム

指紋認証スタートスイッチ連動のスマートエントリー＆スタートシステムを設定しました。UWB無線通信により、電子キーの位置を精度良く測定します。キーを持つお客さまが車両近くにいらっしゃらない場合には、スマートエントリー＆スタートシステムによるドア開錠、およびエンジン始動を制限することで、盗難防止に貢献します。

※カードキー選択時は選択不可となります。
※お客さまの特別な操作は必要としませんが、電子キーと車両の間に人体が入るなどすると、スマートエントリーが応答しない場合があります。その場合には窓の近くで電子キーを持ち、再度、ドアハンドルのセンサーを触れることで応答します。
※測距システムなしも選択できます。



スタートスイッチ（中心部：指紋センサー）



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

クルマとつながる安心・快適を追求したG-Link

標準搭載のDCM（Data Communication Module）を介して、クルマがお客さまとつねにつながります。
次世代マルチメディアに対応した新しいG-Linkサービスでは、クルマを使っている時はもちろん、
乗車前や乗車後にもクルマとつながる安心、安全、快適なカーライフを提供します。

〈G-Linkサービス一覧〉

			12.3インチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plus
基本サービス*1	ヘルプネット®		○
	eケア		○
	G-Security	うっかり通知	○
		リモート確認	○
		リモート操作	○
		アラーム通知	○
		マイカー始動通知	○
		車両の位置追跡	○
		警備員派遣	○
		カーファインダー	○
		マイカー始動ロック	○
	リモートメンテナンスメール		○
	マイセッティング		○
	リモートエアコン		○
	レクサスオーナーズデスク（含むレクサス緊急サポート24）		○
	コネクティッドナビ（車載ナビ有）*2		○
	エージェント		○
オプションサービス	車内Wi-Fi		○

＊1. G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
＊2. G-Link無料期間終了後に、G-Link契約しない場合は非通信型ナビゲーションとして引き続きご利用いただけます。

いつでもクルマとつながるスマートフォンアプリ

G-Linkの各種サービスを利用するためのスマートフォンアプリをご用意しています。

My LEXUS





※スマートフォンの画面表示はイメージです。

アプリのご利用には「TOYOTAアカウント」が必要です。

My LEXUSのアプリをご利用いただくには、「TOYOTAアカウント」を取得いただき、レクサスオーナーズカードIDと連携を行っていただく必要があります。

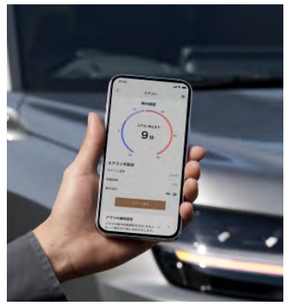
クルマとつながる快適機能

乗車前

My LEXUS（アプリ）

リモートエアコン

乗車前に、スマートフォンアプリ「My LEXUS」からエアコンを操作できます。夏の暑い時や冬の寒い時、アプリでエアコンを起動させ、あらかじめ車内を快適な室温にすることが可能です。1℃単位の温度設定やフロントデフロスター、リヤデフォッガーとの連動起動にも対応。より快適な車室空間とすることができます。



※ディーラーオプションのリモートスタートを装着している場合は、ご利用いただけません。
※通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。
※使用時には周囲の安全を十分にご確認の上ご使用ください。
※前回降車時から、最大20分間作動できます（パワースイッチの操作により、再度20分間作動させることができます）。
※一般公道上や閉め切った場所での使用はおやめください。
※起動後、一定の時間が経つと自動的に停止します。
※車両停止中にエンジンをみだりに稼働させた場合、条例により、罰則を受けることがありますのでご注意ください。（ご購入の際は地方自治体の条例などをご確認ください。）

乗車中

My LEXUS（アプリ）

マイセッティング

登録した電子キーやスマートフォンなどでドライバーを認識し、ドライバーごとのマルチメディア設定や車両設定を記憶しておくことができます。次回乗車時に同じ設定で利用できます。また、他の対応車両に乗り込んだ際も、いつもの環境を設定し、ドライバーをおもてなしします。

※「My LEXUS（アプリ）」で初期設定が必要です。
※スマートフォンによるドライバー認識は、前回クルマに乗車したドライバーのスマートフォンが接続された時のみ自動で認識します。

乗車中

車内Wi-Fi

車内でWi-Fi®によるデータ通信を利用することができます。DCMがWi-Fiスポットとなり、お客さまやご家族、ご友人のスマートフォンやタブレットを接続することでデータ通信やインターネット接続を容量無制限で楽しむことができます。車内Wi-Fiは月額利用料がかかる有料オプションサービスです。



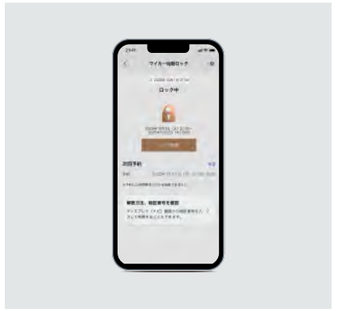
※Wi-Fi接続機器は5台まで同時接続可能です。
※直近3日間（当日は含みません）で6GB以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
※車内Wi-FiとApple CarPlayのワイヤレス接続は同時利用できません。車内Wi-Fiご使用時は、ケーブル接続にてご利用ください。

降車後

My LEXUS（アプリ）

マイカー始動ロック

スマートフォンアプリ「My LEXUS」で操作やスケジュール設定を行うことにより、離れた場所からクルマの始動をできなくすることができます。車両盗難が多い夜間など、クルマを使わない時間帯にご利用いただくことにより、盗難防止に役立てることができます。



※ご利用時にアプリ上で数字6桁の暗証番号を設定いただきます。通信圏外エリアや通信状態が悪い場合など、万が一アプリからロック解除できない場合は、暗証番号をナビ画面に入力することでロック解除できます。
※マイカー始動ロックは車両の始動を禁止することで車両盗難を抑制するものであり、車両盗難を完全に防止するものではありません。

鮮度ある情報でドライブをアシストするナビゲーション

コネクティッドナビ（車載ナビ有）

G-Link契約でご利用いただけるセンター通信型のナビ機能です。

	対応マルチメディア	必要な契約	車載ナビ	特徴	G-Link解約後
コネクティッドナビ（車載ナビ有） 	ディスプレイ オーディオ （コネクティッドナビ対応）Plus	G-Link	あり	・車載機にナビデータを保持する、G-Linkセンター通信型ナビ ・最新の目的地情報と地図データを利用可能*1 ・先進安全システム等との車両連携*2	車載ナビ機能を利用可

従来のナビゲーションよりもリアルタイムな情報提供を可能にしました。例えば飲食店検索では、口コミ点数や営業時間を検索結果の一覧に表示します。また、駐車場検索では、料金や空き状況を地図上に表示するなど、目的地の選択に役立つ幅広い情報を提供します。

【サービス】
駐車場検索

【表示コンテンツ】
・ブランドアイコン
・満空情報
・料金情報



【サービス】
グルメ検索

【表示コンテンツ】
・レーティング（口コミ）
・営業時間



＊1. 通信圏外エリアや通信障害時等、通信環境によって車載ナビを使ったナビ機能を使用します。
＊2. NAVI・AI-AVSの連携機能があります（車種により対応機能は異なります）。

ドライブ時間を心地良くする細やかなおもてなし

エージェント（音声対話サービス）

最新エージェントは、一切のスイッチ操作なく「Hey Lexus」とクルマに話しかけるだけで起動。スマートセンターのコンテンツを利用して目的地検索やニュース、天気予報などの情報提供、ナビゲーションやオーディオ操作にも対応しています。

※ステアリングのトークスイッチを押して発話することでの起動も可能です。
※エージェント（音声対話サービス）については、こちらのURLよりご確認ください（https://lexus.jp/ltc/service/agent/）。

■起動ワードに対応

「Hey Lexus」など声でエージェントを起動。起動ワードは自由に設定できます。

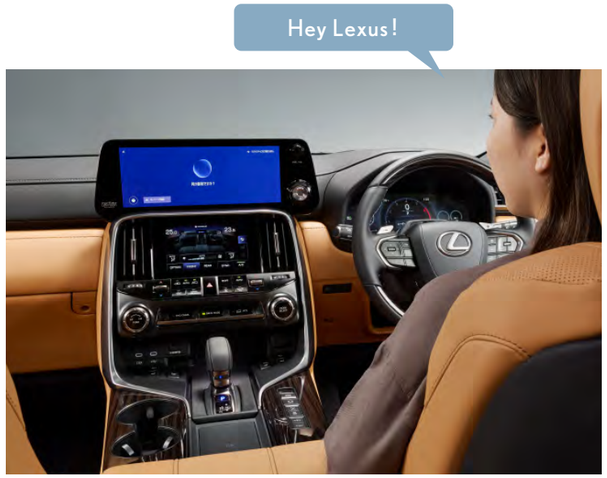
■ナビゲーションやオーディオ操作にも対応

「地図を拡大して」「FM〈周波数〉に合わせて」「温度をあげて」などの操作も可能です。

■「エージェント+」で先読み案内

ルート設定に関係なく日常の走行情報から先読みして役立つ情報を提供します。

※G-Link契約が必要です。



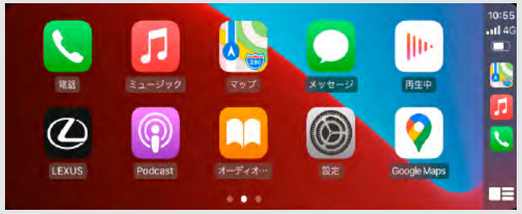


オーディオ＆ビジュアル機能

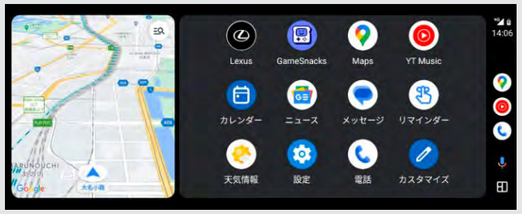
スマートフォンとタッチディスプレイを連携させるApple CarPlay 、Android Auto™に対応。音楽再生やハンズフリー通話、メッセージの送受信など、お気に入りのアプリケーションを車内でもスムーズにお使いいただけます。

◎Apple CarPlay / Android Auto™に対応＊　◎地上デジタルTVチューナーを標準装備　◎フロントセンターコンソールのUSB Type-Cに接続して、携帯音楽プレーヤーやUSBメモリー（MP3/WMA/AAC/WAV（LPCM）/FLAC/ALAC/OGG Vorbis）を再生　◎Bluetooth®AVプロファイル対応の携帯音楽プレーヤーをワイヤレス再生　◎Bluetooth®対応の携帯電話によるハンズフリー通話

＊ご利用にはUSBケーブルが別途必要です。Apple CarPlayのみ、USB接続に加え、Wi-Fi®によるワイヤレス接続に対応します。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊Apple CarPlayのワイヤレス接続と車内Wi-Fiとは併用できません。車内Wi-Fiをお使いの場合は、ケーブル接続にてご利用ください。
※Apple CarPlay/Android Auto™は、機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。詳細はWEBサイトをご確認ください。　※走行中は安全のため一部操作できない機能があります。　※TV放送は安全のため走行中は画像が消え、音声のみとなります。外部メディアの映像は、録画機器の種類によって再生できない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



Apple CarPlay 画面

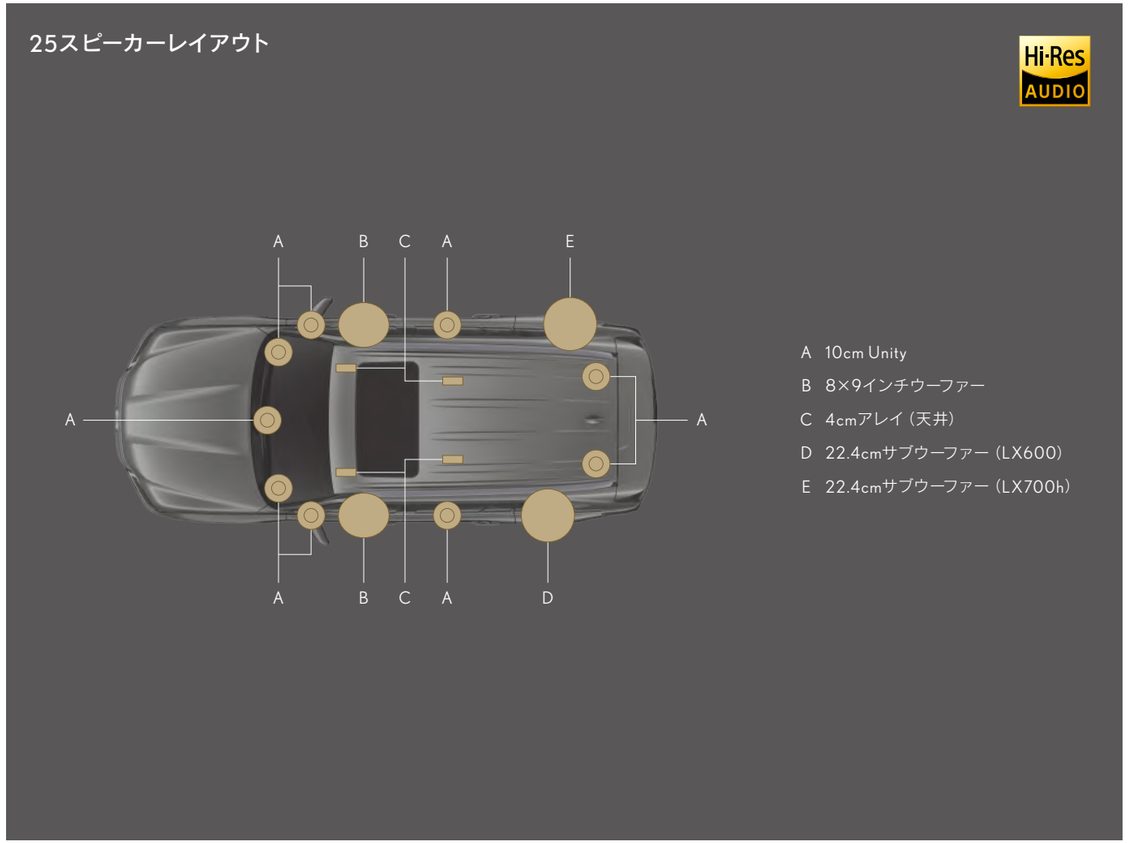


Android Auto™ 画面

フラッグシップSUVにふさわしい音質を実現したサウンドシステム

“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム

ハイエンドオーディオというジャンルを確立し、50年以上にわたり君臨し続けているマークレビンソン。そのオーディオを搭載するただ一つのプレミアムカーブランドがレクサスです。LXでは歪みのないピュアな音を実現するために、レクサス最多25 個のスピーカーを最適に配置しました。9つのUnityスピーカー（ツィーター＋ミッドレンジー体構造）の高さを合わせ、キャビンを囲むように配置することで、前後左右に広がるステージ感とクリアで統一された中高音域の再生を実現しています。さらに天井スピーカーを配し、Quantum Logic™ Immersion（QLI）サウンドテクノロジーにより立体的な3Dサウンドを生み出し、自然な包まれ感、正確なステージ感・定位・ダイナミクス再生を実現。コンサートホールに居るかのような感動のリスニング体験を提供します。またClari-Fi™（クラリファイ）圧縮音源復元テクノロジーにより、音楽ファイルの圧縮時に失われた低音・高音の補完、圧縮時に生じた歪みの除去を可能にし、自然なボーカルの質感やステレオ感までも復元します。ハイレゾ再生にも対応しています。



※日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にロゴを冠しています。
※トヨタ自動車（株）と複数の日本オーディオ協会会員企業による協業によりハイレゾ定義に準拠した製品となっております。一部スピーカーの変更/オーディオの変更をした際には、ハイレゾ音質をサポートしません。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

人間中心の考え方に基づいた先進安全技術

LEXUSはモビリティ社会の究極の願い「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、LXにもLexus Safety System +を採用しました。運転状況に応じて、適切な操作サポートを行うプロアクティブドライビングアシストや、ドライバーモニターとの連携によるドライバーの運転状況に応じた最適制御など、お客さまの安全・安心なドライブに一層貢献します。



幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［1］

プリクラッシュセーフティ

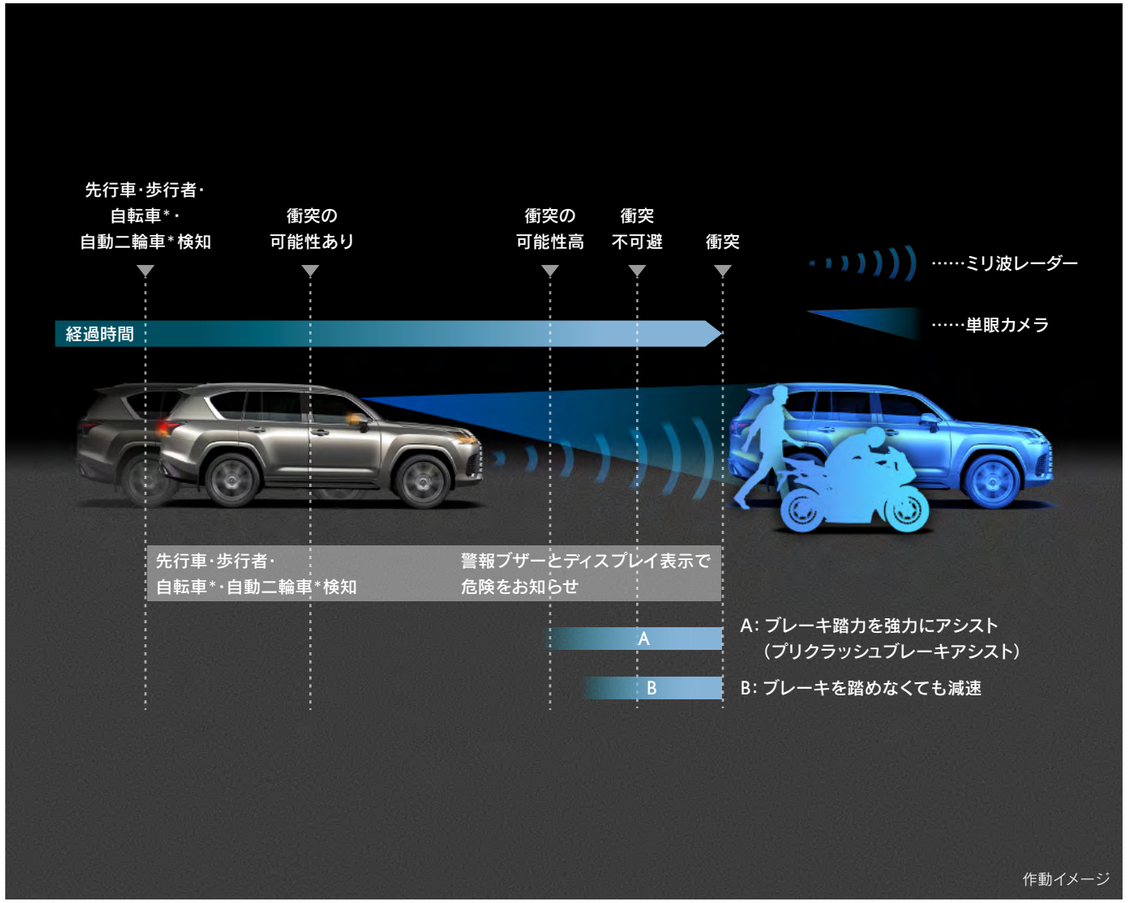
（歩行者〔昼夜〕・自転車*〔昼夜〕・自動二輪車*〔昼〕検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式）

進路上の車両、歩行者、自転車*、自動二輪車*をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ブザーとディスプレイで危険をお知らせ。ブレーキを踏めた場合はブレーキ踏力をアシスト、踏めなかった場合は自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。なお、対向車に対しては正面から衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。

※対向車に関しては、正面衝突、相手車逸脱による対向車との衝突に対応。プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h～180km/h、対歩行者、自転車*の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。また、本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車*の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。数値は社内測定値。



⚠Lexus Safety System ＋を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System ＋は予防安全パッケージです。
ご契約に際し、Lexus Safety System ＋、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。
- お客さまご自身で作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

※Lexus Safety System ＋の一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、レクサス販売店に入庫することなくつねに最新のソフトウェアに更新できます。　※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。　※お客さまの安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客さまの更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客さまが許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。　※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、lexus.jp 内の最新の取扱説明書で確認することができます。　※無線通信によるソフトウェアアップデートはG-Link契約が必要です。

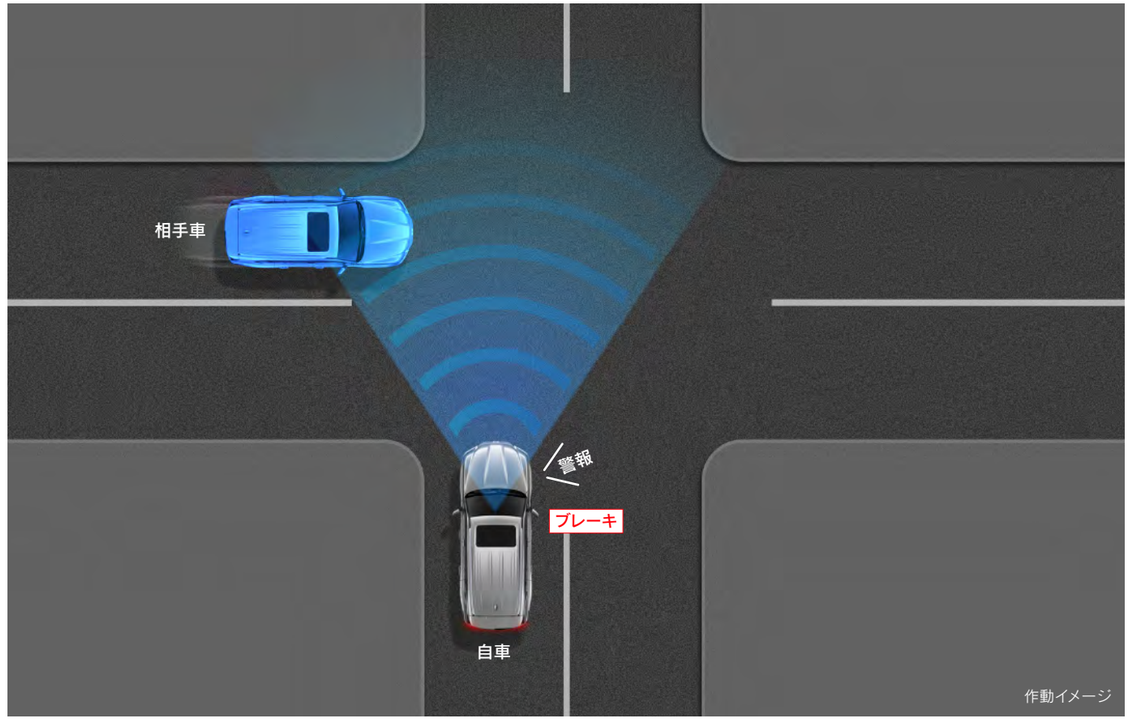
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［2］

＜交差点衝突回避支援（出合頭車両）＞

従来のプリクラッシュセーフティ の作動範囲に加え、交差点で交差する車両・自動二輪車*に対しても、衝突回避の支援を行います。衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

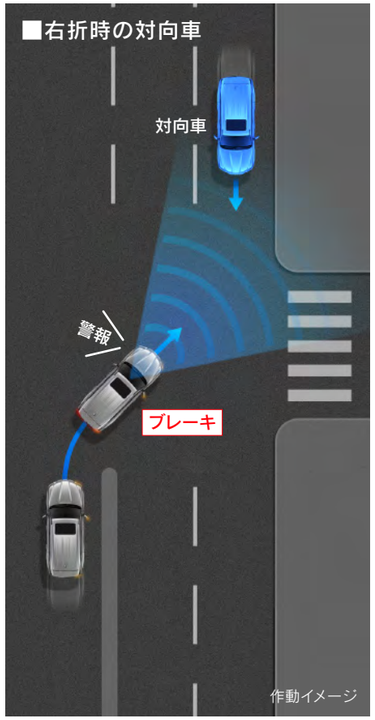
＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

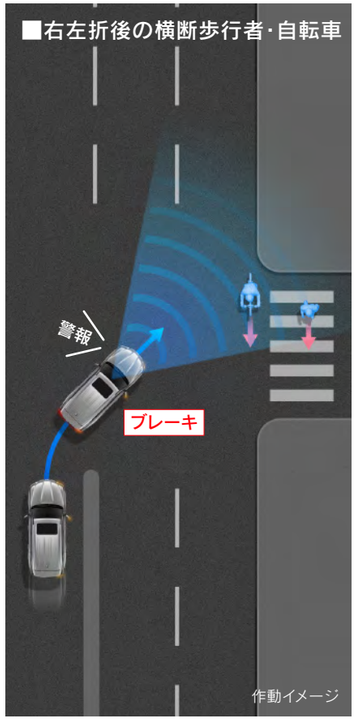


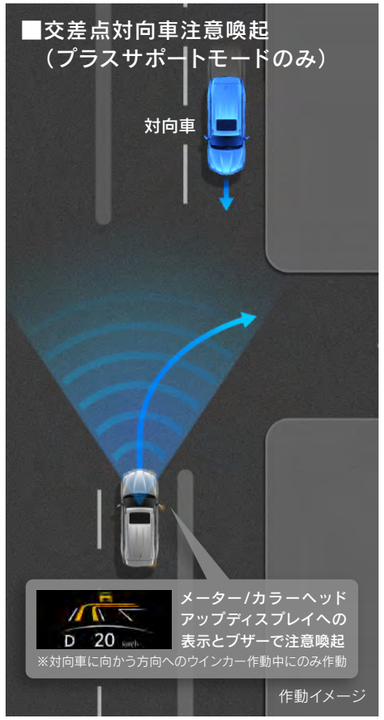
＜交差点衝突回避支援（右左折）＞

交差点右折時に直進してくる対向車（隣接2レーンまで）および右左折時に横断してくる歩行者・自転車*をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報およびブレーキを作動させることで、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、プラスサポートモード中の場合は、右折時の対向車に対してより早いタイミングで表示とブザーで接近を伝えます（交差点対向車注意喚起）。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。　※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。







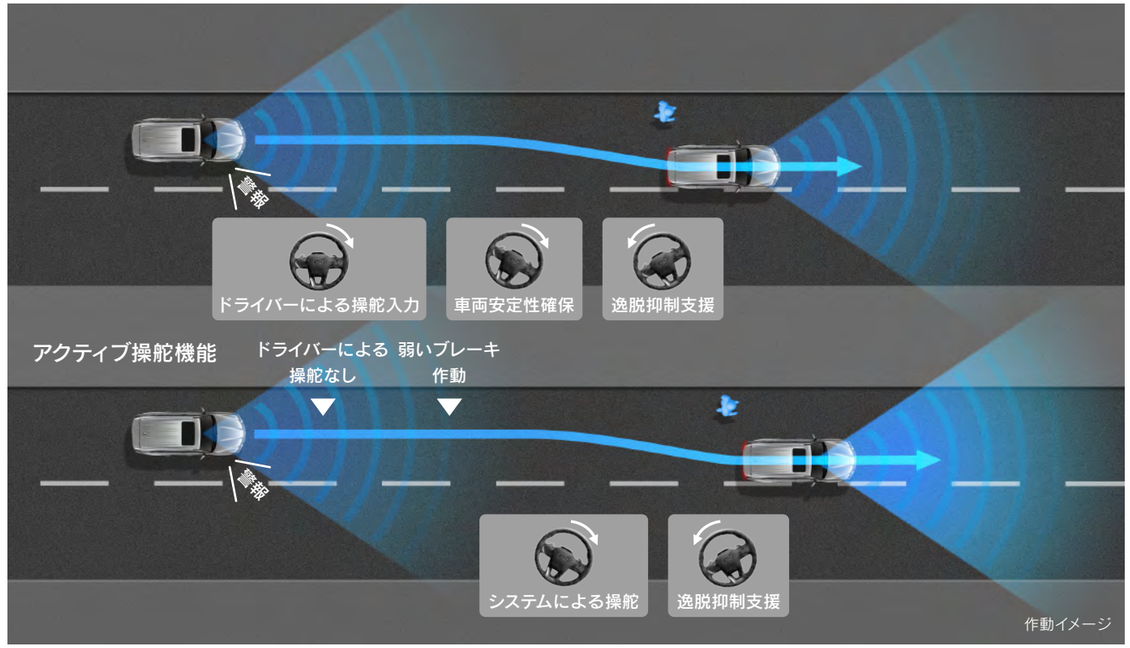
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［3］

＜緊急時操舵支援＞

歩行者、自転車*、自動二輪車*、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。また、ドライバーによる操舵がなくてもシステムが弱いブレーキをかけながら操舵を行い、車線内での衝突回避を支援するアクティブ操舵機能を設定しています。

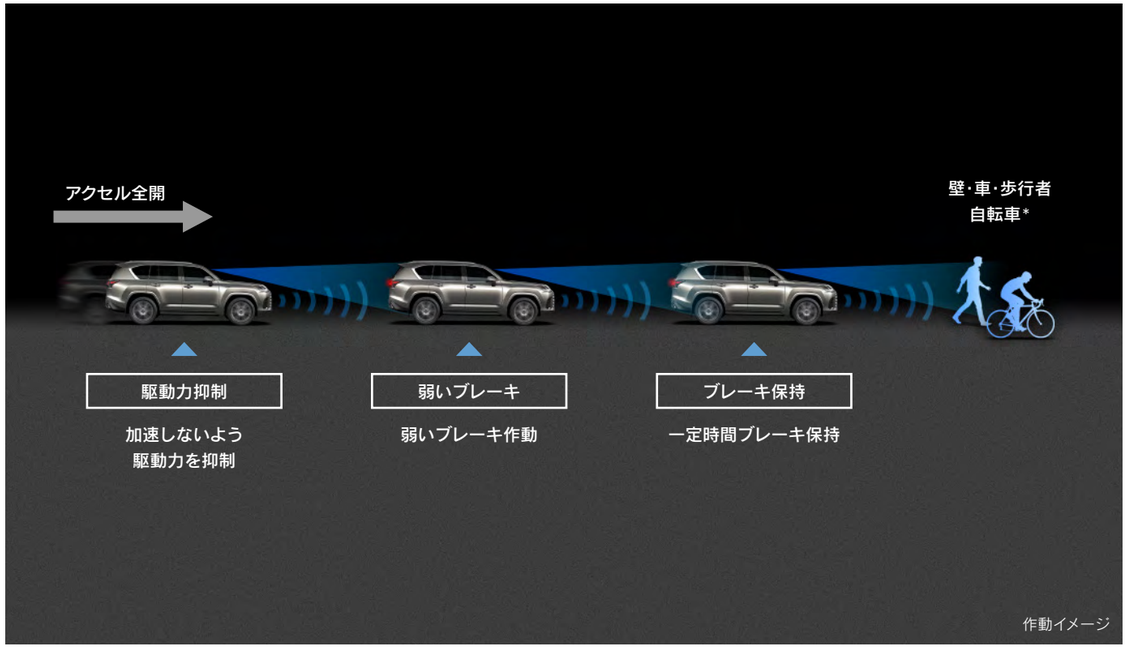
＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。
※横断歩行者など一定以上の横速度を持った対象には作動しない場合があります。



＜低速時加速抑制＞

低速時の自車の直前にある壁、歩行者、自転車*、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、衝突が回避され、かつ車両が停止した場合、ドライバーがアクセルまたはブレーキ操作をするまでブレーキ力を保持します。

＊人が乗車している状態を作動対象としています。
※パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）［PKSB］の代替機能となるシステムではありません。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

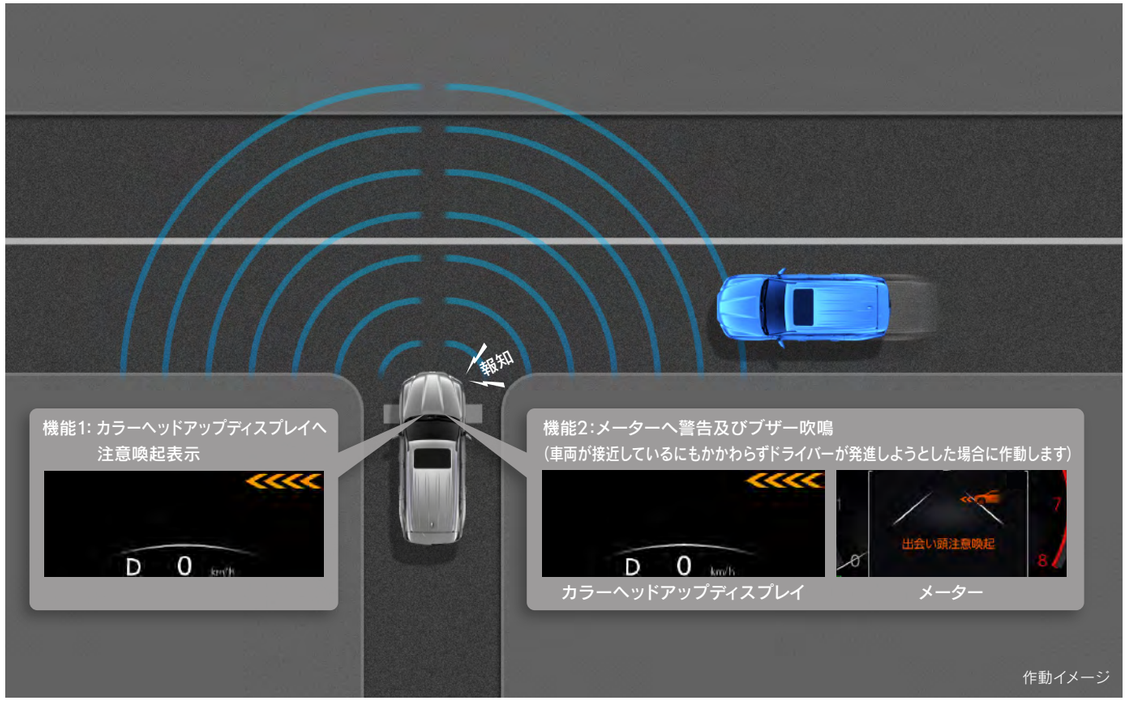
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［4］

＜フロントクロストラフィックアラート［FCTA］＞

交差点に進入する際など、左右から接近する車両を検知すると、カラーヘッドアップディスプレイで車両が近づいてくる方向をアニメーションで表示し、ドライバーが気づきやすい注意喚起を行います。車両が接近しているにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合は、表示とブザー音で、さらに注意を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※フロントクロストラフィックアラート［FCTA］はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。

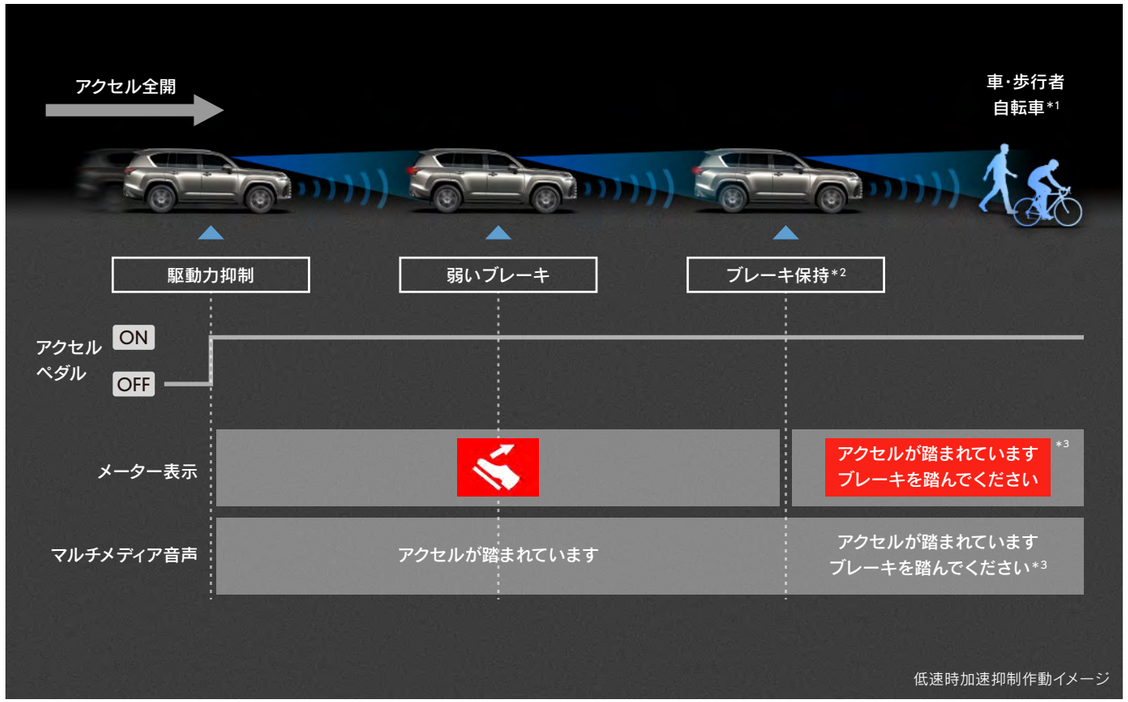


※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

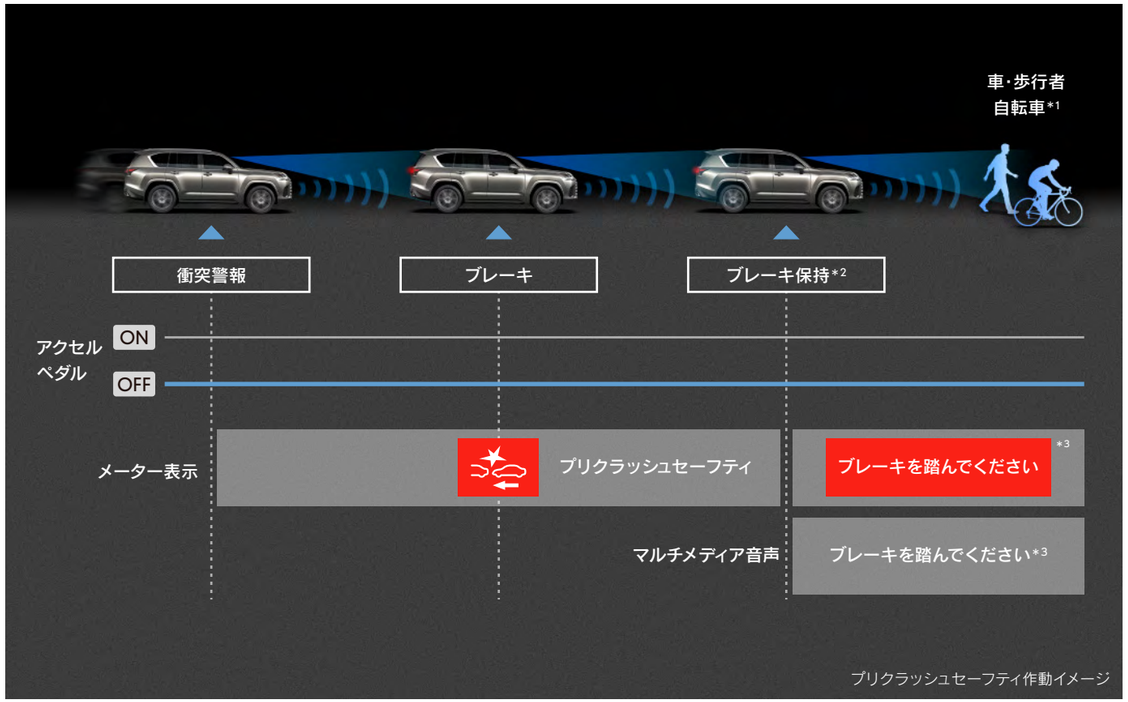
幅広いシーンに対応するプリクラッシュセーフティ［5］

＜音声発話（プラスサポートモードのみ）＞

下記のシーンにおいて、メーター表示と音声発話を行いドライバーへ通知します。



低速時加速抑制作動イメージ



プリクラッシュセーフティ作動イメージ

＊1. 人が乗車している状態を作動対象としています。
＊2. 衝突前に車両が停止した場合のみ作動。
＊3. プリクラッシュセーフティの作動状況によって上記の通りにならない場合があります。

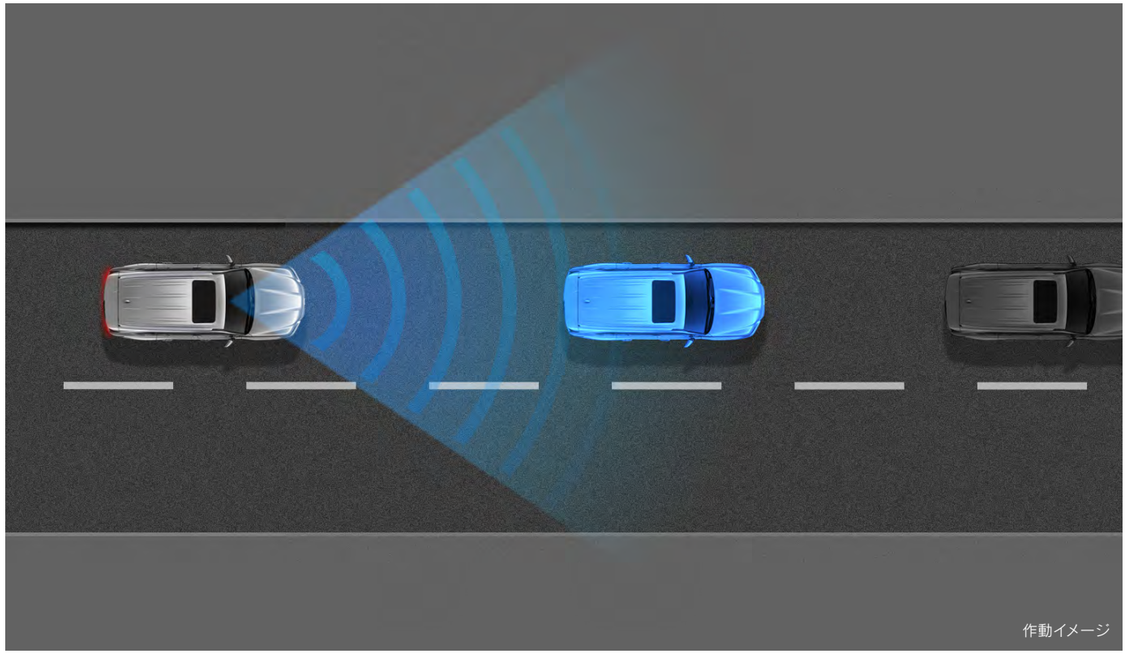
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートするレーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、設定した車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。また、ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより前方認識範囲を拡大。先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに対し、すぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上でウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速、または、車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施。スムーズな追い越しや車線変更が行えるようにしました。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると、早期に速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。また、レーダークルーズコントロール作動中に、音声対話サービスを使用して、設定車速と車間設定を変更できます。なお、制御の開始、車間制御モードと定速制御モードの切り替えを、シンプルなスイッチ操作で行うことができ、すぐれた使用性も追求しています。

※車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。
※設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。


作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [1]

レーンディパーチャーアラート[LDA]

車線逸脱の可能性をドライバーにお知らせします。システムのON/OFFは、タッチディスプレイにて行うことができます。

＜車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能＞

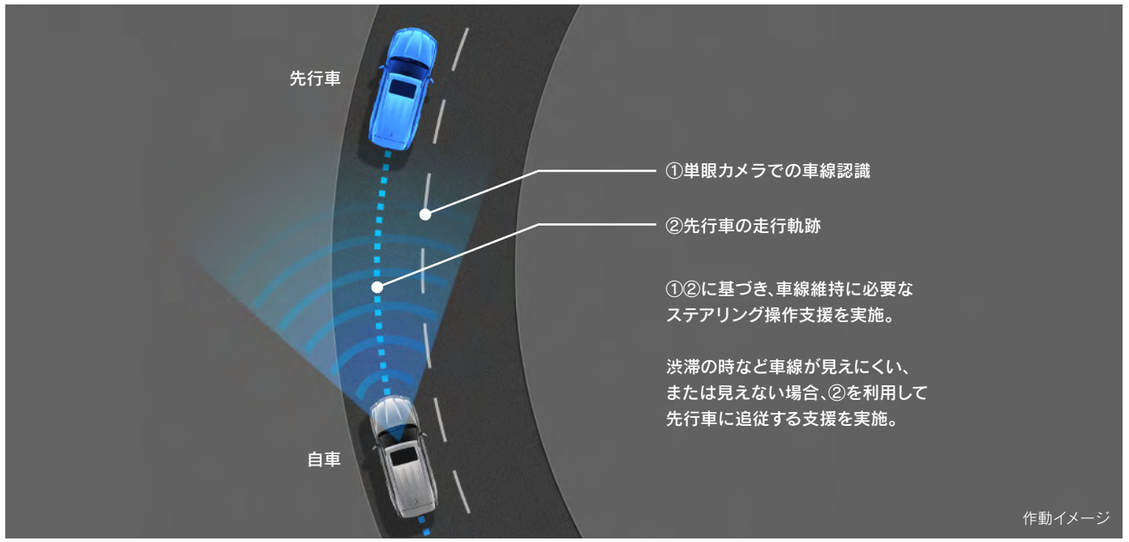
車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、メーターへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。また、ブラインドスポットモニター[BSM]と連携して方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報/抑制機能が作動し、音声でお知らせします。さらに、歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は車線逸脱警報/抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。車線だけでなくアスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。

レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時、車線維持に必要なステアリング操作支援を行います。なお、システムのON/OFFは、ステアリングホイール上に設置されたメインスイッチで行うことができます。

＜車線維持支援機能＞

緩やかなカーブで操舵を支援し、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。車線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を走路中央からオフセットする制御を採用。隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、一般的なドライバーの運転と同様に、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。

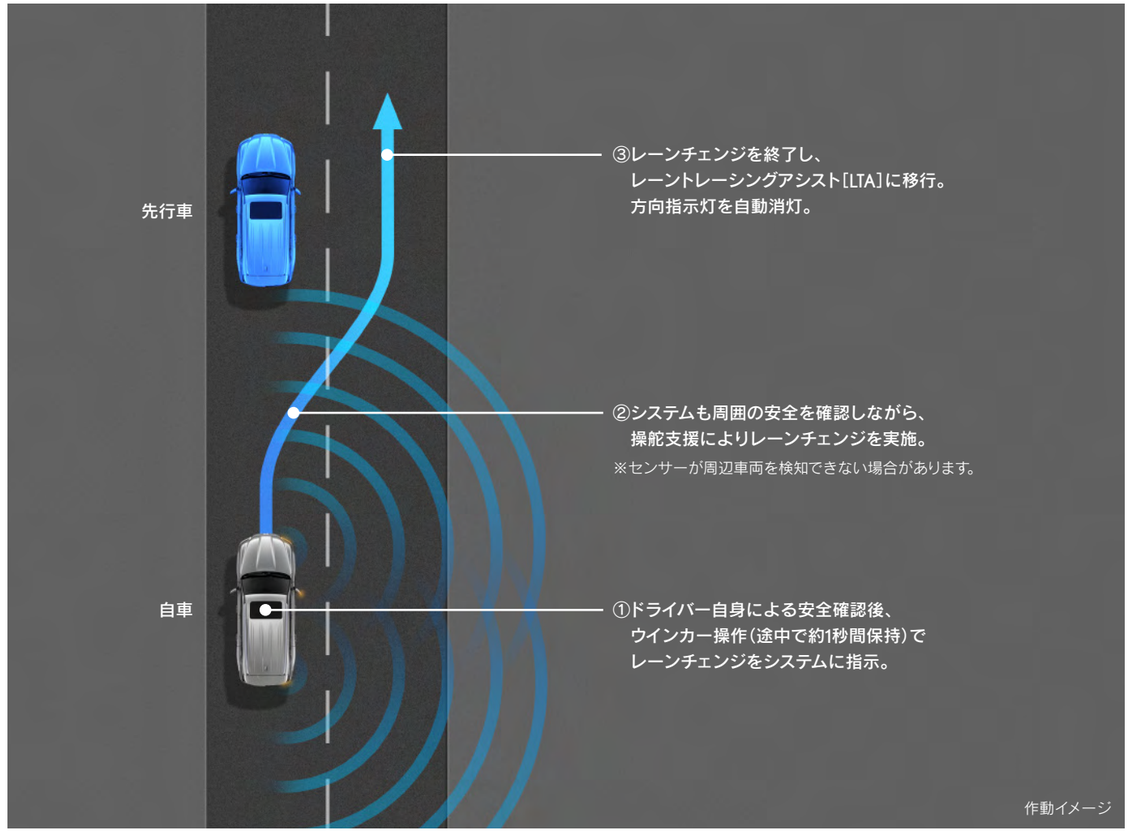


※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

快適なクルージングをサポートしてくれるLDA / LTA / LCA [2]

レーンチェンジアシスト[LCA]

高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行中、車線維持支援機能が作動中にレーンチェンジのための操舵、加減速、車線変更先車両監視の支援を行います。ドライバーのウインカー操作が支援開始の合図となり、レーンチェンジの操舵支援を行います。



※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。 ※レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が停止します。 ※例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しないおそれがあります。 ●車線または走路の認識が困難なシーン（悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など） ●タイヤに変化がある時（応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など） ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時（ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など） など ※レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]は約70km/h～130km/hで作動します。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]はナビゲーションにて自動車専用道路と認識していない場合には作動しません。 ※作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。 ●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ※レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。 ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず、レーンチェンジアシスト[LCA]が作動しません。 ●ステアリング手放し警告をしている場合 ●レーンチェンジアシスト[LCA]が作動できない条件下で、一定時間ウインカーの使用を継続した時 など ※例えば次のような条件下では、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しない場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●周辺車両が大型車（トラック、バス、トレーラーなど）、二輪車などの場合 ●速度差が大きい追い越し、追い越され時 など ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンチェンジ中であってもレーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●ステアリング手放し警告をしている場合 など

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

道路標識の見落としを減らすロードサインアシスト

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止」の道路標識を、メーターに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［1］

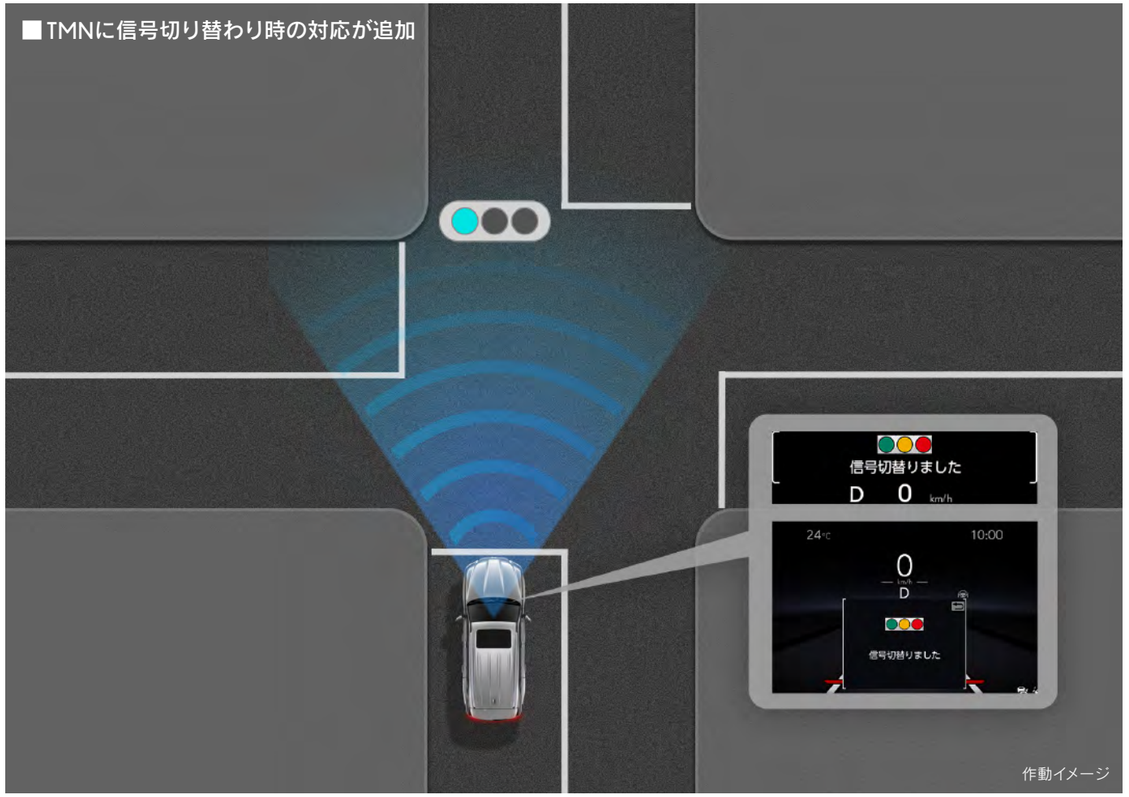
発進遅れ告知機能［TMN］

信号の表示や先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点先頭で停止時に信号の停止表示が解除されても自車が停止し続けた場合、または、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、メーター表示、およびブザーなどでお知らせします。

※右折矢印信号も検知可能です。

※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。

※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

うっかりにも夜道にも万一にも備える、幅広いサポート［2］

ブレードスキャン®アダプティブハイビームシステム［AHS］

夜間の視認性を飛躍的に高めるブレードスキャン®AHS。高速回転するブレードミラーにLEDの光を反射させ、その残像効果によって滑らかに前方を照らします。また、ブレードミラーの回転に合わせてLEDの点灯・消灯を制御することで、照射エリアと遮光エリアをきめ細かく調整。遠方の歩行者や路肩、標識などをより早く認知できる配光を実現します。さらに、先行車や対向車に直接ハイビームを当てないように部分的に遮光するなど、夜間走行時のストレスを軽減し、安全運転に寄与します。

※自車速度約15km/h以上で作動します。
※本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト［LTA］制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザード・ホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

＊ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。
※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路（一部を除く）を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

ドライバーの状態を検知して注意喚起を行うドライバーモニター

ドライバーモニター

ドライバーの不適切な運転状態（脇見、居眠り等）が要因の事故を低減するために、ドライバーの状態を確認し、不適切な状態であると推定された場合、素早く注意喚起を行います。顔向き検知、開閉眼検知に加え、視線を検知することにより、顔向きだけでは検知できない脇見シーン（例えば、正面を向いて視線を落として携帯を見るようなシーン）も検知することができます。





メーターディスプレイの警告表示

＜脇見等を検知した場合＞

システムが脇見や閉眼状態であると判断した場合、メーター表示やブザー音で注意喚起。


脇見　閉眼

＜ドライバーモニター連携が加わった機能＞

- プリクラッシュセーフティ
- レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）
- レーンディパーチャーアラート［LDA］
- ドライバー異常時対応システム

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

留意事項：ドライバーモニターが正常に作動しないおそれがある状況

次のような状況のとき、ドライバーモニターカメラは運転者の顔を検知できず、機能が正常に作動しないおそれがあります。

- 炎天下での駐車後など、車内が高温のとき
- 強い光（太陽光や後続車のヘッドランプ光など）がドライバーモニターカメラにあたっているとき
- 周囲の構造物の影響などで、車内の明るさがひんぱんに変化しているとき
- 強い光（太陽光や対向車のヘッドランプ光など）が運転者の顔にあたっているとき
- 眼鏡・サングラスのレンズに光が映り込んでいるとき
- 助手席や後席の乗員が身を乗り出すなど、ドライバーモニターカメラの検知範囲に複数の顔があるとき
- 前に身を乗り出したり、窓から顔を出したりするなど、顔がドライバーモニターカメラの検知範囲から外れているとき
- ステアリングやステアリングを握る手・腕などでドライバーモニターカメラが隠れたとき
- 帽子を深く被っているとき
- 眼帯を着用しているとき
- 眼鏡をかけているとき
- 赤外線を通しにくいサングラスをかけているとき
- コンタクトレンズをつけているとき
- マスクを着用しているとき
- 笑ったり、眼を細めたりしているとき
- 眼・鼻・口や、顔の輪郭が隠れているとき
- 眼・鼻・口・顔の輪郭が判定できなくなるような化粧をしているとき
- 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき
- 車内に近赤外線光源を搭載した機器（市販のドライバーモニタリングシステムなど）があるとき

⚠警告

安全にお使いいただくために

- ドライバーモニターは運転者の不注意行動や姿勢崩れを未然に防ぐものではありません。
  つねに周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- ドライバーモニターは運転者の眠気を解消するものではありません。
  集中力の低下や眠気を感じたら、適度に休憩や仮眠を取り、安全運転に努めてください。

運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［1］

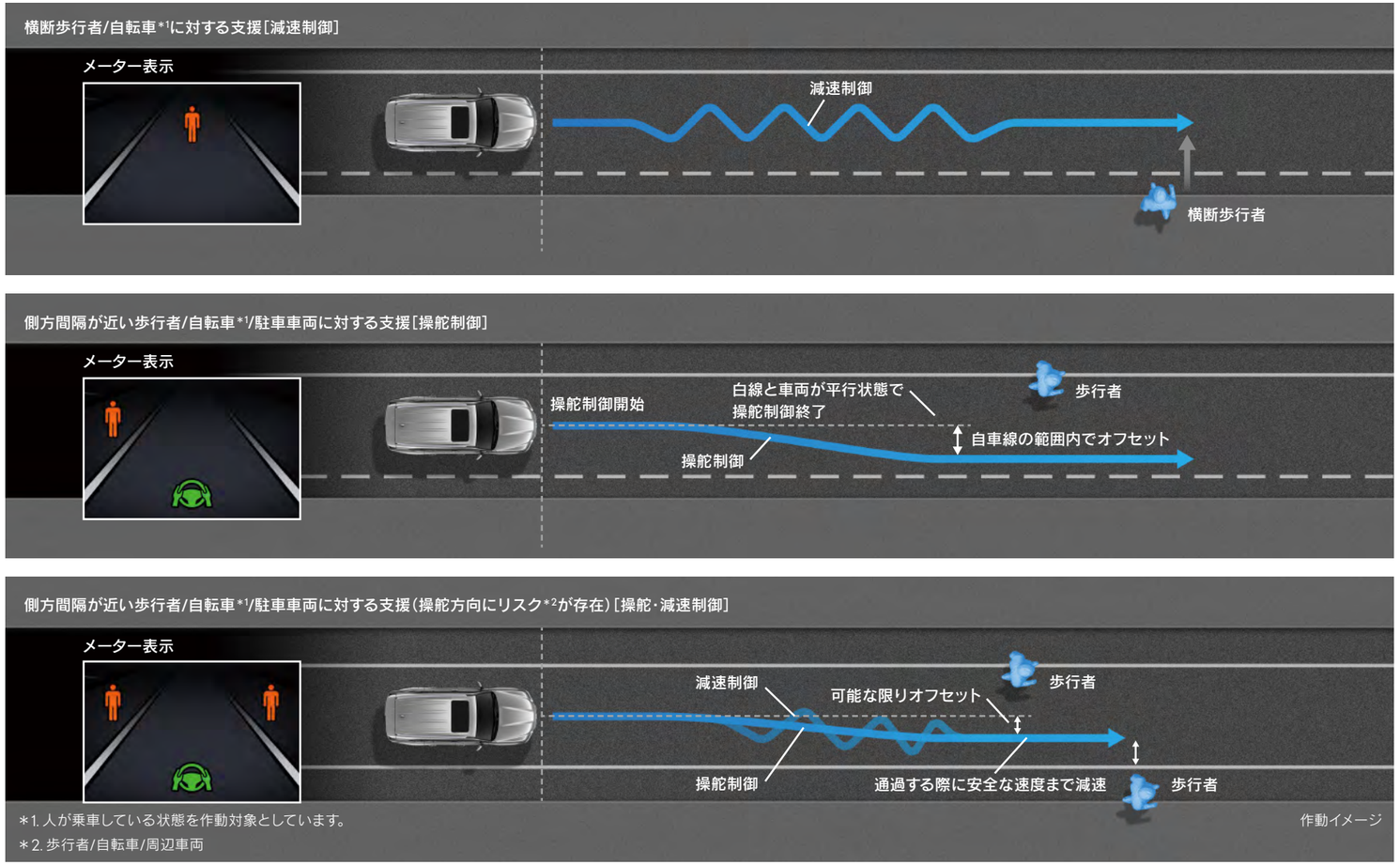
プロアクティブドライビングアシスト［PDA］

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添い優しくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

1. 歩行者/自転車*1/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

※本支援は自車速が約30km/h～約60km/hのときに作動します。



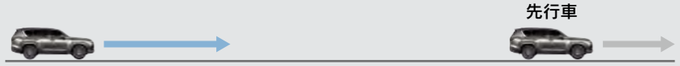
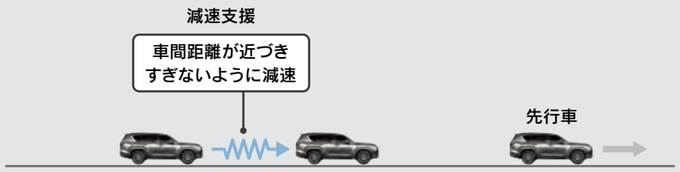
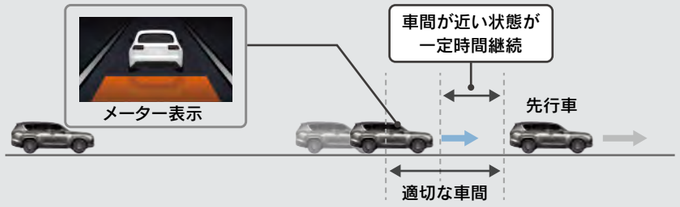
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［2］

2. 先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

※約15km/hまで減速すると、システムによるブレーキアシストは停止します。

車間が近づく時	1	先行車の有無にかかわらず、ドライバー自身のアクセル操作によって加速・追従	
	2	先行車との車間が詰まった際に、ドライバーがアクセルOFF	
	3	＜減速支援なしの場合＞ 通常のエンジンブレーキで減速し、車間距離が詰まる	
		＜減速支援作動時＞ 車間距離が近づきすぎないように減速支援	
車間が近い時	1	車間が近い状態が一定時間継続した場合、ディスプレイに表示する	

作動イメージ

3. カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。





※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

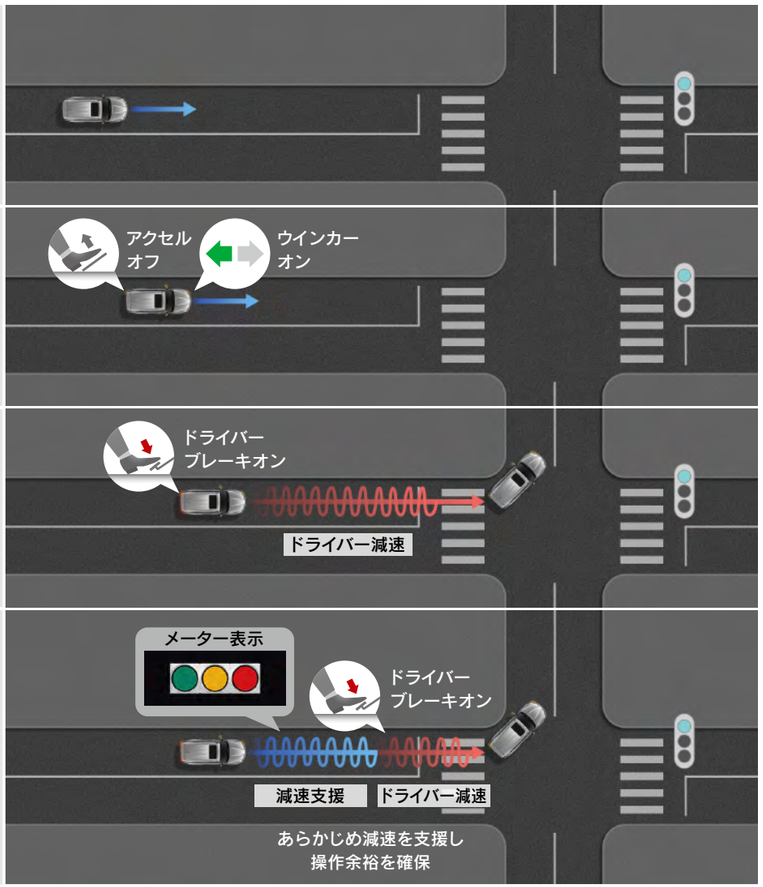
運転をさりげなく支援するプロアクティブドライビングアシスト［3］

4. 信号交差点に対する右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFFとウインカー操作に応じて、緩やかに減速します。

※本支援は自車速が約30km/h～約80km/hのときに作動します。

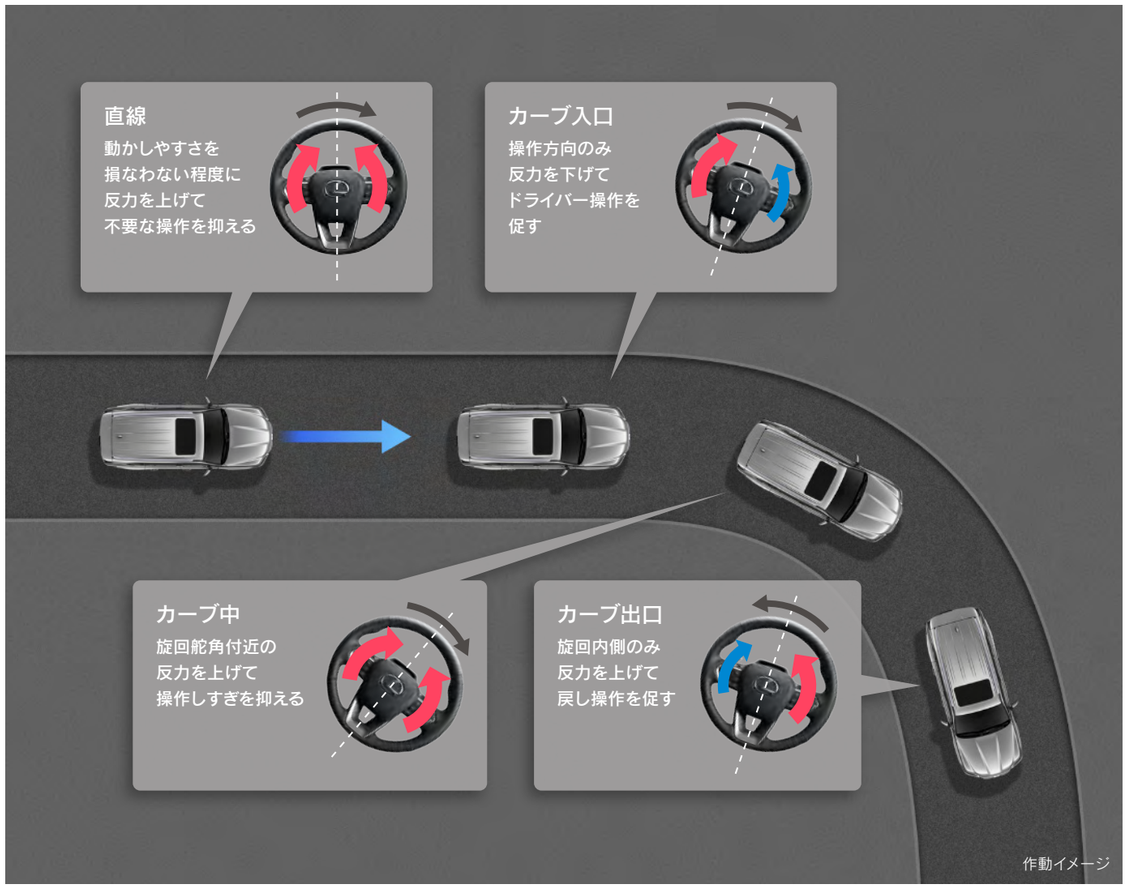
1	ドライバー自身のアクセル操作によって交差点に接近	
2	交差点に近づいたときにドライバーがアクセルオフ、ウインカー操作	
3	＜減速支援なしの場合＞ 減速支援なし ドライバーのブレーキ操作で交差点に対して減速	
	＜減速支援作動時＞ あらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕を確保	



作動イメージ

5. 車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリング反力を変化させることで、不要な操作を抑えたり、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。また、反力変化のみでステアリングを自動で回すことはありません。



作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

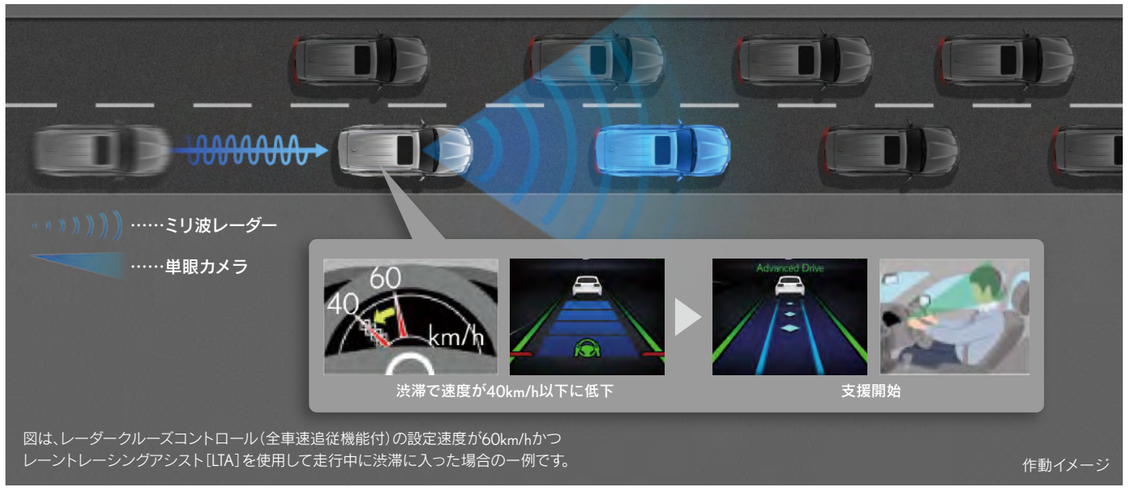
システムが認知・判断・操作を支援するLexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）

Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）

一部の高速道路・自動車専用道路をレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）、およびレーントレーシングアシスト［LTA］を作動させての運転中、渋滞（0-40km/h）になるとドライバーが周囲の監視をしているなど一定の条件を満たしていると、システムが認知・判断・操作を支援します。

・支援開始

Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）は、渋滞を検知するとマルチインフォメーションディスプレイ表示によるお知らせの後、自動的に支援を開始します。渋滞を検知し、ドライバーが周囲を監視している状態で自車速度が約40km/h以下になるとマルチインフォメーションディスプレイに“Advanced Drive”と表示し、車線維持・加減速・停車・発進を支援します。

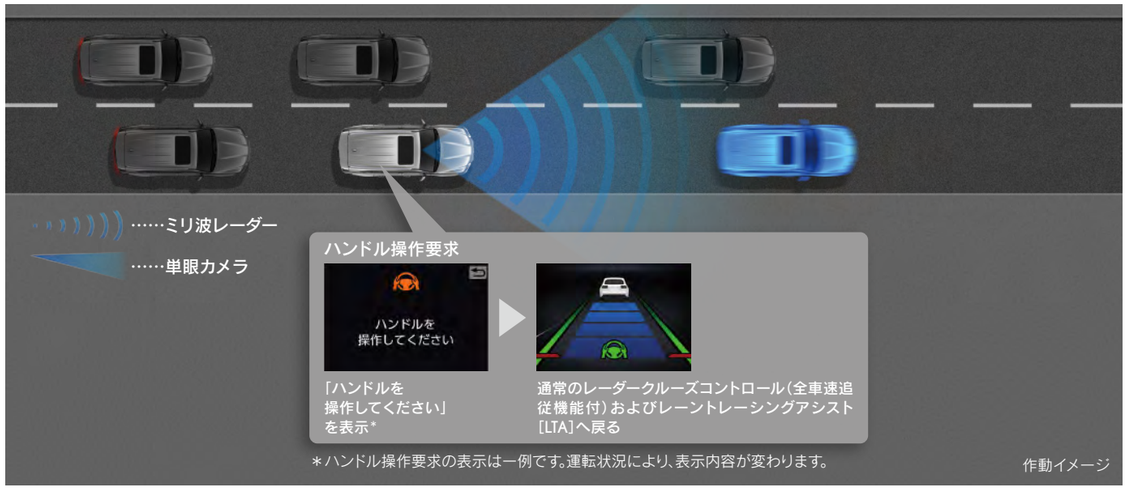


図は、レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）の設定速度が60km/hかつレーントレーシングアシスト［LTA］を使用して走行中に渋滞に入った場合の一例です。

作動イメージ

・支援終了

渋滞が解消し、Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）終了時は、ドライバーにハンドル操作を促すために、マルチインフォメーションディスプレイの表示とブザーで通知し、支援を終了します。



＊ハンドル操作要求の表示は一例です。運転状況により、表示内容が変わります。

作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

⚠ 警告: Lexus Teammate Advanced Drive（渋滞時支援）を安全にお使いいただくために

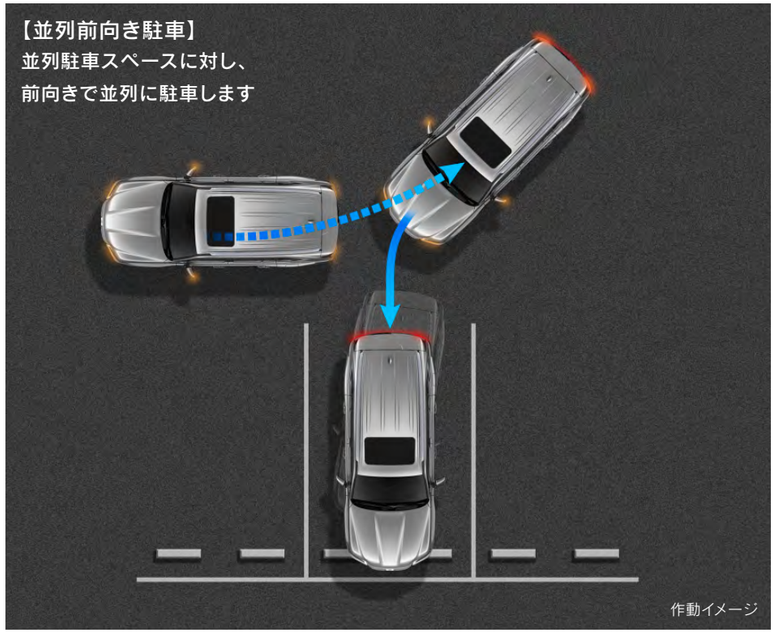
・システムの作動中は、ドライバーモニター監視のもと、手を離して運転することができますが、自動で運転するシステムではありません。システムを過信せずつねに周囲の状況を把握し、必ず安全確認をしながら運転してください。
・周囲の状況・道路の状態・ドライバーの状態によっては作動しないことがあります。
・状況に応じてディスプレイ表示でハンドルの操作を促すことがあります。その際はただちにドライバー自身でハンドル・ブレーキ・アクセルの操作を行い、安全を確保してください。
・認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であってもドライバー自身の操作で安全を確保する必要があります。例えば、自車の前方に割り込み、工事区間、落下物等のシーンでは、必要に応じて自らハンドル・ブレーキ・アクセルを操作してください。
・正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
・本システムは地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
・システム作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。つねに視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください（ヘッドランプ/ワイパー/フロントデフロスタ・リヤウインドウデフォッガー・ドアミラーヒーター）。
・例えば次のようなシーンでは自動車専用道路上でも本システムは作動しません（中央分離帯がポール等で区切られている暫定供用区間、サービスエリア、料金所、路線新設された道路等）。
・例えば次のようなものの検出には限界があります。必要に応じて自らハンドル・アクセル・ブレーキを操作してください（自車の前方に割り込みがあったとき、他車が接近してきたとき、工事区間、落下物等）。
・衝突等の事故発生時にドライバーモニターカメラによる映像を記録することがあります。
・本システムは地図情報をもとに作動します。ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、G-Link・コネクティッドナビの契約切れであっても地図情報を利用できるため、本システムの継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
・公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
・詳しくはレクサス販売店におたずねください。

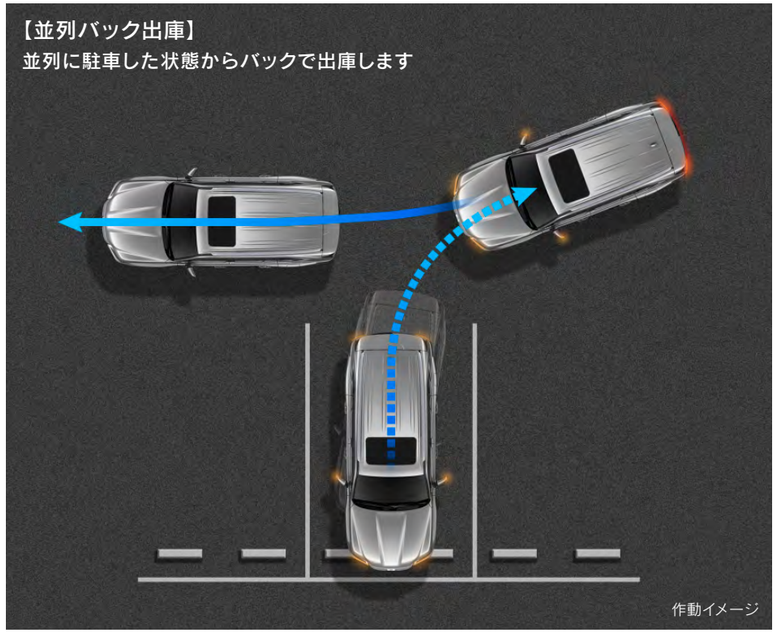
さまざまな駐車シーンに対応するLexus Teammate Advanced Park

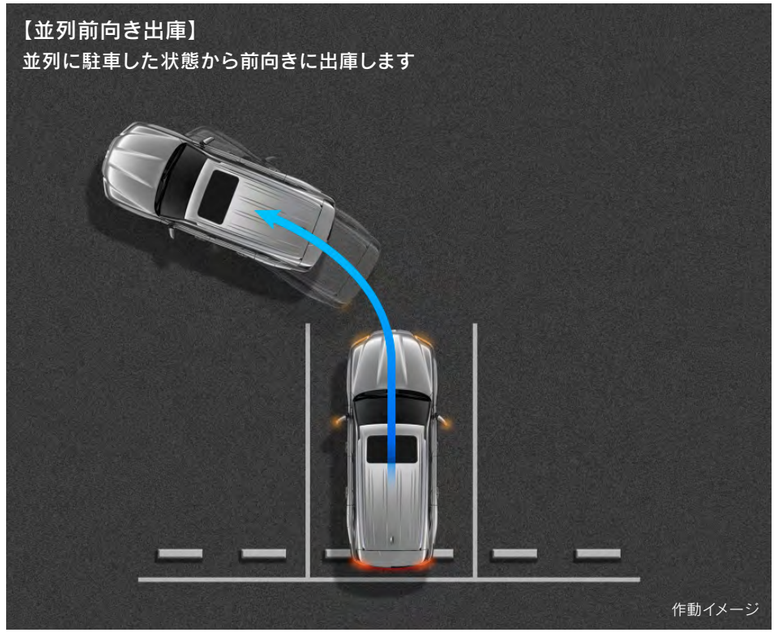
Lexus Teammate Advanced Park LX700h 全車

支援シーンを拡大し、並列駐車シーンにおいて前向き駐車/バック出庫/前向き出庫が新たに可能になりました。カメラと超音波センサーを融合し全周囲を監視することで、適切に認知、判断、操作を支援。ステアリング・シフト・アクセル・ブレーキの全操作を車両が支援するとともに、俯瞰映像に車両周辺の死角や目標駐車位置などをつねに表示し、スムーズな駐車を実現しました。駐車したいスペースの横に停車後、メインスイッチを押して車両周辺と駐車スペース*を確認し、ディスプレイ画面上の開始スイッチを押すとスムーズに駐車を開始します。障害物の位置をディスプレイのカメラ映像上に表示することで、ドライバーに周辺状況をわかりやすく伝えます。障害物に接触する可能性がある場合は、警告するとともにブレーキ制御で接触回避を支援します。

■ 並列バック駐車、縦列駐車・出庫、区画線のない駐車（メモリ機能）に加えて、下記の支援シーンに対応







＊駐車スペースが複数ある場合は変更できます。
※Lexus Teammate Advanced Parkはあくまで運転を支援する機能です。Lexus Teammate Advanced Parkを過信せず、必ずドライバーが責任を持って周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
※Lexus Teammate Advanced Parkは駐車環境や周辺状況によっては使用できない場合があります。
※字光式ナンバープレートは装着できません。

＝標準装備
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

周辺監視システムの拡充

安心降車アシスト[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合、ドアミラー内のインジケーター点滅、ブザー、音声通知、メーター表示で乗員へ告知します。

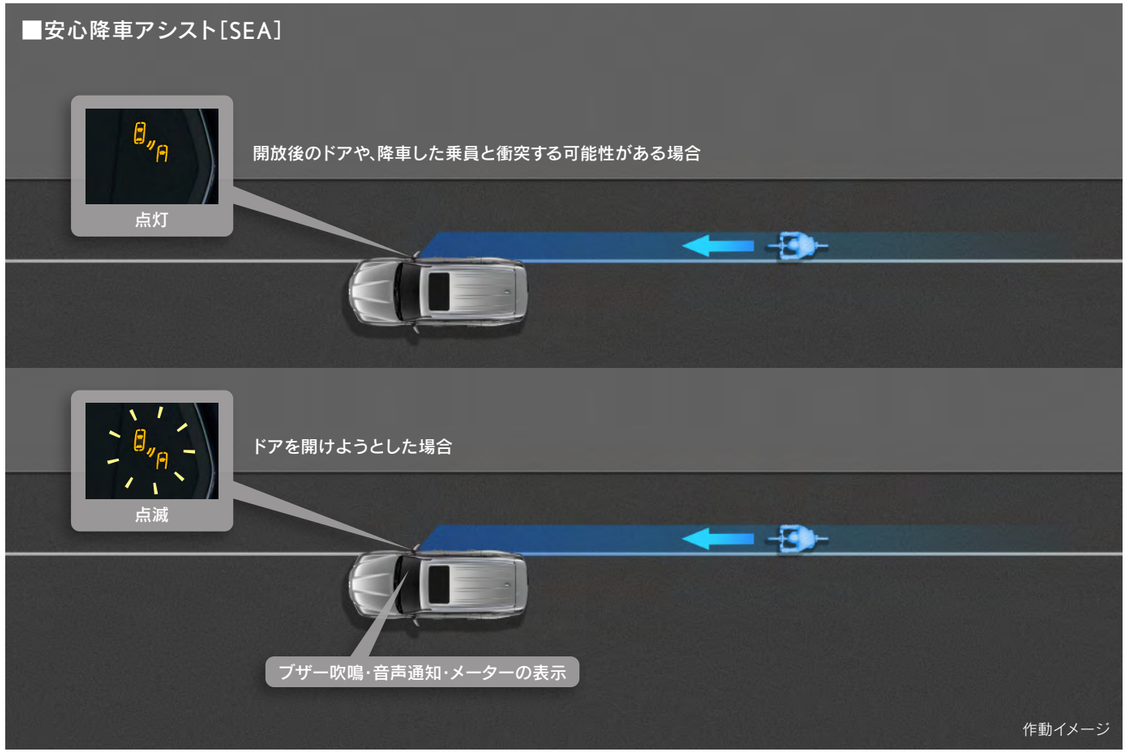
※検知対象の目安となる大きさは、小型の二輪車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケーターが点灯する場合があります。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※安心降車アシスト[SEA]、ブラインドスポットモニター[BSM]はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ブラインドスポットモニター[BSM]

ブラインドスポットモニター[BSM]は、走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約70m後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅するとともにブザーが吹鳴し、より注意を喚起します。

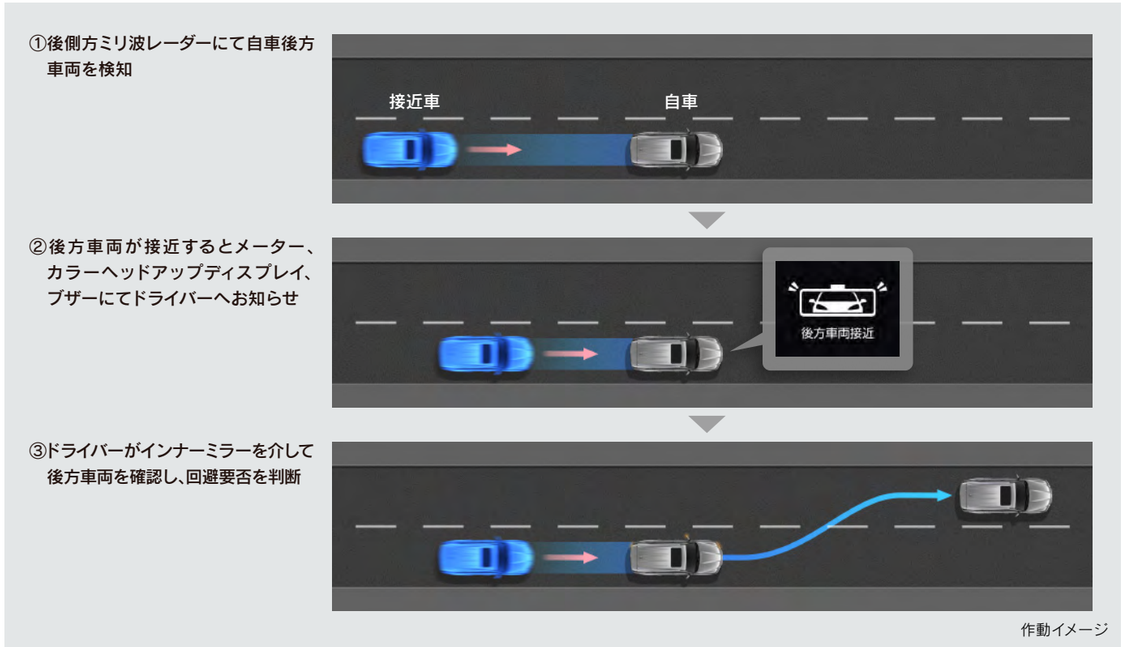


※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

後方を見守ってくれる安心のアシスト

後方車両接近告知

ブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーで自車後方の車両を検知し、後方車両が接近した場合には、メーターやカラーヘッドアップディスプレイ、ブザーにてお知らせ。インナーミラーへ視線誘導し、後方車両の回避要否の判断をアシストします。



作動イメージ

周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)

後方車両が非常に接近した場合、システムからドライバーに警察もしくはヘルプネット®への接続を提案。対処方法をお伝えします。また、ドライブレコーダー(前後方)装着時には、常時記録に加えて「イベント記録とお知らせ」を実施。状況を自動録画し、専用記録領域へ保存されるので上書きされにくくなります。



※後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)はあくまで運転補助機能です。
本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。

追突の可能性を後続車に伝え、追突事故の被害軽減に貢献

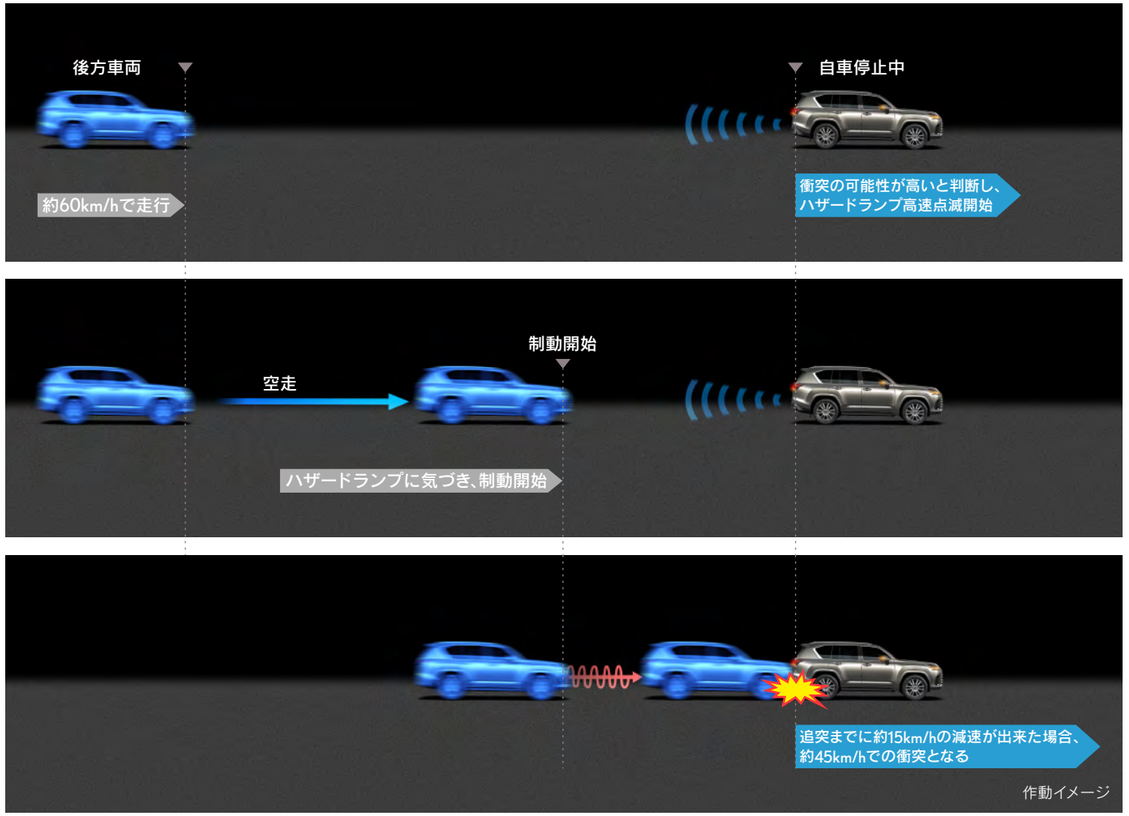
後方車両への接近警報

追突の可能性が高い後続車に対し、ハザードランプを高速点滅させて注意喚起します。自車両と同一レーンを走行する後続車をブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーにより検知し、後続車との距離、相対速度、方向等から追突の可能性を判断します。追突される可能性が高い場合にハザードランプを約2秒間高速点滅させ、後続車に注意喚起します。

作動条件

検知対象	トラック、バス、乗用車
作動自車速度	全車速 （約10km/h以上の場合はブレーキON時のみ作動）
電源/シフト条件	イグニッションON/シフトRポジション以外
ターンシグナル操作	ターンシグナル操作をしていないとき
ハザード操作（マニュアル）	ハザード操作をしていないとき
後続車相対速度	約30～100km/h

※後方車両への接近警報はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

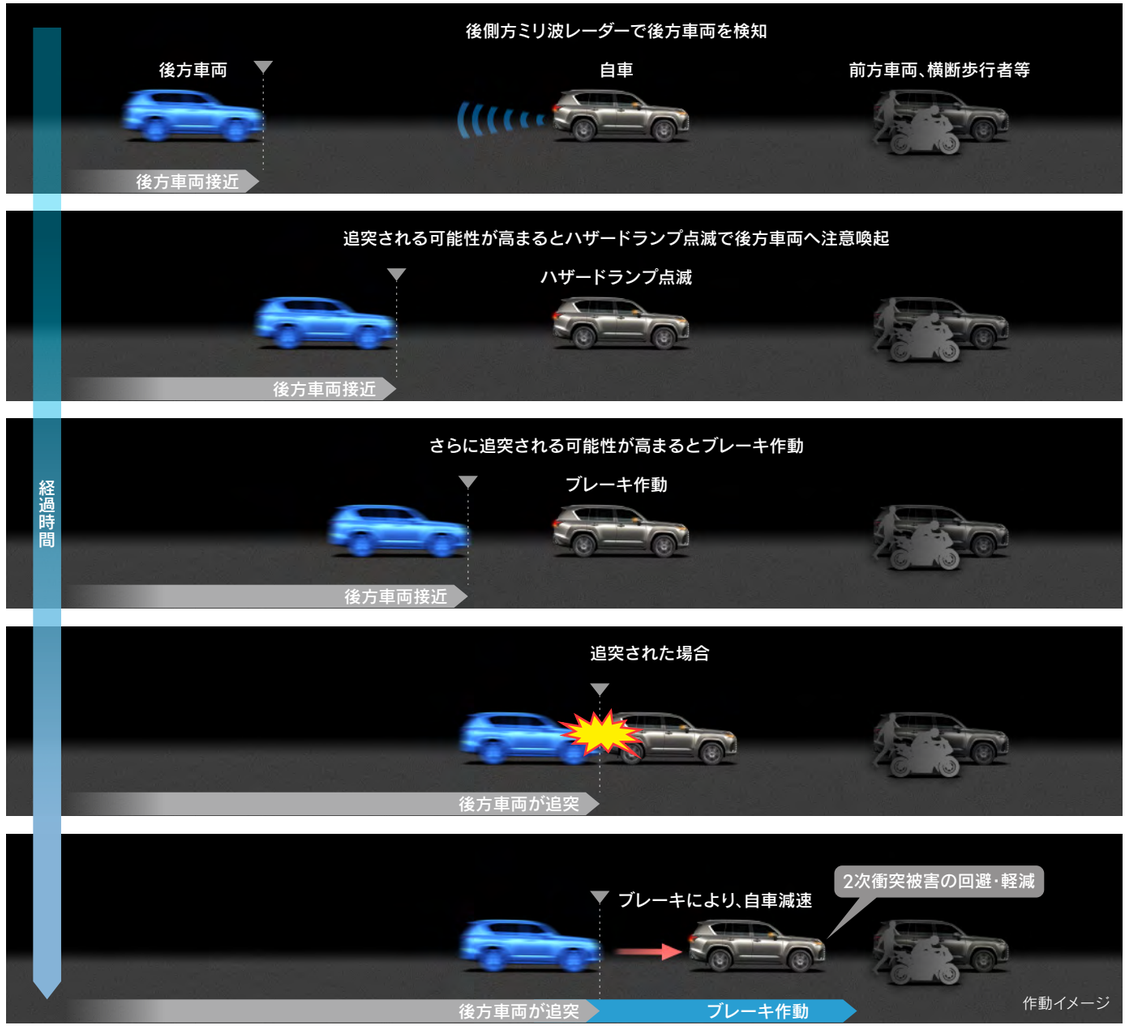
被追突時の2次衝突被害の回避・軽減に貢献

セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）

自車が停車中、ブラインドスポットモニター［BSM］の後側方ミリ波レーダーで後方車両を検知し、追突される可能性が非常に高いとシステムが判断すると、自車のブレーキを作動させます。その後追突された場合に自車の速度を減速し、2次衝突被害の回避・軽減に貢献します。自車走行中に前突・側突された後にブレーキを作動させる従来のセカンダリーコリジョンブレーキに対して、停車中後突対応は後側方ミリ波レーダーを使用することで新たに後突に対応するとともに、衝突前からブレーキを作動。より早期での減速が可能です。

	支援方向			自車状態	作動開始タイミング
	前方	側方	後方		
従来のセカンダリーコリジョンブレーキ	○	○	—	走行中	衝突後
セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）	—	—	○	停車中	衝突可能性前

※セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。
※天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。



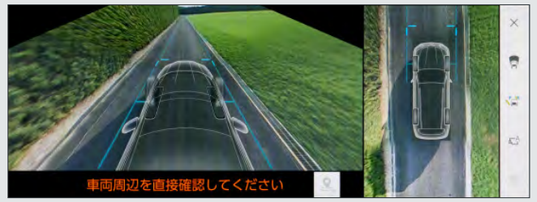
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

死角を減らし視界をひらくアイテム［1］

パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）

車両の前後左右に搭載したカメラから取り込んだ映像を合成し、車両を上から見たような映像を表示。運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなシースルービューや、車両を後ろ上方から見たような映像を表示し、車両側方の安全確認ができるサイドクリアランスビュー、狭い道での接触回避を確認できるコーナリングビューも採用しました。さらに、音声操作への対応や、パノラミックビュー / サイドクリアランスビュー / コーナリングビュー表示中に床下透過表示機能がON*になっていれば車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して駐車やすり抜けをサポートするなど、機能をレベルアップさせています。また、クリアな視界を保つため、バックカメラにはカメラ洗浄機能が付いており、タッチ操作でウォッシャー液を噴射します。

＊事前にセンターディスプレイの設定で床下透過がONになっていれば、パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）を表示すると自動的に（車両を動かすと同時に）床下透過表示になります。
※自車速度約12km/h以下で作動します。
※一定速度を超えるとモニターにカメラ画像が表示されなくなります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※GPSの受信状況によっては地点登録できない、または自動的に表示できない場合があります。
※画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。



サイドクリアランスビュー表示



コーナリングビュー表示



リヤカメラ洗浄前の
タッチディスプレイ



リヤカメラ洗浄後の
タッチディスプレイ


リヤカメラ
洗浄イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

死角を減らし視界をひらくアイテム［2］

デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をミラーのディスプレイに表示することで、後席の乗員やヘッドレストに遮られることなく、後方の安全確認が可能です。高画質の映像により、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えた際の自然な色調、夜間のクリアな視認性を実現しています。



鏡面ミラーモード



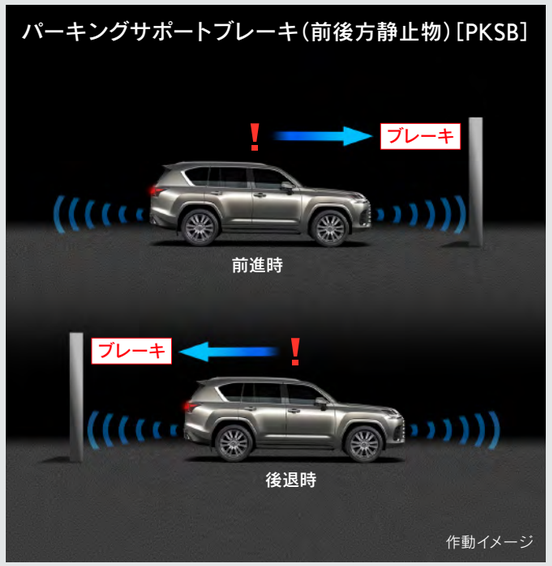
デジタルインナーミラーモード

※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また、着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

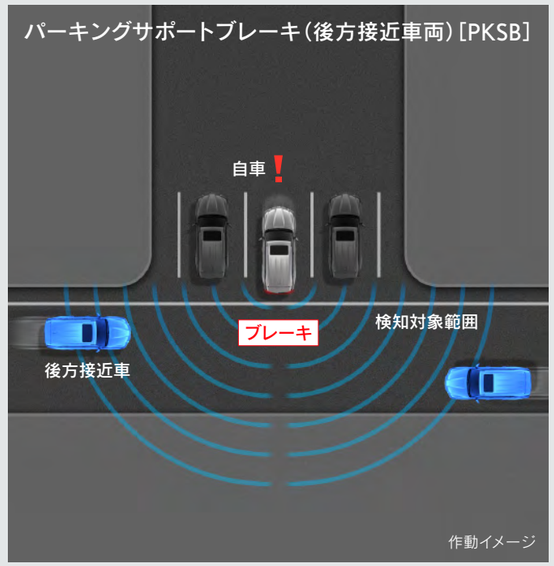
リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［1］

パーキングサポートブレーキ



アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステムです。静止物の検知対象を前後進行方向のみならず、側方を加えた車両周囲にまで拡大。Lexus Teammate Advanced Parkのアシスト中だけでなく、出庫や後退中のような駐車シーンにおいても周囲を監視しながら静止物の接近を表示とブザーで知らせ、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。





後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラー、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。



後退して出庫する際、自車後方の歩行者の存在を、タッチディスプレイ、およびブザーでお知らせします。自車後方の歩行者と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

＊Lexus Teammate Advanced Parkを装着した場合、パーキングサポートブレーキ（周囲静止物）［PKSB］が同時装着となります。
※パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで働くシステムではありますが、必ず止まることを約束するものではありません。
※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態等によっては、作動しない場合があります。
　本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※パーキングサポートブレーキ［PKSB］が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。
　また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。
※歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。
※字光式ナンバープレートは装着できません。
※運転者自身でパーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはおやめください。

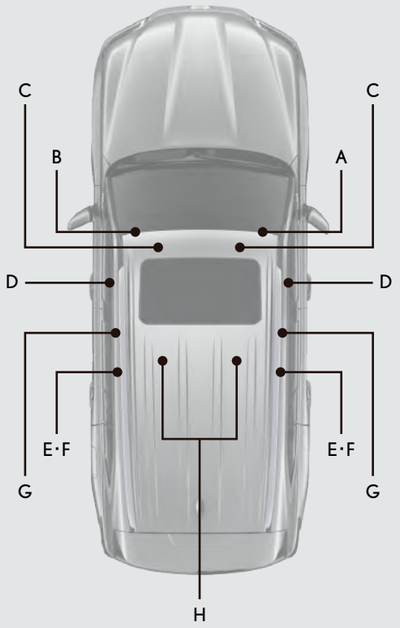
＝標準装備
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

リスクに備えドライバーの安心感を高める装備［2］

SRSエアバッグシステム

運転席SRSシングルステージ・助手席SRSデュアルステージエアバッグおよびSRSニーエアバッグは前席乗員の頭や胸の上体、膝などの下肢に作用する衝撃力を分散・緩和。車両側方からの衝突による胸部への衝撃を緩和するSRSサイドエアバッグ、乗員の頭部面まで保護するSRSカーテンシールドエアバッグなどを設定しています。また、“EXECUTIVE”には後左右席SRSシートクッションエアバッグを設定しています。

※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。



A 運転席SRSシングルステージエアバッグ
B 助手席SRSデュアルステージエアバッグ
C 運転席・助手席SRSニーエアバッグ
D 運転席・助手席SRSサイドエアバッグ
E セカンドシート左右席SRSサイドエアバッグ
F 後左右席SRSサイドエアバッグ “EXECUTIVE”
G SRSカーテンシールドエアバッグ
H 後左右席
SRSシートクッションエアバッグ “EXECUTIVE”

＝標準装備
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

すぐれた衝突安全性能を実現したフレーム＆ボディ

全方位の衝突安全性能に対応

強靱な骨格を支えてきた伝統のラダーフレームを新たに開発し、最適なサイドレール断面特性、クロスメンバーの最適配置や高い結合剛性による高強度構造、適材適所に配した高張力鋼板などにより、高い堅牢性と剛性を確保しました。キャビンは高張力鋼板を採用するとともに前方からの衝突エネルギーを効果的に吸収する構造により、乗員の安全空間を守るすぐれた衝突安全性を実現しています。

歩行者保護にも対応したボディ

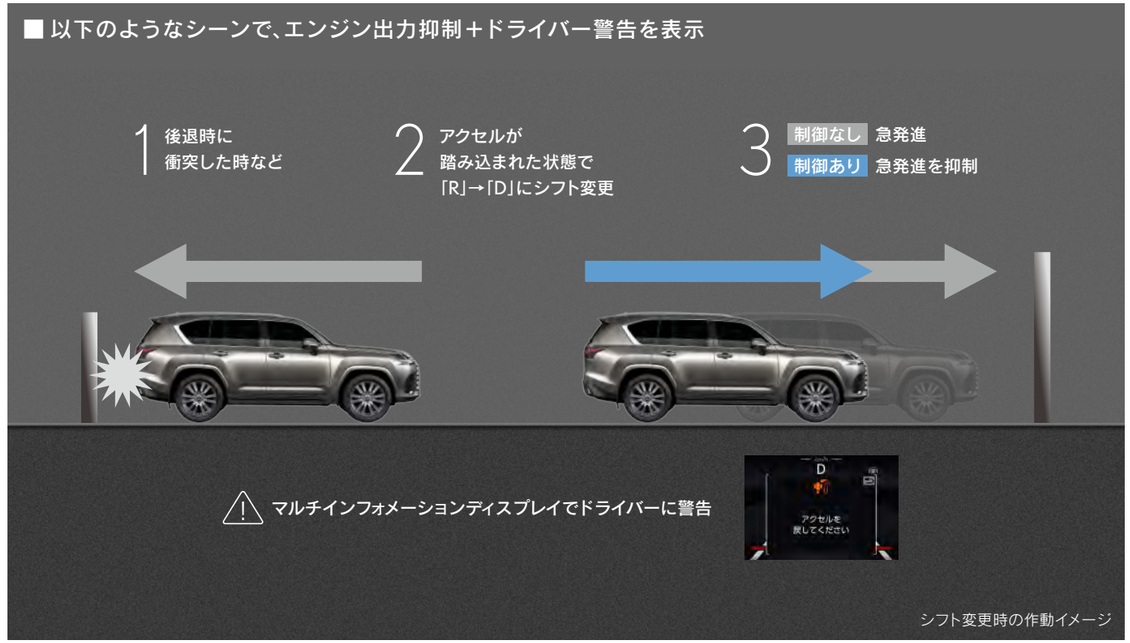
高張力鋼板をボディ骨格に採用し、軽量化しつつ、高い強度を実現。またアルミニウムを使用したエンジンフードはエンジンコンパートメントとの空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃緩和に配慮しました。


世界の法規・アセスメントに対応した高強度フレーム＆ボディ

シフト操作を間違えたときや後退時に、速度を抑制して衝突時の被害軽減に寄与＆空気圧の低下を警告

ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減に寄与します。例えば、後退時に衝突して慌てたドライバーがアクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意を促し、エンジン出力を抑えます。また、後退時、必要以上にアクセルを踏み込んで速度が上がりすぎるのを防ぐために、エンジン出力を抑えます。



シフト変更時の作動イメージ

タイヤ空気圧警告表示（マルチインフォメーションディスプレイ表示付）

空気圧が低下したタイヤがあると、メーター内のインジケーターランプ点灯とともに、ディスプレイに空気圧の数値を反転表示します。イグニッションONで空気圧を検出するため、走行前に確認が可能です。

※電波環境によっては空気圧の検出ができない場合があります。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ドライブの安心を拡張・更新するプラスサポート

[DEALER OPTION]プラスサポート用スマートキー

専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

＜急アクセル時加速抑制＞

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏みすぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

＜Lexus Safety System ＋の機能拡大＞

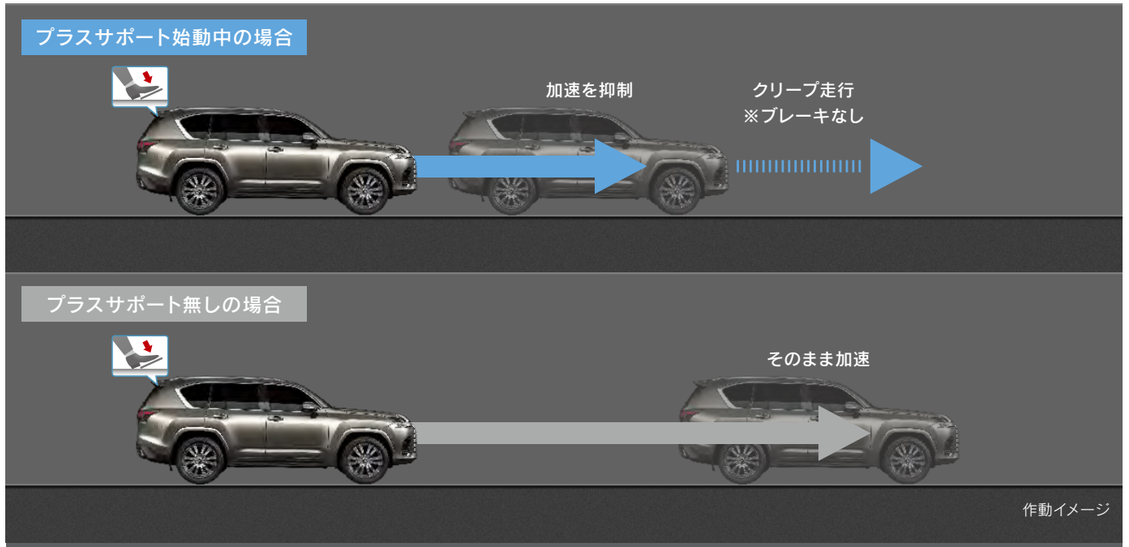
プラスサポートモードがONの場合、Lexus Safety System ＋各機能の挙動（警報タイミングや音声発話の有無）を、より安全な運転につながる方へ拡大します。

・プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動
・ロードサインアシスト[RSA]で音声発話による注意喚起を実施 など

ソフトウェアアップデート

DCM（Data Communication Module）による無線通信で、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能なOTA（無線通信）によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTAによるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System＋機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、エンジンスイッチ/パワースイッチON時のみ実施されます。

※Lexus Safety System ＋一部のプログラムは、DCMによる無線通信により、販売店に入庫することなく常に最新の ソフトウェアに更新できます。 ※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。 ※お客様の安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア 更新が必要になった場合には、お客様の更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客様が許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。 ※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、lexus.jp 内の取扱書ページにある最新の取扱説明書で確認することができます。 ※無線通信によるソフトウェアアップデートはG-Link契約が必要です。

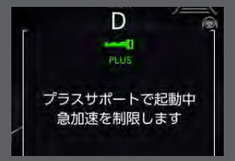


作動イメージ

プラスサポート用スマートキー
（電子キー）（カードキー）

標準キーと区別しやすい、
サテンゴールド加飾の専用キーです。





メーター表示

※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。 ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。※ブレーキを制御するシステムではありません。 ※自車速約30km/h以下で作動します。 ※前進および後退時に作動します。※アクセルを速く強く踏み込むような運転をした場合に、意図せずシステムが作動することがあります。 ※プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作せず右左折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態（ブレーキホールドでの停車中含む）から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みなおせば加速が可能です。 ※プラスサポート用スマートキー（電子キー・カードキー）と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。メーター表示で始動中をご確認ください。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路*とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

＊路車間通信システムに対応した路側装置は、2026年10月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまでも補助機能です。システムを過信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。

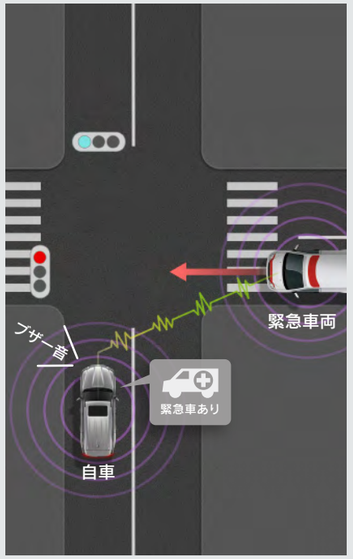
※緊急車両存在通知は通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。

※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置（感知器）の検出範囲外に存在している場合や、路側装置（感知器）が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。

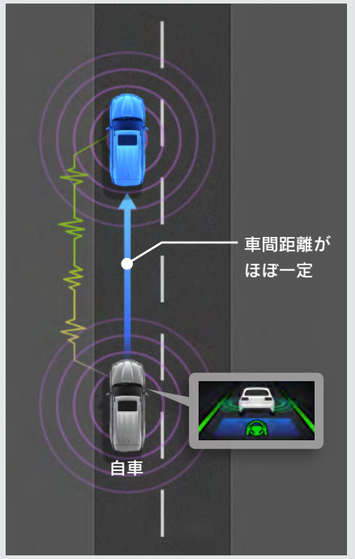
※右記の機能は一例です。

クルマとクルマがつながる車車間通信システム



緊急車両存在通知

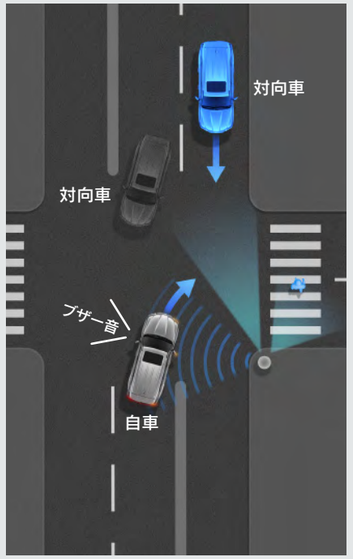
サイレンを鳴らしている緊急車両（救急車）が存在する場合に、ブザー音と音声案内で通知し、自車両に対するおおよその方向・距離・緊急車両の進行方向を表示します。救急車が見えにくい、騒音でサイレンが聞こえにくい等の状況でも、事前に緊急車両の存在を知ることが可能となります。



通信利用型レーダークルーズコントロール

レーダークルーズコントロールで先行車に追従している時、先行車が通信利用型レーダークルーズコントロール対応車両であれば、車車間通信により取得した先行車の加減速情報に素早く反応して車間距離や速度の変動を抑制し、スムーズな追従走行が可能となります。

道路*とクルマがつながる路車間通信システム



右折時注意喚起

交差点右折時、道路側の路側装置で死角の対向車や右折先の横断歩行者を検知。接近している対向車や歩行者がいるにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合に、表示とブザー音による注意喚起を行い、安全に右折できるよう支援します。

ITS Connectについては、こちらのリンクよりご確認ください（https://lexus.jp/technology/itsconnect/）

作動イメージ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

万一に備えて、運転中も駐車中も記録

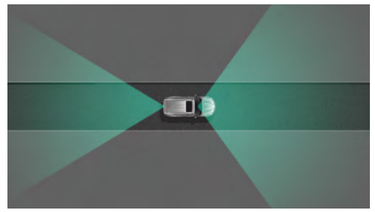
ドライブレコーダー（前後方）

車載カメラを併用し、内蔵メモリー方式を採用したドライブレコーダー。車両前方、後方のカメラ映像をメモリー内に常時録画します。各種録画映像は、12.3インチディスプレイで再生。すぐに映像内容を確認することができます。映像データをスマートフォンやUSBメモリに転送し、持ち運びすることも可能です*1。


前方カメラ部


後方カメラ部


映像再生イメージ


録画範囲イメージ


前方映像イメージ


後方映像イメージ

＊1. スマホへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive Recorder Viewer」のインストールが必要です。　＊2. 録画映像の地図表示は車載ナビ装備車またはコネクティッドナビ利用時に使用できます。　※前方はLexus Safety System＋のカメラ、後方はデジタルインナーミラーのカメラを流用しています。　■ドライブレコーダー（前後方）は事故の検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。　■録画されたファイルが破損していた場合による損害、故障や使用によって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。　■録画した映像は、その使用目的や使用方法によって、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、イタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。　■詳細につきましては取扱説明書をご覧ください。　■機能　画角（水平）：前方108°/後方62°　録画画素数：前方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約180万画素となります）/後方200万画素（上下に黒帯が記録されるため、映像は約130万画素となります）　■写真はイメージです。　■画像のカメラ範囲はイメージです。

■常時録画

エンジンスイッチ（パワースイッチ）がONの間、常時映像を録画します。録画開始後は約1分単位で録画し続けます。記録上限時間の約100分を超えた場合、古いデータから上書きされます。

■手動録画

ドライバーが手動操作により、希望するタイミングで映像を撮影することができます。操作は、手動録画画面の録画ボタンを押すほかに、音声操作で開始することもできます。

■イベント録画

急ブレーキ等、検知対象のイベントが発生した場合、後で走行状況を確認できるように自動で録画映像を保護。イベント発生タイミングを基準に前後10秒間の前後方カメラ映像を記録します。

＜検知対象のイベント＞

G検知：Gセンサーによって、急激なGの変化を検知したとき

エアバッグ衝突センシング：衝突などにより、エアバッグが展開したとき

後方接近車両検知：車両後側方レーダーにより、自車後方の極接近車両を検知したとき

■駐車時イベント録画

駐車時（エンジンスイッチ［パワースイッチ］OFF時）に衝撃などを検知した場合、後で周辺状況を確認できるように自動でカメラが作動。検知してから作動し、録画を開始。60秒間の前後方カメラ映像を記録します。

※イベント検知の感度は変更可能です

■地図表示モード*2

手動録画映像、イベント録画映像、駐車時イベント録画映像について、地図上に撮影地点を表示し、地点を選択することで再生することができます。

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [1]

ルーフレール*/ムーンルーフ(チルト&スライド式)

ルーフレールは軽量化素材のアルミニウムを使い、慣性モーメント低減に寄与。室内に開放感をもたらすムーンルーフを標準装備しています。



＊“OVERTRAIL+”はマットマーキュリーグレーマイカとなります。

サイドドアイージークローザー(フロント・リヤ)

サイドドアが半ドア状態の時、イージークローザー機能により確実にドアが閉まります。

※ドアを閉める際は、指などを挟まないよう十分ご注意ください。



半ドア



ドアクローズ

ハンズフリーパワーバックドア(挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付)

両手が荷物でふさがっている時でも、キーを携帯している状態であれば、リヤバンパーの下に足を出し入れすることでバックドアの自動開閉が行えます。開閉速度と足の出し入れへの感度を向上させ、使い勝手をさらに高めています。

※挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [2]

ドアミラー足元照明

ドアミラー内蔵の足元照明で路上にLEXUSロゴを映し出し、おもてなしを演出します。



ヒッチメンバー（カバー付）

牽引用のヒッチを覆い隠すヒッチメンバーカバーをリヤスキッドプレートに組み込み、シンプルなデザインにまとめました。



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [3]

レクサス クライメイト コンシェルジュ

レクサス クライメイト コンシェルジュは、乗員一人ひとりに全身で感じられる心地良さを提供します。暖め過ぎや冷やし過ぎといった過度な働きを抑制することで、省エネにも貢献。あらかじめ好みの状態に設定しておくことで、一切の操作をすることなくつねに快適な状態でお過ごしいただけます。受け手側の望みを察して、すべてをあらかじめ整えることに心を砕く。この日本的なおもてなしの真髄を、空調のハーモニーによってご提供します。


イメージ

◎クライメイトコンシェルジュスイッチ
ワンアクションで、オートエアコン、ステアリングヒーター、シートヒーター・シートベンチレーション付シートが作動。助手席、セカンドシートの着座乗員を検知すると各空調装備が自動的に連動し、快適な状態が維持されます。

◎4席独立温度調整オートエアコン
運転席、助手席、セカンドシート左右で吹き出し温度・吹き出し口をそれぞれ制御します。

◎シートヒーター・シートベンチレーション付シート（フロントシート・セカンドシート左右席）
速暖速冷機能により、乗車時間をより快適にし、「AUTO」設定で全身が快適な状態を維持することができます。

◎ステアリングヒーター
「AUTO」設定時、ヒーター作動条件を満たしていると自動的にONになり、一定時間暖めます。

レクサス クライメイト コンシェルジュ制御イメージ
（オートエアコン、ステアリングヒーター、シートヒーター・シートベンチレーション付シートを統合制御）



※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

Other Equipment [4]

ドライブモードセレクトスイッチ

モードセレクトダイヤルを切り替えることにより、走行シーンやドライバーの気分に合わせてドライビングを楽しむことができます。



SPORT S+	走りのポテンシャルをフルに引き出し、エモーショナルな走行を実現します。
SPORT S	よりダイナミックで力強い加速感が得られる走りを提供します。
NORMAL	走りと燃費のバランスにすぐれ、さまざまなシーンでのドライブに適しています。
COMFORT	サスペンション制御によって、より快適な乗り心地を実現します。
ECO	パワートレーンとエアコンを燃費優先の制御に変化させます。
CUSTOM	パワートレーン、シャシー、エアコンのモードを自分好みの組み合わせに設定できます。

おくだけ充電®

フロントコンソールトレイ部の充電エリアに置くだけで、スマートフォンやモバイルバッテリーなどの充電が行えます。急速充電に対応しています。



※“EXECUTIVE”では、おくだけ充電はリヤコンソールにも設置されます。
※ご利用は、ワイヤレス充電の規格Qi（チー）に対応した一部の機器、もしくはQiに対応したアクセサリーを装着した機器などに限られます。対応の有無は各商品のメーカーにお問い合わせください。
※トレイ寸法（タテ約163mm、ヨコ約90mm）を超えるQi対応機器（アクセサリー類を含む）は、トレイに置くことができないため、充電はできません。
※機種によっては正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず取扱説明書をご覧ください。

アクセサリーコンセント（AC100V・100W/ラゲージルーム内1個） LX600 全車



＝標準装備
※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

3Dシミュレーションはこちら >

BODY COLOR LINEUP



ホワイトノーヴァガラスフレーク〈083〉*1



ソニックチタニウム〈1J7〉*1



マンガンラスター〈1K2〉*1 全車



ニュートリノグレー〈1N0〉*2 ※“F SPORT”設定色。



グラファイトブラックガラスフレーク〈223〉*1



ムーンデザート〈4Z1〉*3 ※“OVERTRAIL+”設定色。



テレーンカーキマイカメタリック〈6X4〉*3

*1.Photo：LX700h。 *2.Photo：LX700h“F SPORT”。 *3.Photo：LX700h“OVERTRAIL+”。 ＝メーカーオプション

3Dシミュレーションはこちら >

INTERIOR COLOR LINEUP [1]



ブラック*1　※“EXECUTIVE”設定色。



ブラック*2



クリムゾン*2　※LX700h/LX600設定色。



サンフレアブラウン*1　※“EXECUTIVE”設定色。



ホワイト＆ダークセピア*2

※ダークセピアは、フロントドアアシストグリップ、インストルメントパネル（運転席・助手席ロア）、グローブボックス、センターコンソール（アッパー・サイド）となります。



ヘーゼル*2



“F SPORT”ブラック*3



“F SPORT”フレアレッド*3



ヘーゼル*3　※“F SPORT”設定色。



“OVERTRAIL＋”ブラック*4

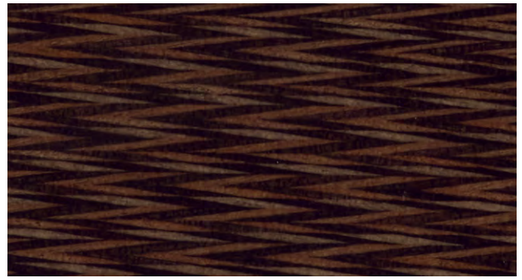


“OVERTRAIL＋”モノリス*4

＊1. Photo: LX700h “EXECUTIVE”。　＊2. Photo: LX700h（7人乗り）。　＊3. Photo: LX700h “F SPORT”。　＊4.Photo：LX700h “OVERTRAIL＋”。

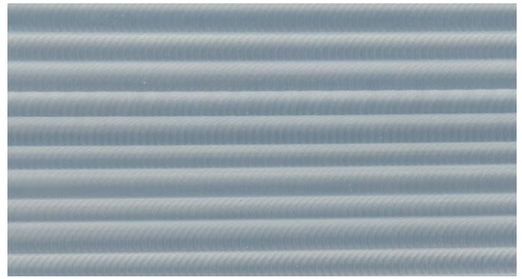
3Dシミュレーションはこちら ＞

INTERIOR COLOR LINEUP [2]



アートウッド（鷹羽） “EXECUTIVE”

寄木細工の技術を応用し、鷹の羽根の紋様を表現したアートウッド。職人が一つずつ丁寧に寄木し、三度にわたり切削を行うことで鷹の羽根を表現。圧倒的な繊細さで、レクサスのフラッグシップSUVにふさわしい柄を創出します。



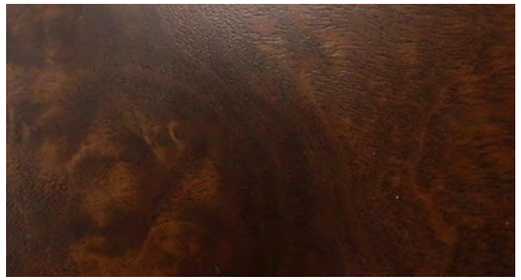
“F SPORT”本アルミ（刃取調仕上げ/シルバー）

日本刀の刃紋を表現したアルミニウムオーナメントパネル「刃取」を設定。砥石を回しながら丹念に研磨を繰り返すことで生まれる微妙な揺らぎの表情と立体感により、“F SPORT”の磨き上げた走りの切れ味を表現します。

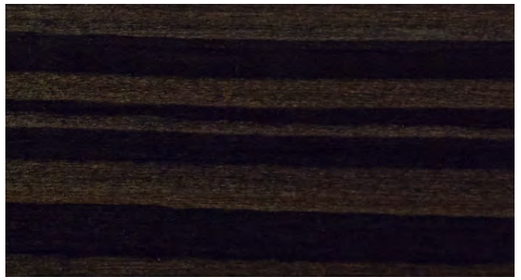


アッシュ
（オープンフィニッシュ/墨ブラック）

はっきりとした強い木目が特徴のアッシュバールを墨で染色。杢本来の風合いで重厚感と気品を演出します。



ウォールナット
（オープンフィニッシュ/ダークブラウン）



縞杢
（ブラック）

■内装色一覧表

●: 標準設定　○: 設定あり（いずれかをお選びください）　△: メーカーオプション

	シートマテリアル	インテリアカラー	オーナメントパネル / ステアリングの本木目				
			縞杢（ブラック）	アッシュ（オープンフィニッシュ/墨ブラック）	ウォールナット（オープンフィニッシュ/ダークブラウン）	アートウッド（鷹羽）	“F SPORT”本アルミ（刃取調仕上げ/シルバー）
“EXECUTIVE”	セミアニリン本革＊	ブラック	●	―	―	△	―
		サンフレアブラウン	●	―	―	△	―
“F SPORT”		“F SPORT”ブラック	―	―	―	―	●
		ヘーゼル	―	―	―	―	●
		“F SPORT”フレアレッド	―	―	―	―	●
LX700h LX600		ホワイト＆ダークセピア	○	○	●	―	―
		ブラック	○	○	●	―	―
		クリムゾン	○	○	●	―	―
		ヘーゼル	○	○	●	―	―
“OVERTRAIL＋”		ホワイト＆ダークセピア	○	●	○	―	―
		ヘーゼル	○	●	○	―	―
		“OVERTRAIL＋”ブラック	○	●	○	―	―
		“OVERTRAIL＋”モノリス	―	●	―	―	―

＊シートの一部に合成皮革を使用しています。

□＝メーカーオプション

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

	スピンドルグリル	フロントフォグランプベゼル	タイヤ＆アルミホイール	ホイールアーチモール
“EXECUTIVE” LX700h“EXECUTIVE” LX600“EXECUTIVE”			 265/50R22タイヤ＆ 鍛造アルミホイール （プレミアムメタリック塗装）	 ※画像はLX700h“EXECUTIVE”。
“F SPORT” LX700h“F SPORT” LX600“F SPORT”	 F SPORT”（メッシュタイプ、漆黒メッキモール）	 漆黒メッキ	 265/50R22タイヤ＆ “F SPORT” 鍛造アルミホイール （スーパーグロスブラック メタリック塗装）	
LX700h			 265/50R22タイヤ＆ 鍛造アルミホイール （切削光輝＋ブラック塗装） LX700h LX600	
LX600			 265/55R20タイヤ＆ アルミホイール （切削光輝＋ ダーククリア塗装） LX600	
“OVERTRAIL＋” LX700h“OVERTRAIL＋” LX600“OVERTRAIL＋”	 黒光輝塗装	 漆黒メッキ	 265/70R18タイヤ＆ アルミホイール （マットグレーメタリック塗装）	 ブラック

＝標準装備　＝メーカーオプション

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

	ドアミラー	ウインドゥモール / ドアハンドル	ルーフレール	リヤバンパーサイドメッキモール
“EXECUTIVE” LX700h “EXECUTIVE” LX600 “EXECUTIVE”				
“F SPORT” LX700h “F SPORT” LX600 “F SPORT”				 サテンメッキ
LX700h LX600				
“OVERTRAIL＋” LX700h “OVERTRAIL＋” LX600 “OVERTRAIL＋”	 ブラック塗装＆マットグレーメタリック加飾	 ウインドゥモール: ブラックステンレス ドアハンドル: ブラック	 マットマーキュリーグレーマイカ	 漆黒メッキ

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

LX700h/パッケージ別主な標準装備比較

“EXECUTIVE”

LX700h“EXECUTIVE”

乗車定員

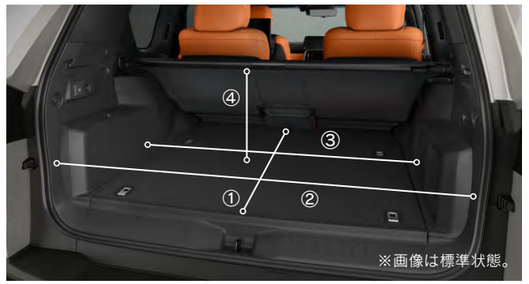


4人乗り

シートアレンジ / ラゲージルーム容量・寸法



標準状態	容量 580 ℓ



①荷室長	約965mm
②荷室幅（トリム間床面）	約1,102mm
③荷室幅（ホイールハウス間床面）	約979mm
④荷室高（トノカバーまで）	約413mm

“F SPORT”

LX700h“F SPORT”
（5人乗り＊/7人乗り）

LX700h

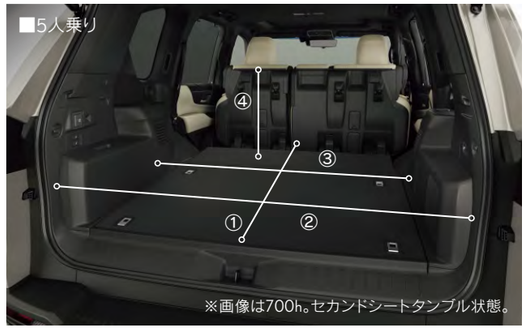
（5人乗り＊/7人乗り）



5人乗り＊



標準状態Ⓐ	容量 889 ℓ
セカンドシートタンブル状態Ⓑ	容量 1,751 ℓ
セカンドシート前倒し状態Ⓒ	容量 1,712 ℓ



①荷室長	Ⓐ約1,138mm Ⓑ約1,611mm Ⓒ約1,868mm
②荷室幅（トリム間床面）	約1,102mm
③荷室幅（ホイールハウス間床面）	約979mm
④荷室高（セカンドシートバック後端まで）	約479mm

“OVERTRAIL＋”

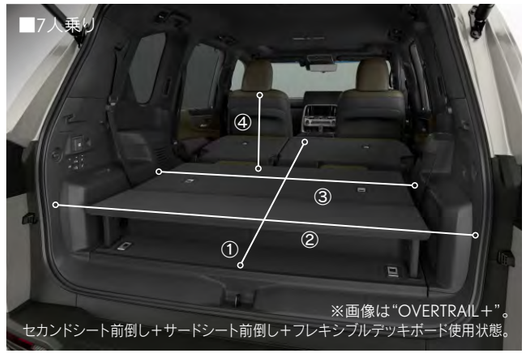
LX700h“OVERTRAIL＋”
（5人乗り＊/7人乗り）



7人乗り



標準状態Ⓐ	容量 140 ℓ
サードシート前倒し状態Ⓑ	容量 833 ℓ
セカンドシートタンブル＋サードシート前倒し状態Ⓒ	容量 1,720 ℓ
セカンドシート前倒し＋サードシート前倒し状態Ⓓ	容量 1,650 ℓ



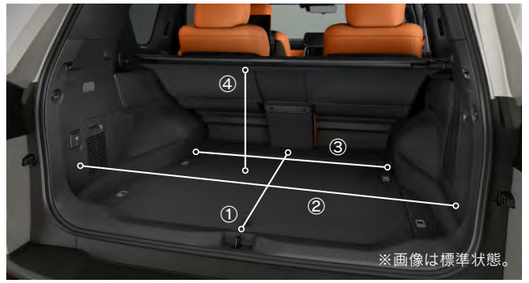
①荷室長	Ⓐ約312mm Ⓑ約1,120mm Ⓒ約1,637mm Ⓓ約1,868mm	
②荷室幅（トリム間床面）		約1,102mm
③荷室幅（ホイールハウス間床面）		約979mm
④荷室高	Ⓐサードシートバック後端まで	約536mm
	Ⓑセカンドシートバック後端まで	約399mm

＊5人乗り（2列シート）はメーカーオプションで、トノカバーが同時装着となります。 ※ラゲージルームの容量はVDA方式で測定。荷室高を天井までとした場合の数値です。 ※ラゲージルームの寸法は社内測定値。

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

LX600/パッケージ別主な標準装備比較

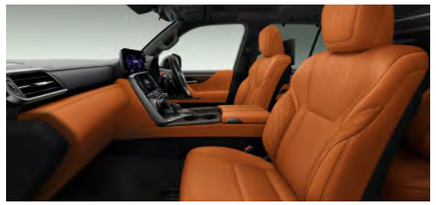
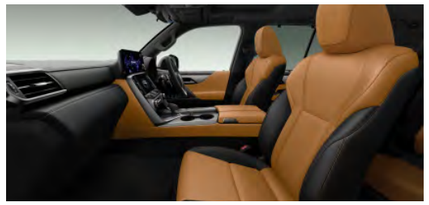
	乗車定員	シートアレンジ / ラゲージルーム容量・寸法		
“EXECUTIVE” LX600“EXECUTIVE”	 4人乗り	 ※画像はリラックスモード（ディスプレイ前倒し・オットマン展開状態）。 標準状態 容量767ℓ	 ※画像は標準状態。	①荷室長 約1,023mm ②荷室幅（トリム間床面） 約1,322mm ③荷室幅（ホイールハウス間床面） 約1,006mm ④荷室高（トノカバーまで） 約528mm
“F SPORT” LX600“F SPORT” （5人乗り＊/7人乗り） LX600 （5人乗り＊/7人乗り）	 ※画像はLX600。 5人乗り＊	 ■5人乗り ※画像はLX600。セカンドシート前倒し状態。 標準状態Ⓐ 容量1,109ℓ セカンドシートタンブル状態Ⓑ 容量1,960ℓ セカンドシート前倒し状態Ⓒ 容量2,066ℓ	 ■5人乗り ※画像はLX600。セカンドシートタンブル状態。	①荷室長 Ⓐ約1,165mm Ⓑ約1,629mm Ⓒ約2,082mm ②荷室幅（トリム間床面） 約1,322mm ③荷室幅（ホイールハウス間床面） 約1,006mm ④荷室高（セカンドシートバック後端まで） 約664mm
“OVERTRAIL＋” LX600“OVERTRAIL＋” （5人乗り＊/7人乗り）	 ※画像は“OVERTRAIL＋”。 7人乗り	 ■7人乗り ※画像は“OVERTRAIL＋”。 セカンドシート前倒し＋サードシート両側フロア格納状態。 標準状態Ⓐ 容量174ℓ サードシート両側フロア格納状態Ⓑ 容量982ℓ セカンドシートタンブル＋サードシート両側フロア格納状態Ⓒ 容量1,871ℓ セカンドシート前倒し＋サードシート両側フロア格納状態Ⓓ 容量1,977ℓ	 ■7人乗り ※画像は“OVERTRAIL＋”。 セカンドシート前倒し＋サードシート両側フロア格納状態。	①荷室長 Ⓐ約272mm Ⓑ約1,155mm Ⓒ約1,629mm Ⓓ約2,082mm ②荷室幅（トリム間床面） 約1,322mm ③荷室幅（ホイールハウス間床面） 約1,006mm ④荷室高 Ⓐサードシートバック後端まで 約590mm Ⓑセカンドシートバック後端まで 約598mm

＊5人乗り（2列シート）はメーカーオプションで、トノカバーが同時装着となります。 ※ラゲージルームの容量はVDA方式で測定。荷室高を天井までとした場合の数値です。 ※ラゲージルームの寸法は社内測定値。

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

価格・パッケージ比較はこちら >

パッケージ別主な標準装備比較

	シートマテリアル / フロントヘッドレスト	セカンドシート / リヤヘッドレスト	リヤコンソール / リヤアームレスト（セカンドシート）	サードシート（7人乗り）
“EXECUTIVE” LX700h “EXECUTIVE” LX600 “EXECUTIVE”	 セミアニリン本革 / 運転席上下前後調整式・助手席上下前後電動調整式ヘッドレスト	 セミアニリン本革 / 大型リヤヘッドレスト（上下前後調整式）	 リヤコンソール	—
“F SPORT” LX700h “F SPORT” LX600 “F SPORT”	 セミアニリン本革 / 上下前後調整式ヘッドレスト	 6:4分割可倒式シート（電動アシストタンブル機構付）/ 上下調整式ヘッドレスト（左右席）	 可倒式リヤセンターアームレスト （カップホルダー2個付）	 5:5分割可倒式シート（シートクッション一体式/ 電動リクライニング機構・センタートレイ付）
LX700h LX600 （5人乗り＊/7人乗り） “OVERTRAIL＋” LX700h “OVERTRAIL＋” LX600 “OVERTRAIL＋”	 セミアニリン本革 / 上下前後調整式ヘッドレスト	 4:2:4分割可倒式シート（電動アシストタンブル機構付）/ 上下調整式ヘッドレスト（左右席）	 可倒式リヤセンターアームレスト （カップホルダー2個付）	 5:5分割可倒式シート（電動リクライニング機構付）

＊5人乗り（2列シート）はメーカーオプションで、トノカバーが同時装着となります。

※シートの操作方法について、標準以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。 ※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

EQUIPMENT

レクサス LX700h / LX600 主要装備一覧表

●：標準装備　△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　○：設定あり　□：ディーラーオプション

			LX700h							LX600						
			“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”	
			4人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	4人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り
			AWD							AWD						
▌エクステリア																
“F SPORT”スピンドルグリルモール（漆黒メッキ）/“F SPORT”スピンドルグリル（メッシュタイプ）/“F SPORT”サイドグリル（メッシュタイプ）/“F SPORT”リヤロアグリル（メッシュタイプ）/“F SPORT”フロントロアバンパーモール（サテンメッキ）/“F SPORT”リヤロアバンパーモール（サテンメッキ）			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
“OVERTRAIL＋”パーツ	スピンドルグリル（黒光輝塗装）/フロントフォグランプベゼル（漆黒メッキ）/ルーフレール（マットマーキュリーグレーマイカ）/ドアミラー（ブラック塗装＆マットグレーメタリック加飾）/ドアハンドル（ブラック）/ウインドウモール（ブラックステンレス）/ホイールアーチモール（ブラック）/リヤバンパーサイドメッキモール（漆黒メッキ）		—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●
▌パフォーマンス																
パフォーマンスダンパー®（フロント・リヤ）/リヤスタビライザー			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
トルセン®LSD（リヤディファレンシャルギヤ）			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
“F SPORT”レッドブレーキキャリパー（フロントLEXUSロゴ）			—	△	△	—	—	—	—	—	△	△	—	—	—	—
ディファレンシャルロック（フロント・リヤ）			—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●
265/70R18 116Hタイヤ＆18×7½Jアルミホイール（マットグレーメタリック塗装）		＊2	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●
265/55R20 113Vタイヤ＆20×8Jアルミホイール（切削光輝＋ダーククリア塗装）			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—
265/50R22 109Vタイヤ＆22×8J “F SPORT” 鍛造アルミホイール（スーパーグロスブラックメタリック塗装）		＊2	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
265/50R22 109Vタイヤ＆22×8J鍛造アルミホイール（切削光輝＋ブラック塗装）		＊2	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	△	△	—	—
265/50R22 109Vタイヤ＆22×8J鍛造アルミホイール（プレミアムメタリック塗装）		＊2	●	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
▌セーフティ																
Lexus Teammate	Advanced Drive（渋滞時支援）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Advanced Park＋パーキングサポートブレーキ（周囲静止物）[PKSB]	＊3	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
車両接近通報装置			●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
SRSエアバッグシステム	運転席シングルステージ・助手席デュアルステージ/ニー/サイドエアバッグ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	セカンドシート左右席サイドエアバッグ		—	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●
	カーテンシールドエアバッグ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	後左右席シートクッション/サイドエアバッグ		●	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
ELR3点式シートベルト（シルク調ベルト）	運転席・助手席: テンションリデューサー・プリテンショナー・フォースリミッター機構付	＊4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	セカンドシート左右席: プリテンショナー・フォースリミッター機構付/セカンドシート中央席	＊4	—	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●
	サードシート左右席		—	—	●	—	●	—	●	—	—	●	—	●	—	●
	後左右席: プリテンショナー・フォースリミッター機構付	＊4	●	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
▌機能装備																
スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー2個[測距システムあり]）/バックドア連動）		＊5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートエントリー＆スタートシステム（電子キー2個[測距システムなし]＋カードキー1個/バックドア連動）		＊5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プラスサポート（急アクセル時加速抑制）/プラスサポート用スマートキー（電子キー）（カードキー）			□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
ルーフレール			●	●	●	●	●	●＊6	●＊6	●	●	●	●	●	●＊6	●＊6
▌インテリア																
“F SPORT”12.3インチTFT液晶式メーター			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
12.3インチTFT液晶式メーター			●	—	—	●	●	●	●	●	—	—	●	●	●	●
“F SPORT”ディンプル本革ステアリング（パドルシフト付）＆“F SPORT”ディンプル本革シフトノブ			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
本木目＋本革ステアリング（パドルシフト付）＆本革シフトノブ			●	—	—	●	●	●	●	●	—	—	●	●	●	●
“F SPORT”アルミ製スポーツペダル＆フットレスト			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
スカッフプレート（フロント[イルミネーション付]・リヤ）	“F SPORT”ブラックロゴ		—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
	LEXUSロゴ		●	—	—	●	●	●	●	●	—	—	●	●	●	●
“F SPORT”セミアニリン本革スポーツシート			—	●	●	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—
セミアニリン本革シート			●	—	—	●	●	●	●	●	—	—	●	●	●	●
運転席・助手席・後左右席シートヒーター＆ベンチレーション機能付			●	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—
運転席・助手席・セカンドシート左右席シートヒーター＆ベンチレーション機能付			—	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●

EQUIPMENT

レクサス LX700h / LX600 主要装備一覧表

●：標準装備　△：メーカーオプション（ご注文時に申し受けます）　○：設定あり　□：ディーラーオプション

			LX700h							LX600						
			“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”	
			4人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	4人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り	5人乗り＊1	7人乗り
			AWD							AWD						
▮インテリア																
フロントリフレッシュシート	運転席・助手席		―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
	運転席		●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
助手席電動ランバーサポート			―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
フロントヘッドレスト	上下前後調整式		―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
	運転席: 上下前後調整式/助手席: 上下前後電動調整式		●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
セカンドシート	6:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付		―	●	●	●	●	●	●	―	―	―	―	―	―	―
	4:2:4分割可倒式/電動アシストタンブル機構付		―	―	―	―	―	―	―	―	●	●	●	●	●	●
リヤパワーシート			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
サードシート（5:5分割可倒式/電動リクライニング機構付）			―	―	●＊7	―	●＊7	―	●＊7	―	―	●	―	●	―	●
マルチシートオート	ウォークイン機構		―	―	●	―	●	―	●	―	―	●	―	●	―	●
アレンジ	ラゲージスペース拡大機構		―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
助手席エクストラシートスライド（114mm）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
電動オットマン（後左席）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
プリセットポジション（後左席）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
リラクゼーション機能（後左右席）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
大型リヤヘッドレスト（上下前後調整式）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
可倒式リヤセンターアームレスト（カップホルダー2個付）			―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
リヤコンソール（おくだけ充電®・コントロールパネル・テーブル・カップホルダー2個・収納ボックス・充電用USB Type-C端子4個・ヘッドフォンジャック2個等）	アクセサリーコンセント（AC100V・1500W/非常時給電システム付）		●	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	アクセサリーソケット（DC12V・120W）		―	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
おくだけ充電（フロントセンターコンソール）			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
読書灯（後左右席）			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
シャワー空調機能＆エアカーテン			●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
“マークレビンソン”リファレンス3Dサラウンドサウンドシステム			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
リヤシートエンターテインメントシステム			●	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	●	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8
HDMI端子＊9	1個/フロントセンターコンソール		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	1個/フロントセンターコンソール後部		―	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	―	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8	△＊8
	1個/リヤコンソール		●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
充電用USB Type-C端子	運転席・助手席用1個（フロントセンターコンソール）		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	セカンドシート用2個（フロントセンターコンソール後部）		―	●	●	●	●	●	●	―	●	●	●	●	●	●
	サードシート用2個（クォータートリム左右）		―	―	●	―	●	―	●	―	―	●	―	●	―	●
トノカバー	5人乗り用		―	△＊1	―	△＊1	―	△＊1	―	―	△＊1	―	△＊1	―	△＊1	―
	セパレーター付		●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―	―	―
フレキシブルデッキボード			―	―	●	―	●	―	●	―	―	―	―	―	―	―
▮その他																
アクセサリーソケット（DC12V・120W）	1個/フロントセンターコンソール	＊10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	1個/フロントセンターコンソール後部	＊10	―	―	―	―	―	―	―	―	●	●	●	●	●	●
アクセサリーコンセント	AC100V・100W（ラゲージルーム内1個）	＊11	―	―	―	―	―	―	―	●	●	●	●	●	●	●
	AC100V・1500W/非常時給電システム付（フロントセンターコンソール後部1個・ラゲージルーム内1個）＆外部給電アタッチメント	＊11	―	●	●	●	●	●	●	―	―	―	―	―	―	―
	AC100V・1500W/非常時給電システム付（リヤコンソール後部1個・ラゲージルーム内1個）＆外部給電アタッチメント	＊11	●	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

全車標準装備

▌エクステリア
- サイドステップ(一体タイプ・LED照明付)
- ヒッチメンバー(カバー付)

▌パフォーマンス
- トルセン®LSD付トランスファー
- ディファレンシャルロック(センター)
- アクティブノイズコントロール
- 電動パワーステアリング[EPS]
- AHC&AVS
- マルチテレインセレクト
- ダウンヒルアシストコントロール
- クロールコントロール
- フロントφ354mmベンチレーテッドディスクブレーキ/リヤφ335mmベンチレーテッドディスクブレーキ
- 電子制御ブレーキ[ECB]
- グランドスペアタイヤ(床下式)
- 電動チルト&テレスコピックステアリング(オートアウェイ&オートリターン機構付)
- リヤスポイラー

▌セーフティ
- Lexus Safety System +
  プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車＊12[昼夜]・自動二輪車＊12[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)/レーンディパーチャーアラート[LDA]/レーントレーシングアシスト[LTA]/レーンチェンジアシスト[LCA]/レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)/ブレードスキャン®アダプティブハイビームシステム[AHS]/ロードサインアシスト[RSA]/発進遅れ告知機能[TMN]/ドライバー異常時対応システム/ドライバーモニター連携/フロントクロストラフィックアラート[FCTA]/プロアクティブドライビングアシスト[PDA]
- パーキングサポートブレーキ(前後方静止物+後方接近車両+後方歩行者)[PKSB]＊3
- マルチテレインモニター＊3
- パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)＊3
- ブラインドスポットモニター[BSM]/後方車両接近告知/周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)/後方車両への接近警報
- セカンダリーコリジョンブレーキ(停車中後突対応)
- 安心降車アシスト[SEA]
- ヒルスタートアシストコントロール
- ブレーキホールド
- ドライブレコーダー(前後方)
- ITS Connect
- VDIM
- マルチテレインABS(電子制動力配分制御付)
- ブレーキアシスト
- VSC
- TRC
- ドライブスタートコントロール
- 緊急ブレーキシグナル
- タイヤ空気圧警告表示(マルチインフォメーションディスプレイ表示付)
- 汎用ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー(トップテザーアンカー付/セカンドシート左右席)＊13
- 三眼フルLEDヘッドランプ(ロー・ハイビーム)&LEDフロントターンシグナルランプ
- ヘッドランプクリーナー
- LEDクリアランスランプ(デイタイムランニングライト機能付)
- LEDコーナリングランプ

▌セーフティ
- LEDフロントフォグランプ
- フルLEDリヤコンビネーションランプ(テール・ストップ・ターンシグナル)
- リヤフォグランプ
- オートライトシステム
- ウインドシールドガラス(UVカット機能付/遮音タイプ)
- フロントドアガラス(UVカット・撥水機能付/遮音タイプ)
- リヤドアガラス(UVカット・プライバシー機能付/遮音タイプ)
- リヤクォーターガラス(UVカット・プライバシー機能付)
- バックドアガラス(UVカット・プライバシー機能付)
- 雨滴感知式オートワイパー
- オート電動格納式ドアミラー(自動防眩・鏡面リバース連動ラストメモリー付チルトダウン・メモリー・ヒーター・足元照明付)
- デジタルインナーミラー

▌機能装備
- イルミネーテッドエントリーシステム
- インテリアイルミパッケージ
- 指紋認証スタートスイッチ
- パワーイージーアクセスシステム(運転席オートスライドアウェイ&リターンメモリー機能付)
- ドライブモードセレクトスイッチ(SPORT S+/SPORT S/NORMAL/COMFORT/ECO/CUSTOM)
- 全ドアワンタッチ式パワーウインドウ
- 車速感応式オートパワードアロック(衝撃感知ドアロック解除システム付)
- サイドドアイージークローザー(フロント・リヤ)
- ムーンルーフ(チルト&スライド式)
- ハンズフリーパワーバックドア(挟み込み防止機能・停止位置メモリー機能付)＊14

▌インテリア
- カラーヘッドアップディスプレイ
- ステアリングヒーター
- デジタルクロック(GPS時刻補正機能付)
- サンシェード(リヤウインドウ/マニュアル)
- クールボックス(フロントセンターコンソール)＊15
- カップホルダー(フロントセンターコンソール2個、リヤコンソール/可倒式リヤセンターアームレスト2個、クォータートリム左右各2個)
- 運転席10Way・助手席8Way調整式フロントパワーシート(運転席ポジションメモリー付)
- 運転席電動ランバーサポート
- レクサス クライメイト コンシェルジュ(4席独立温度調整オートエアコン)
- ナノイーX
- クリーンエアフィルター(花粉除去・脱臭機能付)
- リヤエアコン(左右ルーフレジスター)
- 地上デジタルTVチューナー&アンテナ
- 通信用USB Type-C端子(1個/フロントセンターコンソール)
- 12.3インチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応)Plus
- デュアルディスプレイ(12.3インチタッチディスプレイ&7インチタッチディスプレイ)

▌コネクティッドサービス
- G-Link(初度登録日から3年間無料)＊16
  ヘルプネット®(エアバッグ連動タイプ)/レクサスオーナーズデスク/レクサス緊急サポート24/G-Security/コネクティッドナビ(車載ナビ有)/エージェント

▌その他
- イモビライザー&侵入センサー付オートアラーム&傾斜センサー(国土交通省認可品)
- ETC2.0ユニット(VICS機能付)＊17
- 寒冷地仕様(ウインドシールドデアイサー・PTC[補助]ヒーター・エンブレムヒーター等)＊18　等

＊1. 5人乗り(2列シート)はメーカーオプションで、トノカバーが同時装着となります。
＊2. タイヤチェーンを装着することはできません。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊3. 字光式ナンバープレートは装着できません。
＊4. プリテンショナー機構は衝突の条件によっては作動しない場合があります。
＊5. スマートエントリー&スタートシステム(電子キー2個[測距システムあり]/バックドア連動)とスマートエントリー&スタートシステム(電子キー2個[測距システムなし]+カードキー1個/バックドア連動)のどちらかをお選びください。
＊6. “OVERTRAIL+”はマットマーキュリーグレーマイカのルーフレールが標準装備となります。
＊7. 一体式シートクッション、センタートレイ付となります。
＊8. リヤシートエンターテインメントシステムを選択した場合、HDMI端子(1個/フロントセンターコンソール後部)、ヘッドフォンジャック(2個/フロントセンターコンソール後部)が同時装着となります。
＊9. 機器の接続にはHDMIケーブルが別途必要となります。また、一部のスマートフォン・ケーブルには対応できないものがあります。
＊10. 合計120Wの電気製品をご使用ください。ただし、120W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。
＊11. LX700hは1500W、LX600は100W以下の電気製品をご使用ください。ただし、LX700hは1500W、LX600は100W以下の電気製品でも正常に作動しない場合やご注意いただきたい項目があります。ご使用になる前に必ず製品の取扱書をご覧ください。周波数切替(50Hz/60Hz)につきましてはレクサス販売店におたずねください。一部自治体では駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例にふれる可能性がありますのでご注意ください。
＊12. 人が乗車している状態を作動対象としています。
＊13. チャイルドシートは汎用ISOFIX対応チャイルドシート(新保安基準適合)のみ使用できます。それ以外のチャイルドシートはシートベルトでの固定となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊14. 挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。
＊15. ガソリンモデルはハイブリッドモデルに比べて深底仕様になっています。
＊16. ご利用にはG-Link契約が必要です。G-Link基本利用料は初度登録日から3年間無料。無料期間終了後(有料)につきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。
＊17. ETC2.0ユニットは、今後新たに追加されるサービスおよびシステム変更には対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。ETC2.0ユニットは新しいセキュリティ規格に対応しています。また、セットアップ費用が別途必要となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
＊18. 寒冷地仕様では寒冷地での使用を考慮した装備の充実を図っています。

■「メーカーオプション」はご注文時に申し受けます。メーカーの工場で装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。
■“EXECUTIVE”“F SPORT”“OVERTRAIL+”はグレード名称ではありません。

SPECIFICATIONS

レクサス LX700h / LX600 主要諸元表

			LX700h							LX600						
			“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”	
			4人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	4人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り
			AWD							AWD						
■車両型式 ＊2			5AA-VJH310W-GKVLZ							3BA-VJA310W-GKULZ						
■寸法																
全長		mm	5,100	5,095		5,100				5,100	5,095		5,100			
全幅		mm	1,990							1,990						
全高		mm	1,895							1,895			1,885 ＊3		1,895	
ホイールベース		mm	2,850							2,850						
トレッド	前	mm	1,675							1,675						
	後	mm	1,675							1,675						
最低地上高 ＊4		mm	210							210			200 ＊5		210	
最小回転半径		m	6.0							6.0						
室内長 ＊4		mm	2,005	1,950	2,760	1,950	2,760	1,950	2,760	2,005	1,950	2,755	1,950	2,755	1,950	2,755
室内幅 ＊4		mm	1,630							1,630						
室内高 ＊4		mm	1,190							1,190						
■重量																
車両重量		kg	2,770	2,740 ＊6	2,770 ＊6	2,730 ＊6	2,760 ＊6	2,710 ＊6	2,740 ＊6	2,600	2,570 ＊6	2,610 ＊6	2,550 ＊6＊7	2,590 ＊6＊7	2,540 ＊6	2,580 ＊6
車両総重量		kg	2,990	3,015 ＊6	3,155 ＊6	3,005 ＊6	3,145 ＊6	2,985 ＊6	3,125 ＊6	2,820	2,845 ＊6	2,995 ＊6	2,825 ＊6＊7	2,975 ＊6＊7	2,815 ＊6	2,965 ＊6
■定員																
乗車定員		名	4	**5**	**7**	5	7	5	7	4	**5**	**7**	5	7	5	7
■性能																
燃料消費率（国土交通省審査値）	WLTCモード	km/ℓ	9.3	**9.2**		**9.3**				8.0	**7.9**		**8.0**		8.1	
	市街地モード	km/ℓ	6.5	6.5		6.5				5.6	**5.6**		**5.6**		5.6	
	郊外モード	km/ℓ	9.8	**9.6**		**9.8**				8.3	**8.2**		**8.3**		8.3	
	高速道路モード	km/ℓ	11.0	**10.8**		**11.0**				9.6	**9.4**		**9.6**		9.7	
主要燃費改善対策			アイドリングストップ装置、ハイブリッドシステム、筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、充電制御							筒内直接噴射、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング						
■エンジン																
型式			V35A-FTS													
種類			V型6気筒インタークーラー付ツインターボ													
使用燃料			無鉛プレミアムガソリン													
総排気量		ℓ	3.444													
内径×行程		mm	85.5×100.0													
最高出力［NET］		kW（PS）/r.p.m.	300（408）/5,200													
最大トルク［NET］		N·m（kgf·m）/r.p.m.	650（66.3）/2,000～3,600													
燃料供給装置			筒内直接＋ポート燃料噴射装置（D-4ST）													
燃料タンク容量		ℓ	68							80						

SPECIFICATIONS

レクサス LX700h / LX600 主要諸元表

		LX700h							LX600						
		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”	
		4人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	4人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り	5人乗り ＊1	7人乗り
		AWD							AWD						
■ モーター															
型式		1TM							—						
種類		交流同期電動機							—						
最高出力	kW(PS)	40(54)							—						
最大トルク	N・m(kgf・m)	290(29.5)							—						
■ 駆動用主電池															
種類		ニッケル水素電池							—						
電圧	V	7.2							—						
容量	Ah	6.5							—						
個数		240							—						
総電圧	V	288							—						
■ 駆動装置															
駆動方式		4輪駆動													
トランスミッション		Direct Shift-10AT(電子制御10速オートマチック)													
第1速		4.923													
第2速		3.257													
第3速		2.349													
第4速		1.944													
第5速		1.532													
第6速		1.193													
第7速		1.000													
第8速		0.801													
第9速		0.661													
第10速		0.613													
後退		4.307													
減速比		3.307													
■ その他装置															
サスペンション	前	ダブルウイッシュボーン(スタビライザー付)													
	後	トレーリングリンク	トレーリングリンク(スタビライザー付)		トレーリングリンク				トレーリングリンク	トレーリングリンク(スタビライザー付)		トレーリングリンク			
ブレーキ	前 / 後	ベンチレーテッドディスク / ベンチレーテッドディスク													

＊1. 2列シート・5人乗りはメーカーオプションです。
＊2. 車両型式の末尾に“EXECUTIVE”は(E)、“F SPORT ”は(F)、“OVERTRAIL＋”は(O)が付きます。
＊3. 265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール(切削光輝＋ブラック塗装)を装着した場合、全高は1,895mmとなります。
＊4. 社内測定値。
＊5. 265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール(切削光輝＋ブラック塗装)を装着した場合、210mmとなります。
＊6. リヤシートエンターテインメントシステムを装着した場合、10kg増加します。
＊7. 265/50R22タイヤ＆鍛造アルミホイール(切削光輝＋ブラック塗装)を装着した場合、10kg増加します。

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客さまの使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
※WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。
※エンジン出力表示にはネット値とグロス値があります。「グロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自工会調べ)となっています。
車両によっては自動車重量税などの軽減措置を受けることができます。詳しくはエコカー減税紹介ページ(https://lexus.jp/request/zeisei)をご確認、またはレクサス販売店におたずねください。
■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値　■製造事業者: トヨタ自動車株式会社

見積シミュレーションはこちら >

PRICE LIST

レクサス LX700h / LX600 価格表

●：標準装備　（　）内は消費税抜き価格

	LX700h							LX600						
	“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”		“EXECUTIVE”	“F SPORT”				“OVERTRAIL＋”	
	4人乗り	5人乗り	7人乗り	5人乗り	7人乗り	5人乗り	7人乗り	4人乗り	5人乗り	7人乗り	5人乗り	7人乗り	5人乗り	7人乗り
	AWD							AWD						
■車両価格表														
メーカー希望小売価格 ＊1 （消費税抜き）	22,100,000円 （20,090,909円）	18,000,000円 （16,363,636円）		17,000,000円 （15,454,545円）		17,000,000円 （15,454,545円）		21,100,000円 （19,181,818円）	17,000,000円 （15,454,545円）		15,600,000円 （14,181,818円）		16,000,000円 （14,545,455円）	
■メーカーオプション価格表														
▮ボディカラー														
マンガンラスター〈1K2〉	165,000円 （150,000円）													
▮パフォーマンス														
“F SPORT”レッドブレーキキャリパー（フロントLEXUSロゴ）	―	55,000円 （50,000円）		―					55,000円 （50,000円）		―			
265/50R22 109Vタイヤ＆ 22×8J鍛造アルミホイール（切削光輝＋ブラック塗装）　＊2		―		●		―					385,000円 （350,000円）		―	
▮インテリア														
オーナメントパネル　アートウッド（鷹羽）	110,000円 （100,000円）	―						110,000円 （100,000円）	―					
リヤシートエンターテインメントシステム	＋HDMI端子（1個/リヤコンソール） ＋ヘッドフォンジャック（2個/リヤコンソール） ●	＋HDMI端子（1個/フロントセンターコンソール後部） ＋ヘッドフォンジャック（2個/フロントセンターコンソール後部） 284,900円（259,000円）						＋HDMI端子（1個/リヤコンソール） ＋ヘッドフォンジャック（2個/リヤコンソール） ●	＋HDMI端子（1個/フロントセンターコンソール後部） ＋ヘッドフォンジャック（2個/フロントセンターコンソール後部） 284,900円（259,000円）					

＊1. 価格にはオプション価格は含まれません。
＊2. タイヤチェーンを装着することはできません。
※価格はメーカー希望小売価格＜'26年10月現在のもの＞で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※保険料、税金（除く消費税）、登録料などの諸費用は別途申し受けます。

■リサイクル料金表　　自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要となります。

	リサイクル預託金				資金管理料金	合計
	シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
LX700h全車	17,460円	2,800円	―	130円	290円	20,680円
LX600全車	16,050円	2,800円	―	130円	290円	19,270円

※リサイクル料金は'26年10月時点の金額。
※リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者（譲渡人）は、車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者（譲受人）からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



P02

Photo: LX700h（7人乗り）。ボディカラーはソニックチタニウム〈1J7〉。



P08

Photo: LX700h “EXECUTIVE”。ボディカラーのマンガンラスター〈1K2〉はメーカーオプション。



P23

Photo：LX700h（5人乗り）。ボディカラーはソニックチタニウム〈1J7〉。インテリアカラーはヘーゼル。オーナメントパネルは縞杢（ブラック）。



P24

Photo: LX700h “EXECUTIVE”。ボディカラーのマンガンラスター〈1K2〉はメーカーオプション。



P25

Photo：LX700h（5人乗り）。ボディカラーはソニックチタニウム〈1J7〉。



P27

Photo：LX700h（5人乗り）。ボディカラーはソニックチタニウム〈1J7〉。



P33

Photo: LX700h（5人乗り）。インテリアカラーはヘーゼル。オーナメントパネルは縞杢（ブラック）。



P34

Photo: LX700h（5人乗り）。インテリアカラーはヘーゼル。オーナメントパネルは縞杢（ブラック）。



P47

Photo: LX700h “EXECUTIVE”。インテリアカラーはサンフレアブラウン。オーナメントパネルのアートウッド（鷹羽）はメーカーオプション。



P54

Photo：海外仕様車。



P55-56

Photo: LX700h “F SPORT”（5人乗り）。ボディカラーはニュートリノグレー〈1N0〉。“F SPORT”レッドブレーキキャリパー（フロントLEXUSロゴ）はメーカーオプション。



P57

Photo: LX700h “F SPORT”（5人乗り）。インテリアカラーは“F SPORT”フレアレッド。



P60

Photo：海外仕様車。



P62-63

Photo: LX700h “OVERTRAIL+”（5人乗り）。ボディカラーはムーンデザート〈4Z1〉。



P70

Photo: LX700h “EXECUTIVE”。ボディカラーのマンガンラスター〈1K2〉はメーカーオプション。

※写真の一部は合成です。
※室内写真には機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルが含まれています。
※室内写真の計器盤は機能説明のために各ランプを点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。
※ナビゲーション画面および一部のディスプレイは合成です。
※装備および機能紹介の写真の一部はイメージです。
※一部の画像は海外仕様など、実際の仕様と異なる場合があります。
※Apple CarPlay /Android Auto™をご利用の際は通信料が発生します。契約携帯電話会社の料金プランなどをご確認の上ご利用ください。
※G-Linkセンターとは、車両へのコネクティッドサービス専用に構築したデータセンターのことです。
※G-Linkは、新車・CPO（レクサス認定中古車）をご購入いただいたお客さまに限り、ご提供いたします。ご利用にはG-Link契約が必要です。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。無料期間終了後のG-Link契約、手続きにつきましてはレクサス販売店にお問い合わせください。尚、G-Linkはレクサス販売店でお申込みいただけます。販売店でお申込みの際に、別途、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。G-Link は、LTE（Long Term Evolution）通信を利用しており、電波の届かない場所ではご利用になれません。G-Linkはトヨタコネクティッド（株）およびトヨタ自動車（株）が提供するサービスです。
※ディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusは、ナビデータを車載機に保持しているためG-Linkを契約されない場合でもナビゲーション機能をご利用いただけます（一部機能に制限がかかります）。
※シートの操作方法については、ご注意いただきたい項目があります。必ず取扱説明書をご覧ください。
※本革シートの一部に合成皮革を使用しています。
※バージョンおよびシートマテリアルにより、シート各部の素材や色が異なります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、タイヤ空気圧警告表示、スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）の電波およびおくだけ充電®の充電動作が医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。タイヤ空気圧警告表示については、車両左側、前後のホイールハウス内に搭載された発信アンテナから約45cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。スマートエントリー＆スタートシステム、プラスサポート用スマートキー（ディーラーオプション）については、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカーを近づけないようにしてください。おくだけ充電のご使用にあたっては、医師とよくご相談ください。電波発信および充電機能を停止することもできます。詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

ABBREVIATION

- ABS: Anti-lock Brake System
- AHC: Active Height Control suspension
- AHS: Adaptive High-beam System
- AVS: Adaptive Variable Suspension system
- AWD: All Wheel Drive
- BSM: Blind Spot Monitor
- CST: Coherent Source Transducer
- D-4ST: Direct-injection 4 stroke gasoline engine Superior version with Turbo
- ECB: Electronically Controlled Brake system
- ELR: Emergency Locking Retractor
- EPS: Electric Power Steering
- FCTA: Front Cross Traffic Alert
- ITS: Intelligent Transport Systems
- LCA: Lane Change Assist
- LTA: Lane Tracing Assist
- OTA: Over The Air
- PDA: Proactive Driving Assist
- PKSB: Parking Support Brake
- RSA: Road Sign Assist
- PTC: Positive Temperature Coefficient（自己温度制御システム）
- SEA: Safe Exit Assist
- SRS: Supplemental Restraint System（乗員保護補助装置）
- TFT: Thin Film Transistor
- TMN: Traffic Movement Notification
- TRC: Traction Control
- TWB: Tailor Welded Blank
- VDIM: Vehicle Dynamics Integrated Management
- VSC: Vehicle Stability Control

TRADEMARK

- ブレードスキャン®は株式会社小糸製作所の登録商標です。
- G-Linkは東京ガス株式会社の登録商標で、使用許諾を受けて使用しています。
- 「ITS Connect」はITS Connect推進協議会の商標です。
- “ヘルプネット®”は（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliaceの登録商標です。
- AppleおよびAppleロゴ、Apple CarPlayは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android、Android Auto™は、Google LLCの商標です。
- Bluetooth®はBluetooth SIG,Inc.の商標です。
- マークレビンソン、Quantum Logic™およびClari-Fi™（クラリファイ）はハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です。
- ハイレゾオーディオロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。
- 「おくだけ充電®」、「おくだけ充電」ロゴは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- トルセン®、TORSEN®は（株）ジェイテクトの登録商標です。
- nanoe、ナノイーおよびnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
- HDMIおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator,Inc.の登録商標です。
- “LEXUS” “D-4ST” “ECB” “VDIM” “VSC” “TRC”はトヨタ自動車（株）の商標です。
- 「VICS」は一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。